

富里市子育て支援に関する

二一ズ調査報告書

—平成 30 年 12 月実施—

平成 31 年 3 月

富里市

目 次

■ 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査項目	1
4. 報告書を読む際の注意事項	1
■ 就学前児童ニーズ調査結果	2
1. 回答者のプロフィール	3
2. 保護者の就労状況	10
3. 教育・保育事業の利用	17
4. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	24
5. お子さんの病気等の際の対応	26
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	29
7. 地域の子育て支援事業の利用状況	35
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方	39
9. 育児休業制度	42
10. 行政サービス	48
■ 小学生ニーズ調査結果	54
1. 回答者のプロフィール	55
2. 保護者の就労状況	62
3. 放課後の過ごし方	68
4. 学童クラブの利用状況	72
5. お子さんの病気等の際の対応	76
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	79
7. 行政サービス	85

1. 調査の目的

この調査は、第二期の「富里市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、市民の子育て支援に関する事業の利用状況などを伺い、計画策定の基礎資料とするために行った。

2. 調査の設計

	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（就学前児童）	富里市子育て支援に関する ニーズ調査（小学生）
調 査 対 象	市内に居住する就学前児童の保護者	市内小学校に通う小学生の保護者
標 本 数	1,000 人	1,114 人
抽 出 方 法	住民基本台帳からの無作為抽出	市内小学校に通う 1～3 年生の全世帯
回収数（率）	498 人(49.80%)	920 人(82.59%)
調 査 方 法	郵送配布，郵送回収	各小学校を通じて配布，回収
調 査 期 間	平成 30 年 12 月 14 日～12 月 27 日	平成 30 年 12 月 7 日～12 月 19 日

3. 調査項目

（１）就学前児童（設問数 31 問）

調査項目

1. 回答者のプロフィール
2. 保護者の就労状況
3. 教育・保育事業の利用
4. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望
5. お子さんの病気等の際の対応
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用
7. 地域の子育て支援事業の利用状況
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方
9. 育児休業制度
10. 行政サービス

（２）小学生（設問数 23 問）

調査項目

1. 回答者のプロフィール
2. 保護者の就労状況
3. 放課後の過ごし方
4. 学童クラブの利用状況
5. お子さんの病気等の際の対応
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用
7. 行政サービス

4. 報告書を読む際の注意事項

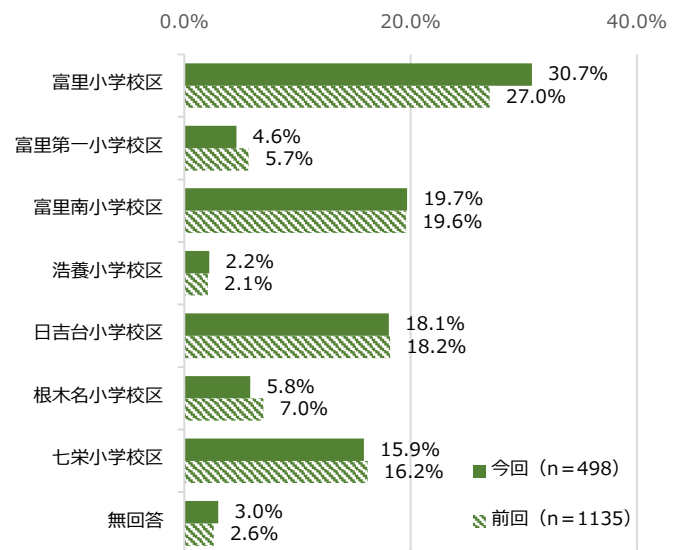
- ・集計については、単純集計，必要なクロス集計を行った。また、項目によっては前回調査結果（平成 25 年 12 月実施）を合わせて掲載している。
- ・調査結果の数値は原則として回答率（％）を表記しており、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記している。このため、単数回答の合計が 100.0%とならない場合がある。また、1 人の回答者が 2 つ以上の回答をしてもよい質問（複数回答）では、回答率が 100.0%を上回ることがある。
- ・本文やグラフ・数表上の表記は、場合により語句を簡略化している。
- ・本文やグラフ・数表上で次の略称を使用する。n：回答者の数

就学前児童 ニーズ調査結果

1. 回答者のプロフィール

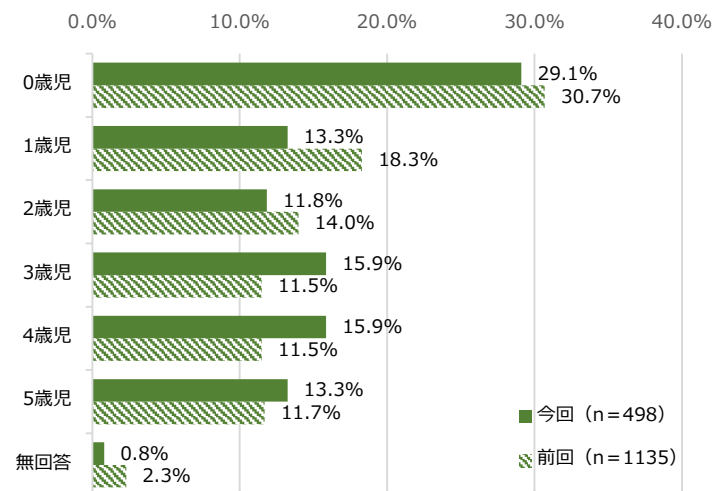
問 1. お住まいはどちらになりますか。

居住地区は、「富里小学校区」が 30.7%と最も高く、次いで「富里南小学校区」が 19.7%、「日吉台小学校区」が 18.1%などとなった。前回との比較では、「富里小学校区」が 3.7 ポイント高くなった。

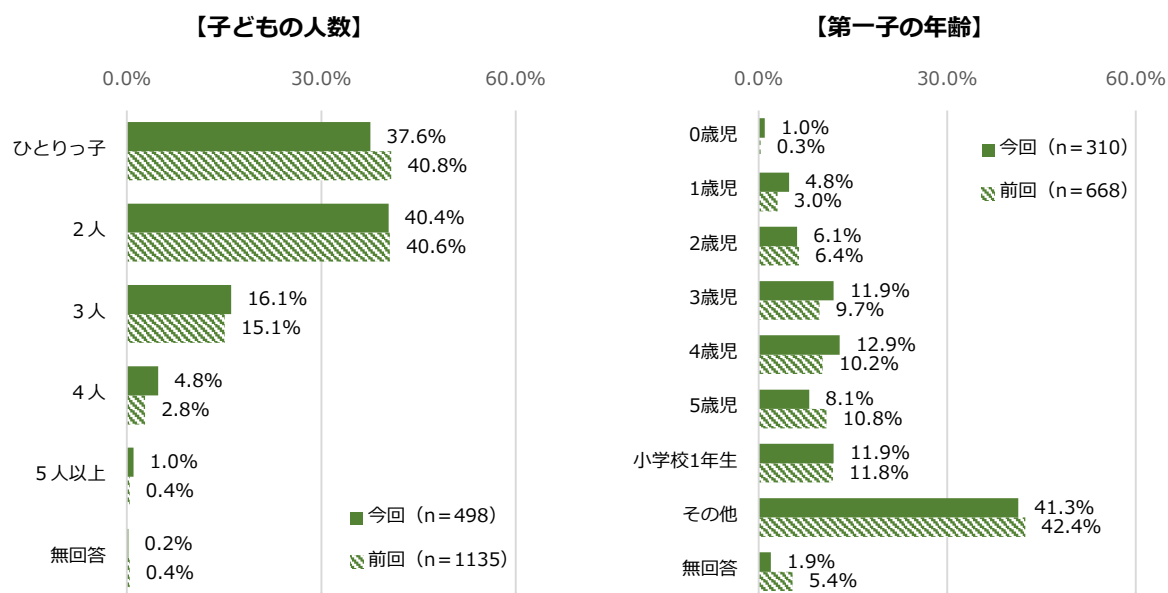


問 2. あて名のお子さんのお誕生日は次のうちどちらに該当しますか。

子どもの生年月日は、「0 歳児」が 29.1%と最も高く、次いで「3 歳児」、「4 歳児」の 15.9%などとなった。前回との比較では、3, 4, 5 歳児の割合が増加し、0, 1, 2 歳児の割合が減少した。



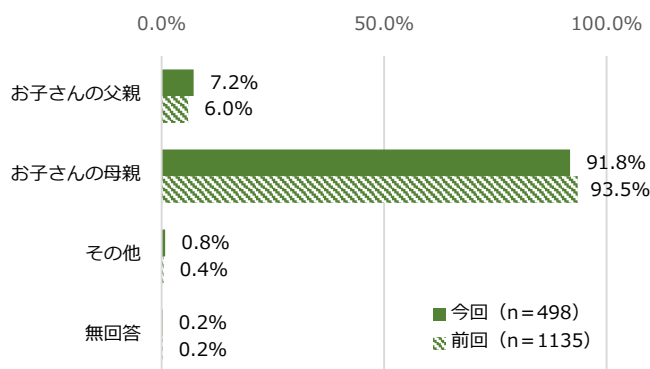
問 3. あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、第一子の方のお誕生日はどちらになりますか。



子どもの人数は、「2人」が40.4%と最も高く、次いで「ひとりっ子」が37.6%などとなった。また、第一子の年齢はその他を除き、「4歳児」に続き、「3歳児」「小学校1年生」の割合が高い。

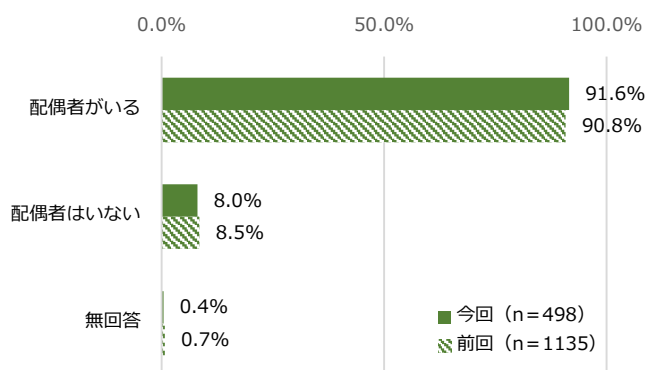
問 4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

回答者は、「お子さんの母親」が91.8%と9割強を占めた。前回との比較では大きな変化はみられなかった。



問 5. この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

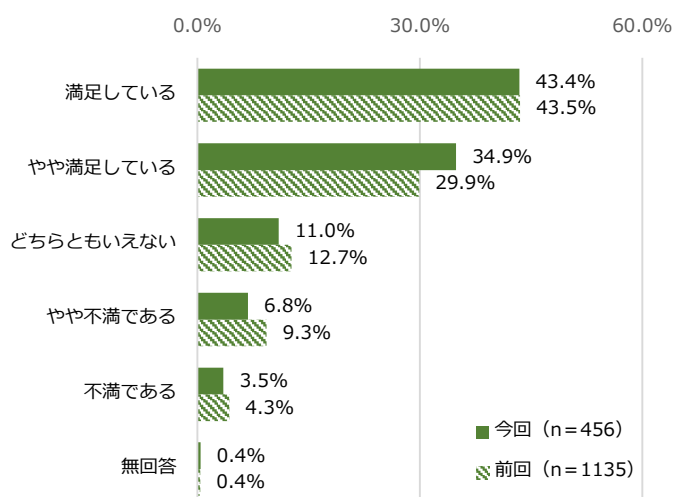
配偶関係は、「配偶者がいる」が91.6%と9割強を占めた。前回との比較では大きな変化はみられなかった。



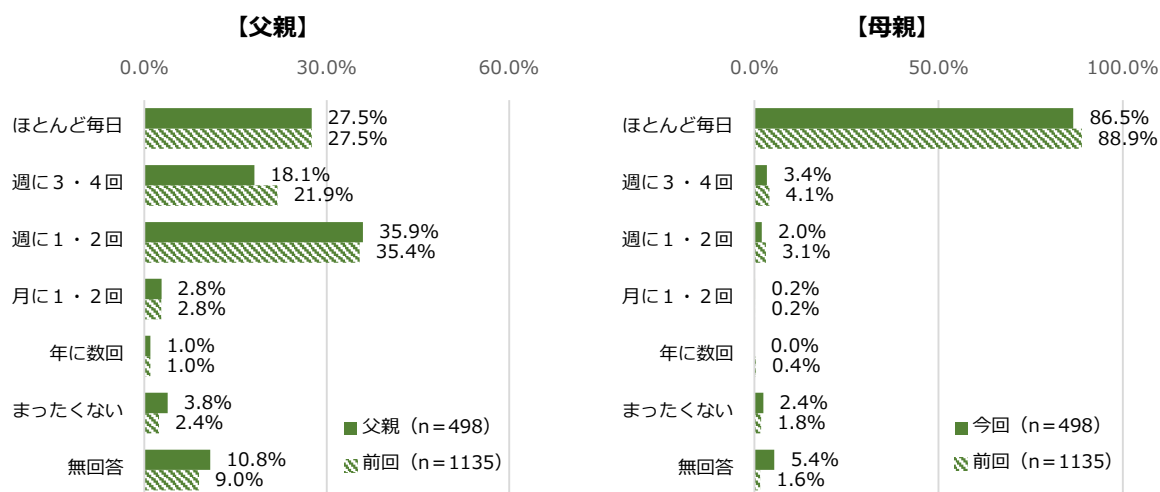
(問 5 で「1」をお選びの方へ)

問 5-1. 配偶者の育児参加に満足していますか。

配偶者の育児参加の状況を見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は78.3%と8割弱を占め、前回の73.4%より4.9ポイント高くなった。



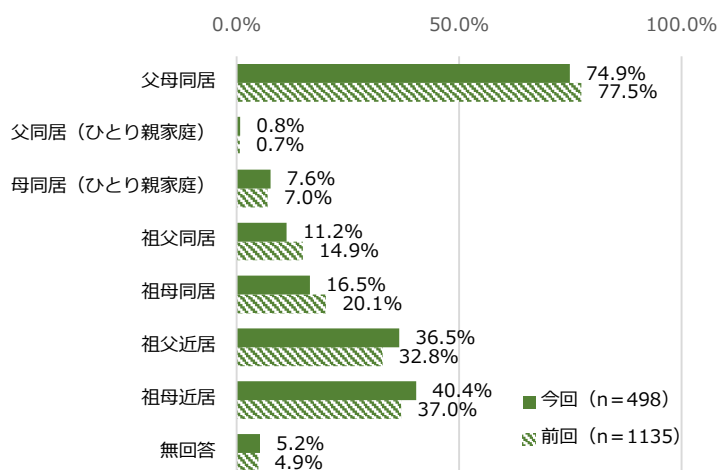
問 6. あて名のお子さんと一緒に夕食を食べる頻度はどのくらいですか。



子どもと一緒に夕飯を食べる頻度をみると、父親は「週に1・2回」35.9%、母親は「ほとんど毎日」が86.5%と最も高くなった。前回との比較では大きな変化はみられなかった。

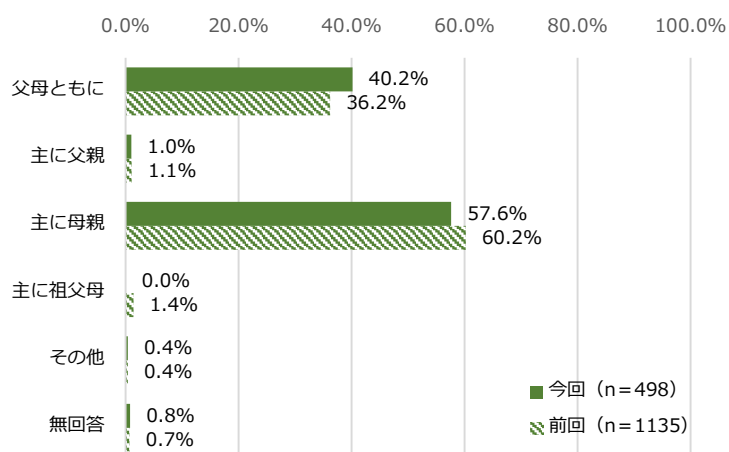
問 7. あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（複数回答）

家族の同居の状況は、「父母同居」が74.9%と7割強を占めた。前回との比較では「父母同居」、「祖父同居」、「祖母同居」の割合が減り、「祖父近居」、「祖母近居」の割合が増えた。



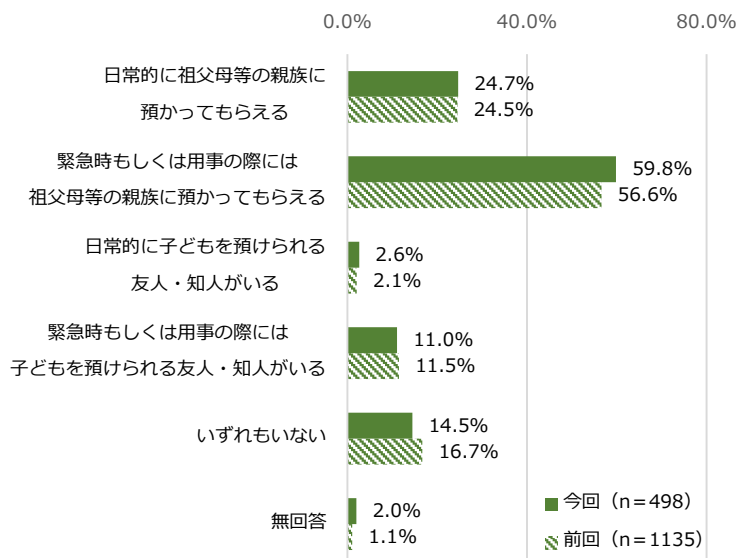
**問 8. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている人はどなたですか。あて名のお子さん
から見た関係でお答えください。**

子育てを主に行っている人は、「主に母親」が 57.6%と最も高く、「父母ともに」は 40.2%と前回より 4 ポイント高くなった。



問 9. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（複数回答）

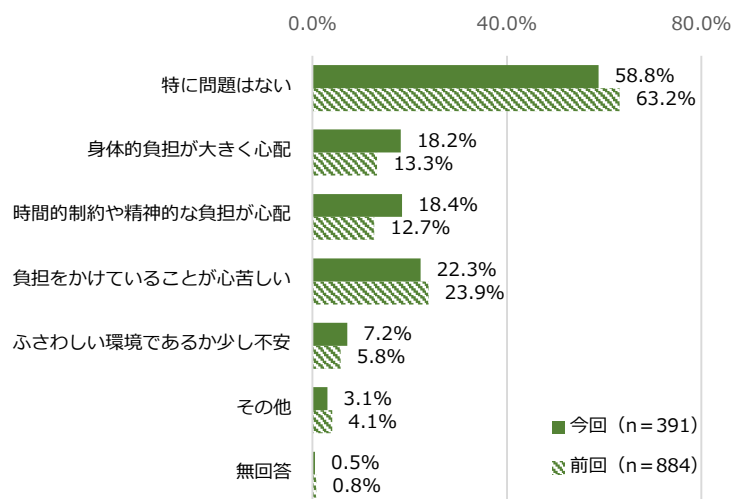
日頃子どもを預かってもらえる人がいるかとの問いに、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」との回答が 59.8%と最も高くなった。前回との比較では大きな変化はみられなかった。



(問9で「1」または「2」をお選びの方へ)

問9-1. 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

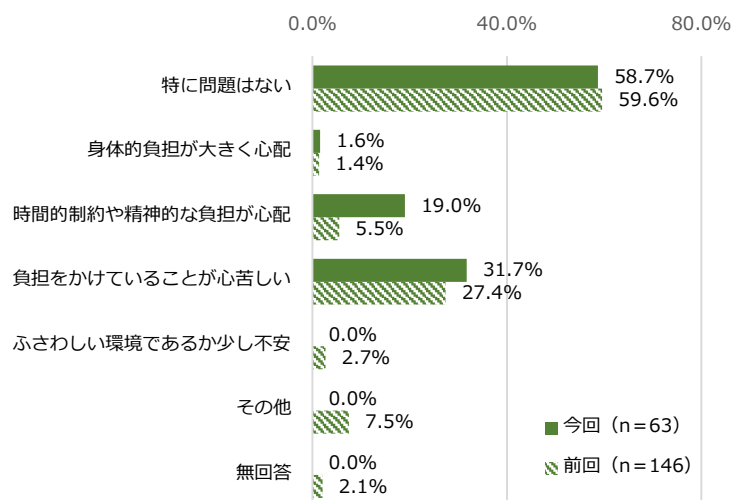
「祖父母等に預かってもらえる」と回答した人に、預かってもらっている際の状況を聞いたところ、「特に問題はない」が58.8%と前回から4.4ポイント減り、「身体的負担が大きく心配」、「時間的制約や精神的な負担が心配」、「ふさわしい環境であるか少し不安」の割合が前回よりも高くなっている。



(問9で「3」または「4」をお選びの方へ)

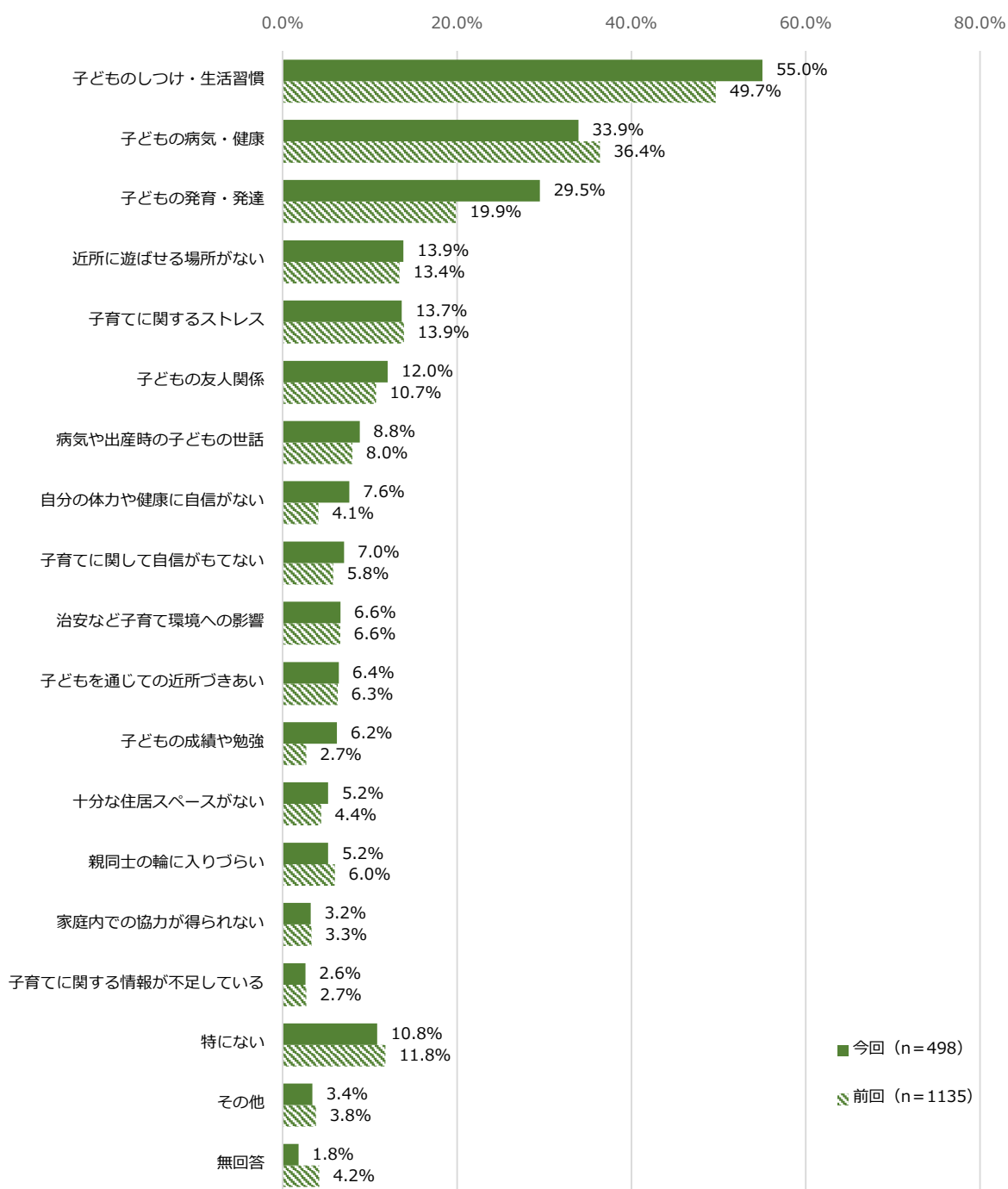
問9-2. 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

「友人や知人に預かってもらえる」と回答した人に、預かってもらっている際の状況を聞いたところ、「特に問題はない」が前回と同様6割弱を占めたが、「時間的制約や精神的な負担が心配」、「負担をかけていることが心苦しい」の割合が増加した。



問 10. あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。

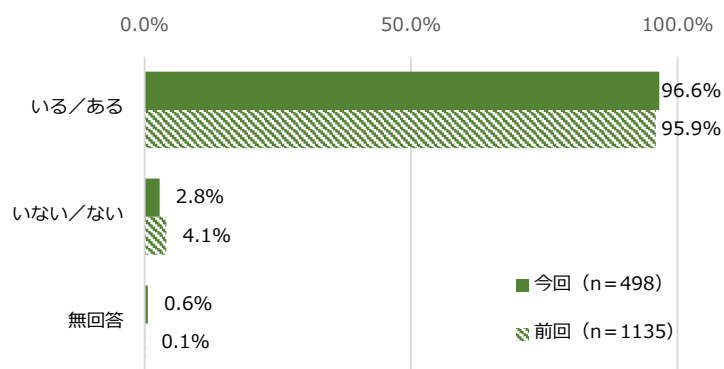
(複数回答)



子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすることは、前回と同様に「子どものしつけ・生活習慣」が 55.0%と最も高くなった。次いで、「子どもの病気・健康」が 33.9%、「子どもの発育・発達」が 29.5%などとなり、生活習慣や健康に関することが上位を占めている。

**問 11. あて名のお子さんの子育て（教育）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。**

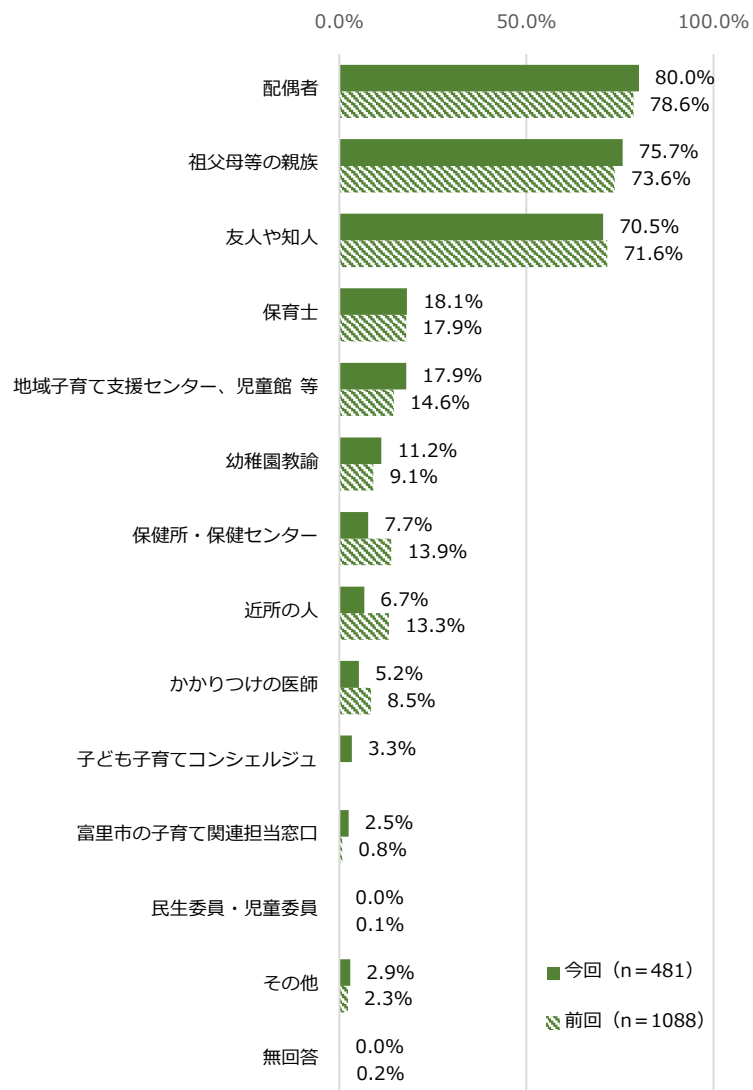
子育てをするうえで「気軽に相談できる人がいる／ある」との回答が 96.6%と前回同様 9 割強を占めた。



(問 11 で「1.いる／ある」をお選びの方へ)

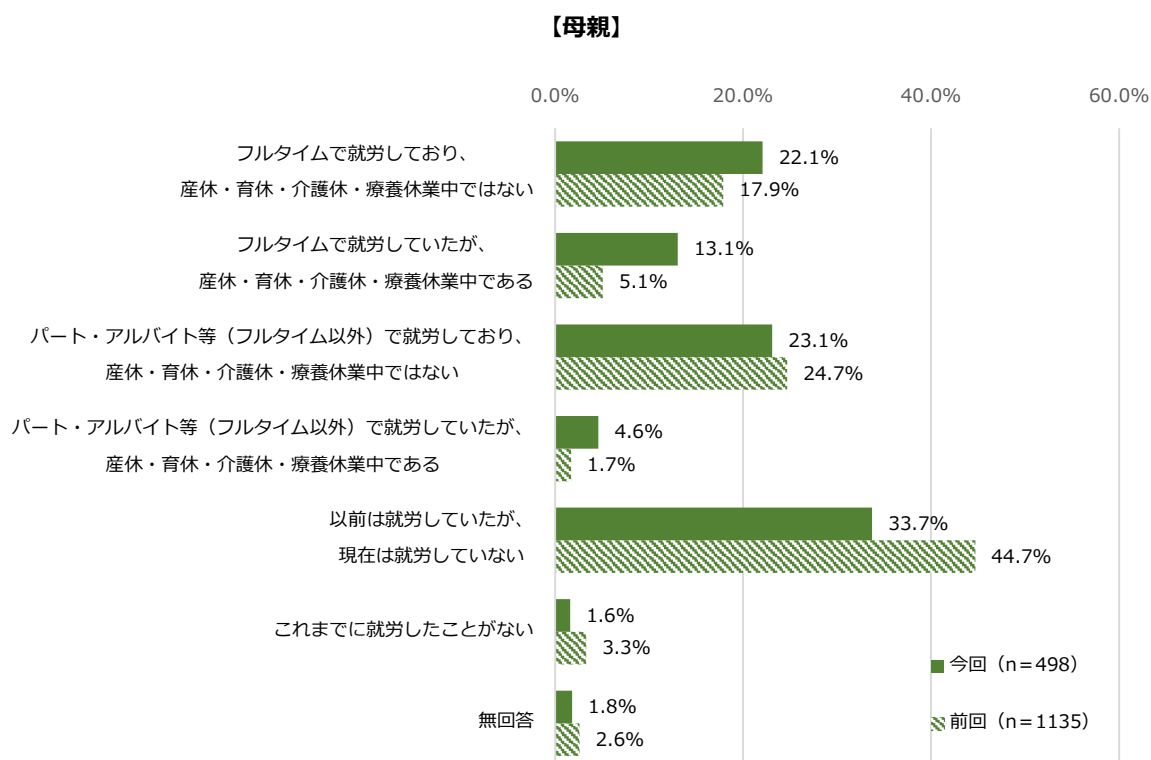
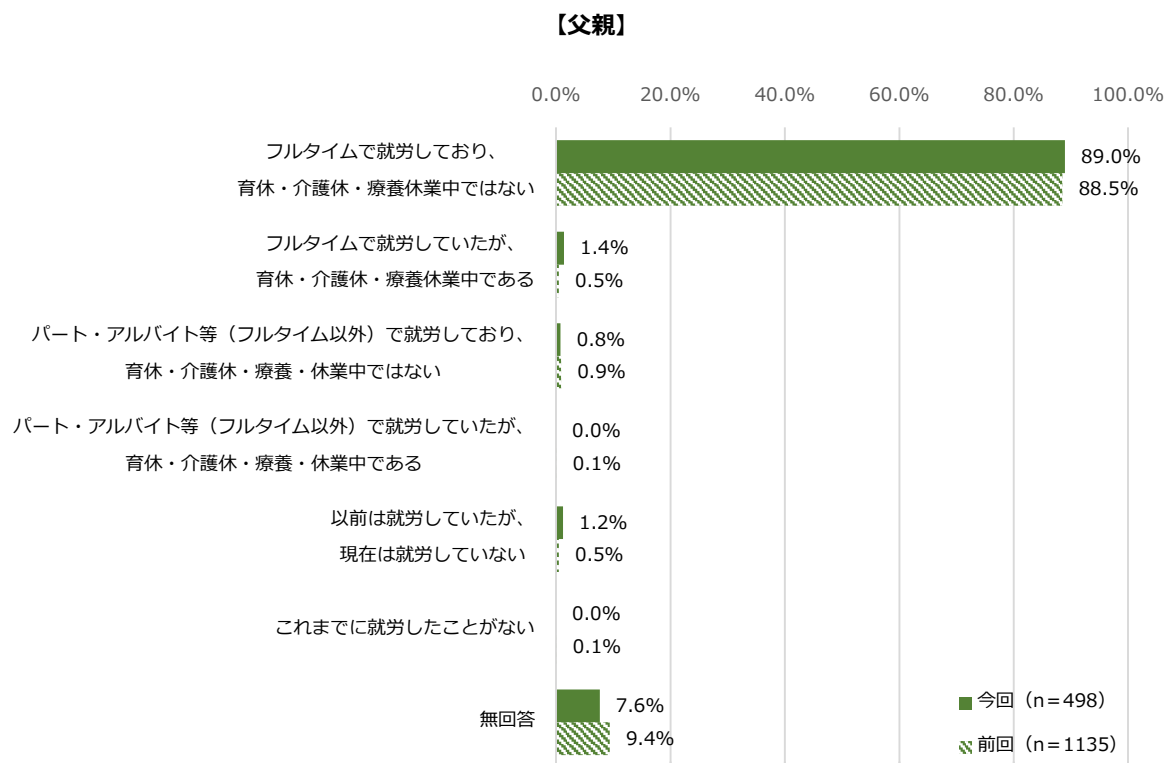
**問 11-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
(複数回答)**

「気軽に相談できる人がいる／ある」と回答した人の相談先は、前回と同様に「配偶者」が 80.0%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」、「友人や知人」が続いた。



2. 保護者の就労状況

問 12. あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。



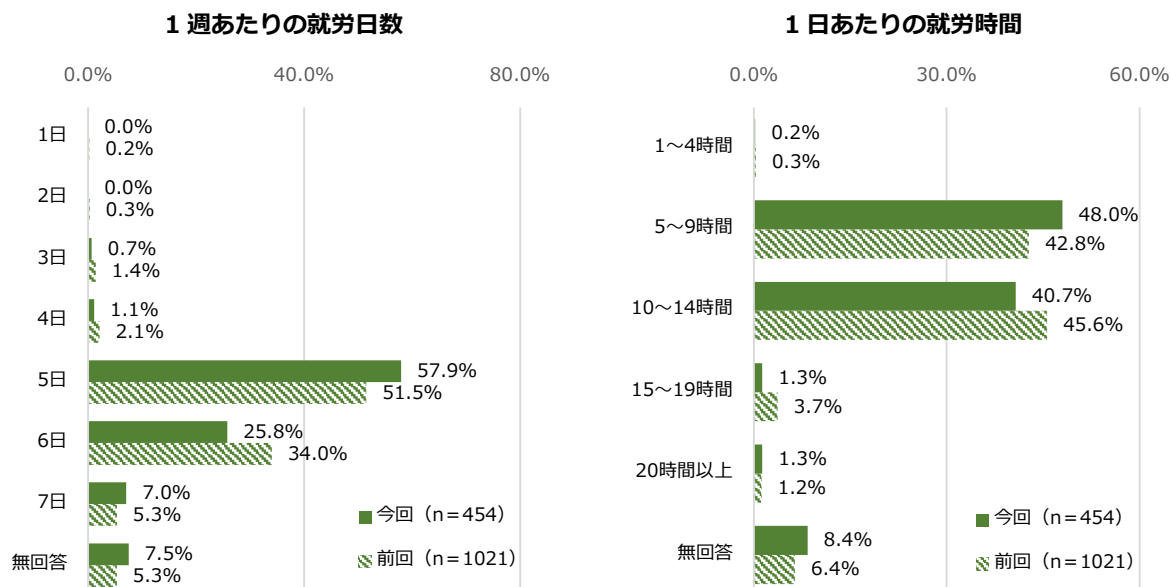
父親の就労状況は、「就労している(フルタイムで休業中ではない)」が前回同様 89.0%と 9 割弱を占め、母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 33.7%と最も高いが、前回との比較では 11 ポイント低くなった。

(問 12 で「1～4」(就労している)をお選びの方へ)

問 12-1.「1 週あたりの就労日数」と「1 日あたりの就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

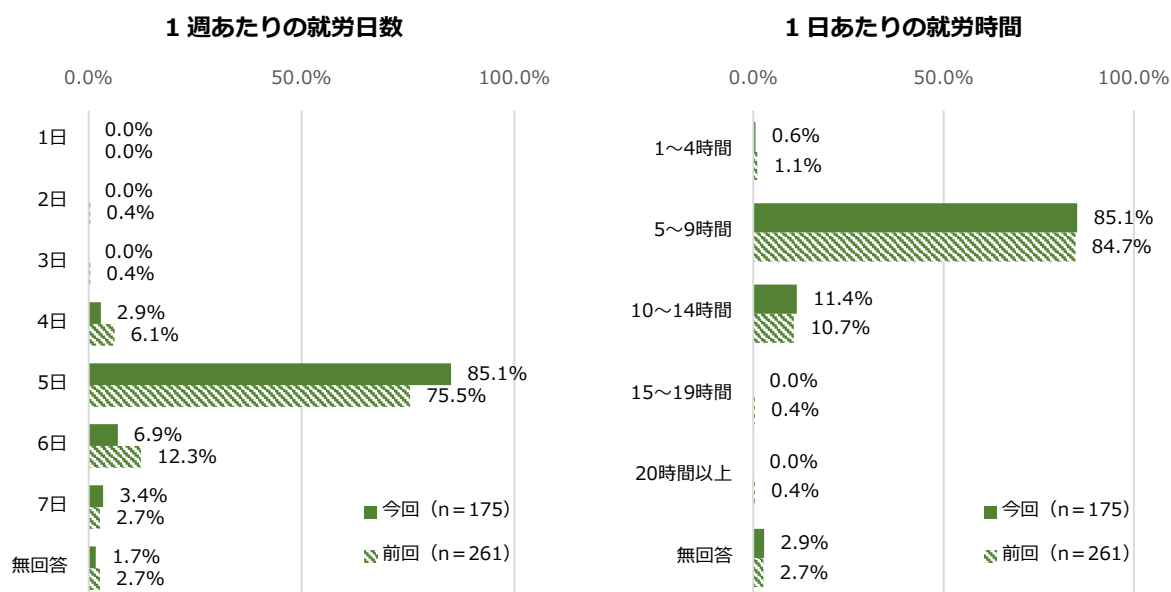
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【父親】フルタイム, パート・アルバイト等



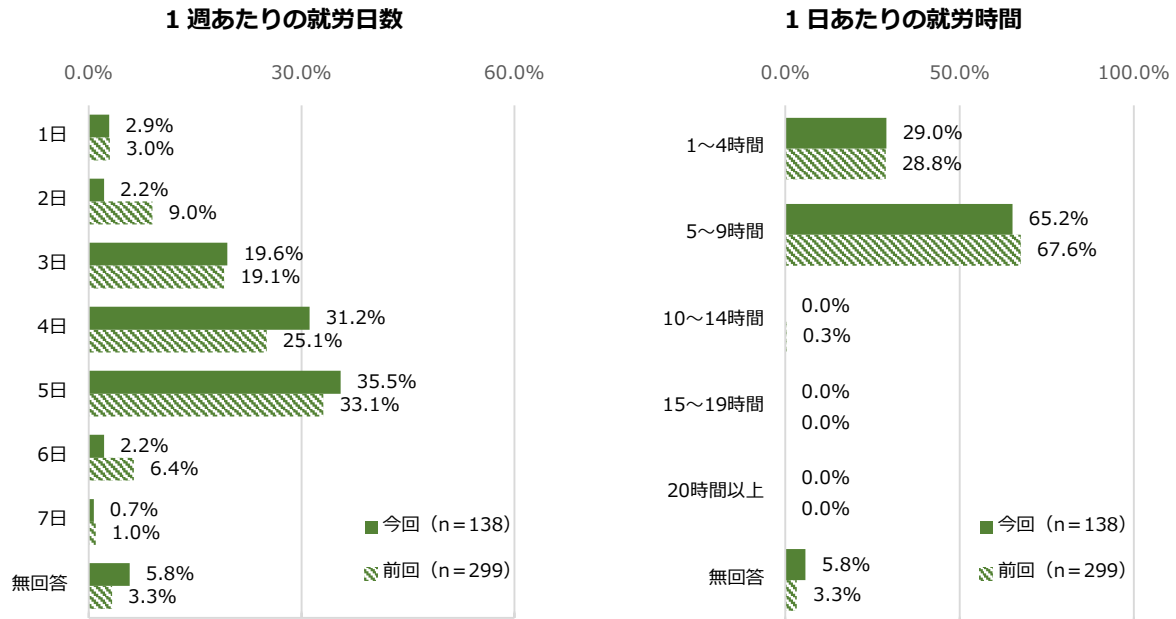
フルタイム, パート等で働く父親の 1 週あたりの就労日数は,「5 日」が 57.9%と最も高く, 1 日あたりの就労時間は,「5～9 時間」の割合が最も高くなった。

【母親】フルタイム



フルタイムで働く母親の 1 週あたりの就労日数は,「5 日」が 85.1%と最も高く, 1 日あたりの就労時間は,「5～9 時間」が 85.1%と最も高くなった。

【母親】パート・アルバイト等

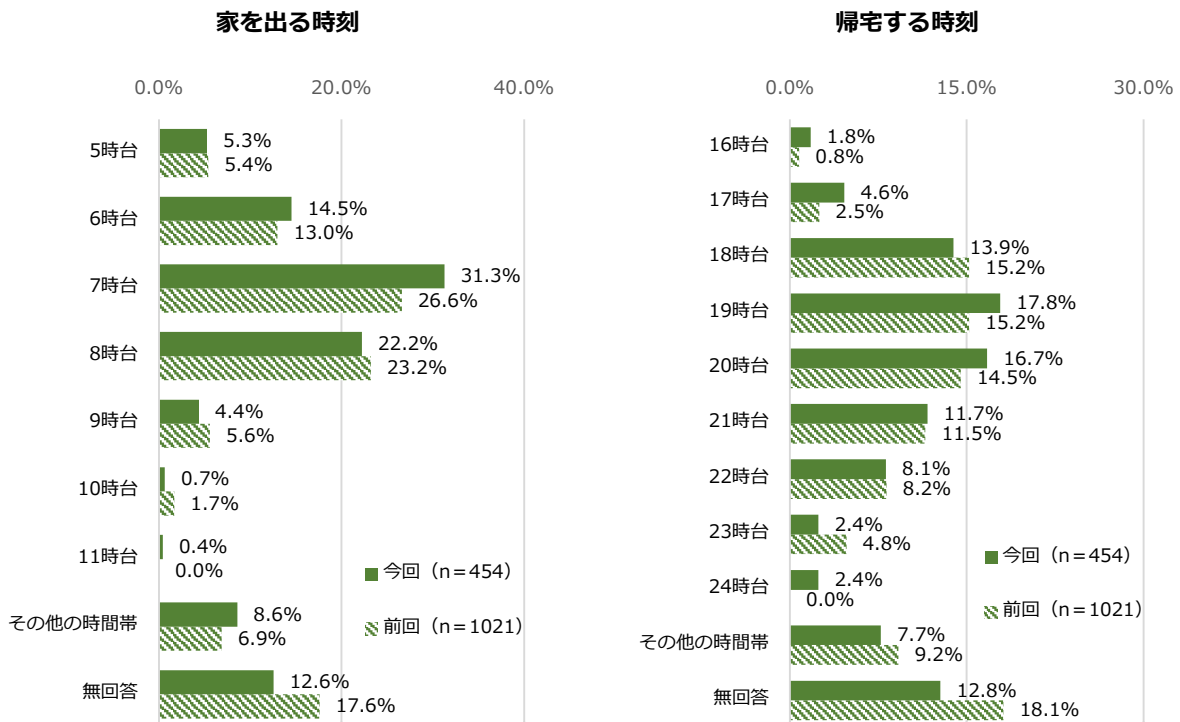


パート・アルバイトで働く母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が35.5%と最も高く、1日あたりの就労時間は、「5～9時間」が65.2%と最も高くなった。

(問12で「1～4」(就労している)をお選びの方へ)

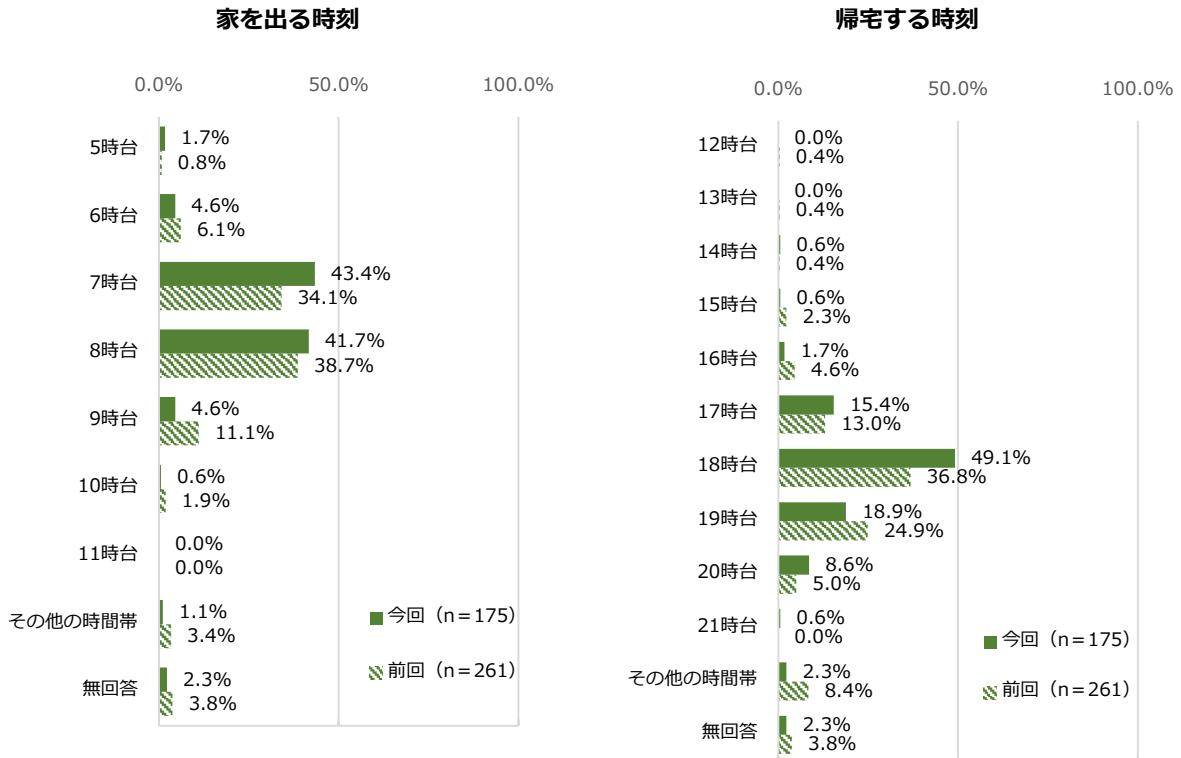
問12-2.「家を出る時刻」と「帰宅する時刻」をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【父親】フルタイム、パート・アルバイト



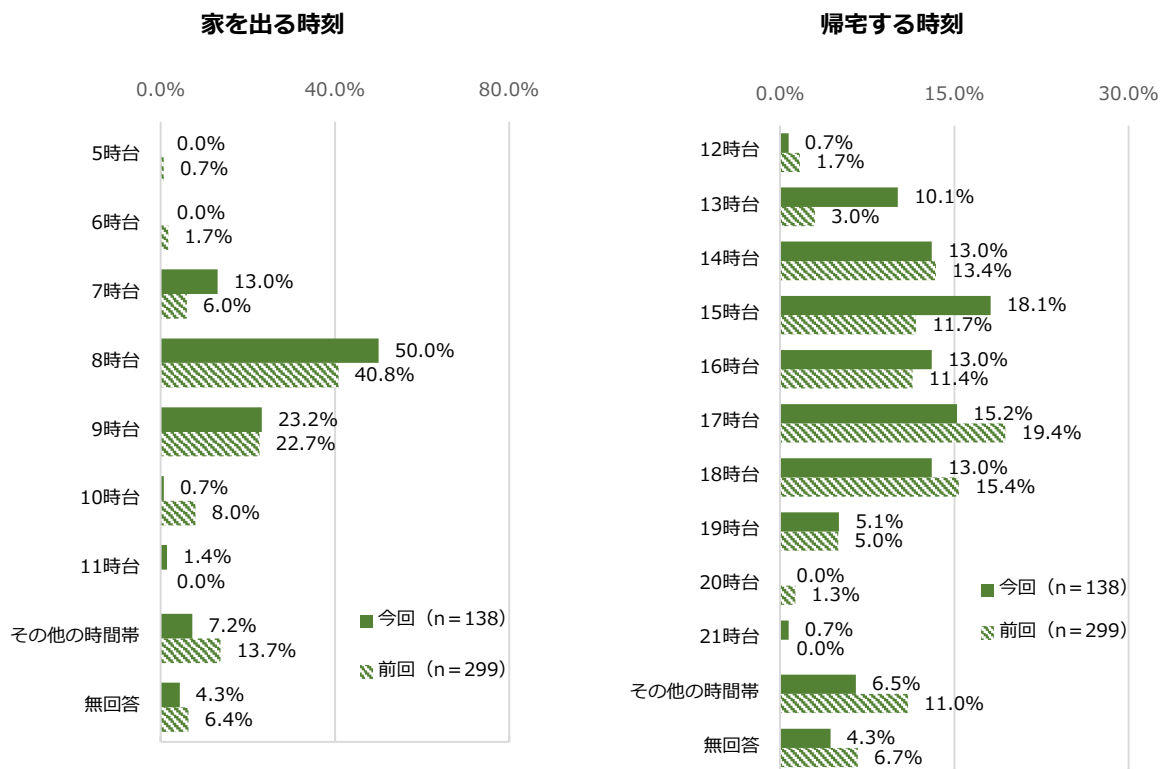
フルタイム、パート等で働く父親の家を出る時刻は、「7時台」が31.3%と最も高く、次いで「8時台」が22.2%となり、帰宅する時刻は、「19時台」が17.8%と最も高くなった。

【母親】フルタイム



フルタイムで働く母親の家を出る時刻は、「7 時台」が 43.4%と最も高く、次いで「8 時台」が 41.7%となり、帰宅する時刻は、「18 時台」が 49.1%と最も高くなった。

【母親】パート・アルバイト等

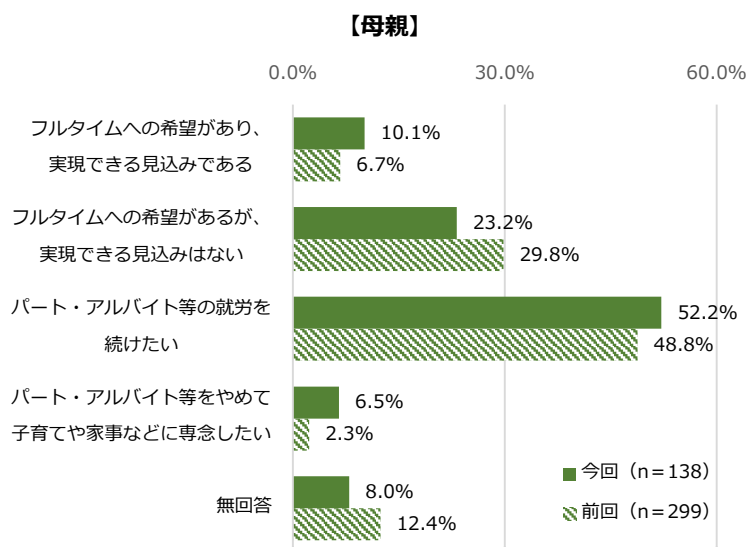


パート・アルバイト等で働く母親の家を出る時刻は、「8 時台」が 50.0%と最も高く、次いで「9 時台」が 23.2%となり、帰宅する時刻は、「15 時台」が 18.1%と最も高くなった。

(問 12 で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している) をお選びの方へ)

問 12-3. フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が52.2%と最も高くなった。前回との比較では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が3.4ポイント、「子育てや家事などに専念したい」が4.2ポイント増えた一方で、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである」も3.4ポイントの増となった。



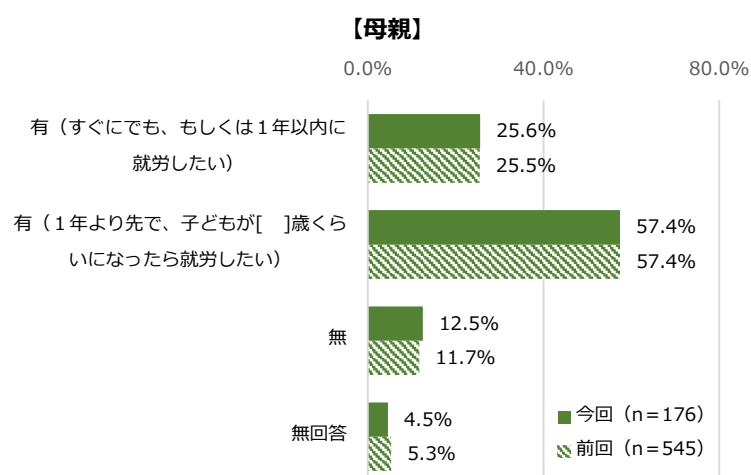
【父親】 <参考>

選択肢	今回 (n=4)	前回 (n=11)
フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである	0	3
フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない	2	3
パート・アルバイト等の就労を続けたい	1	3
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	0	0
無回答	1	2

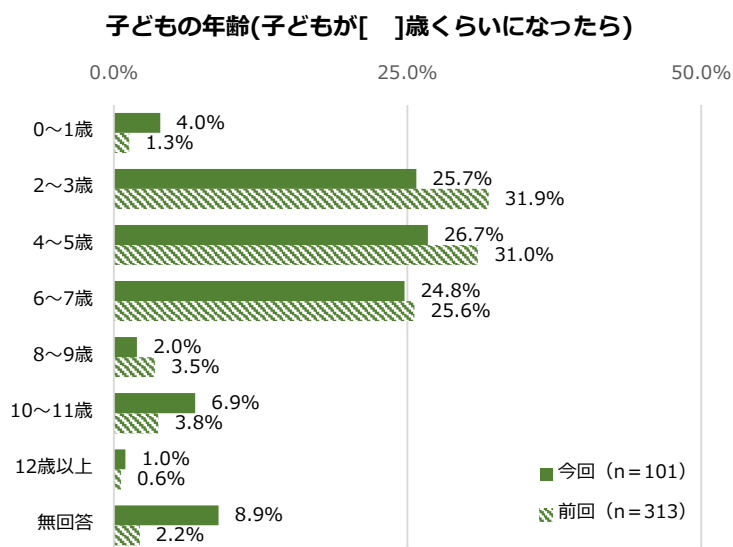
(問 12 で「5」または「6」(就労していない・就労したことがない) をお選びの方へ)

問 12-4. 今後の就労についての希望をお聞かせください。

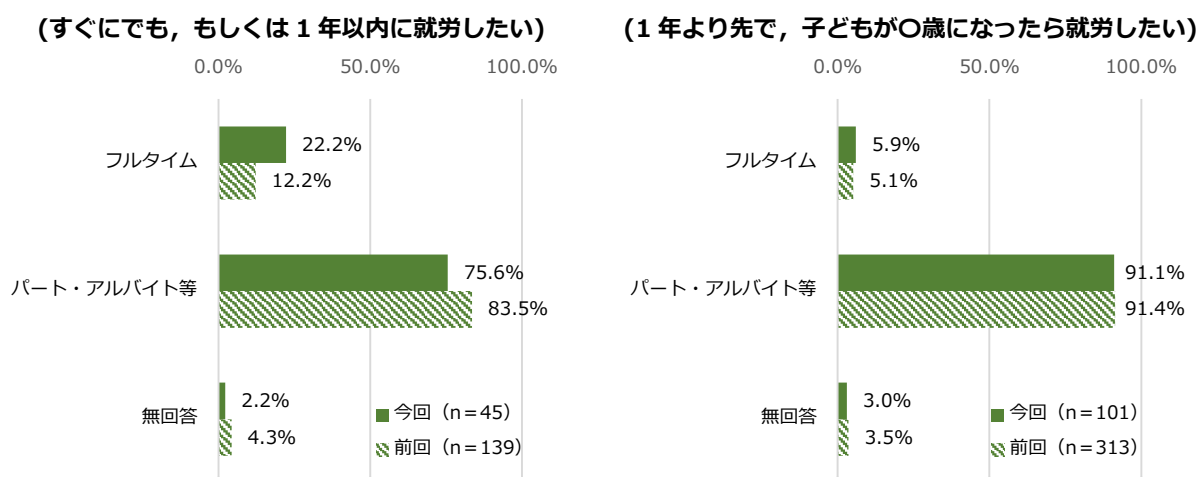
現在就労していない母親の今後の就労希望は、「有(1年より先で子どもが大きくなってから)」が57.4%と最も高く、次いで「有(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」が25.6%となり、就労希望のある母親が83.0%と8割を超えている。前回との比較では大きな変化はみられなかった。



今後の就労希望で、「有（1年より先で、子どもが大きくなったら就労したい）」と回答した人に就労希望時期を聞いたところ、「4～5歳」が26.7%で最も高く、次いで、「2～3歳」、「6～7歳」となり、2歳から7歳までで、8割弱を占めた。



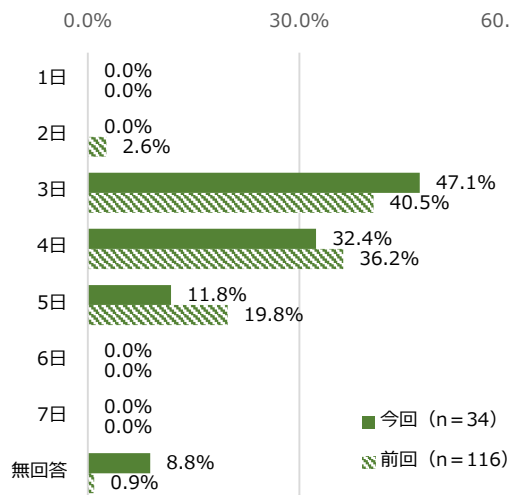
【母親】希望する就労形態



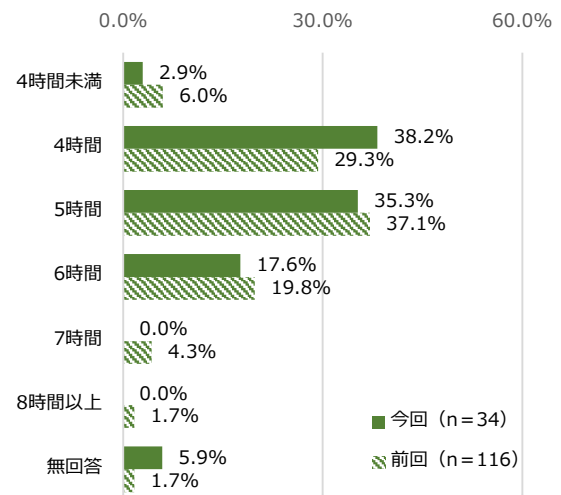
現在就労していないが就労希望のある母親の希望する就労形態を聞いたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人は、「パート・アルバイト等」が75.6%、「フルタイム」が22.2%となった。前回と比較すると、「パート・アルバイト等」割合が減り、「フルタイム」の割合が増えている。また、「1年より先で、子どもが大きくなったら」と回答した人では、「パート・アルバイト等」が91.1%、「フルタイム」が5.9%で、前回と比較して大きな変化はみられなかった。

【母親】パート・アルバイト等希望(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)

1週あたりの就労希望日数



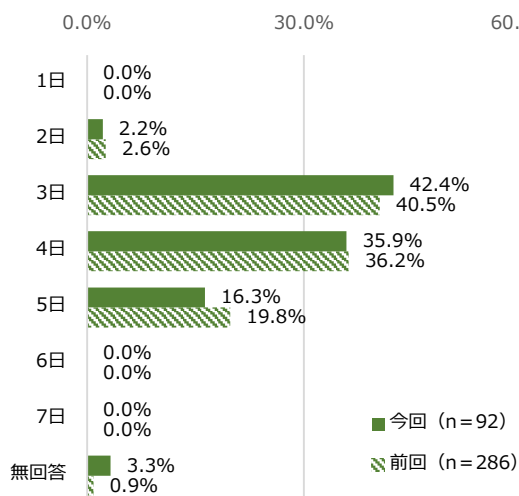
1日あたりの就労希望時間



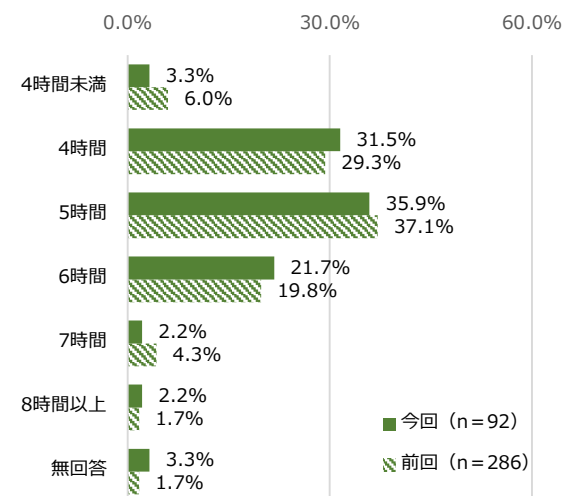
パート・アルバイト等希望で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の1週あたりの就労希望日数は、「4日」と「5日」の割合が減り、「3日」が47.1%となり、前回よりも6.6ポイント増えた。また、1日あたりの就労希望時間は「5時間」と「6時間」の割合が減り、「4時間」が38.2%となり、前回よりも8.9ポイント増えた。

【母親】パート・アルバイト等希望(1年より先で、子どもが〇歳になったら就労したい)

1週あたりの就労希望日数



1日あたりの就労希望時間



【父親】今後の就労希望<参考>

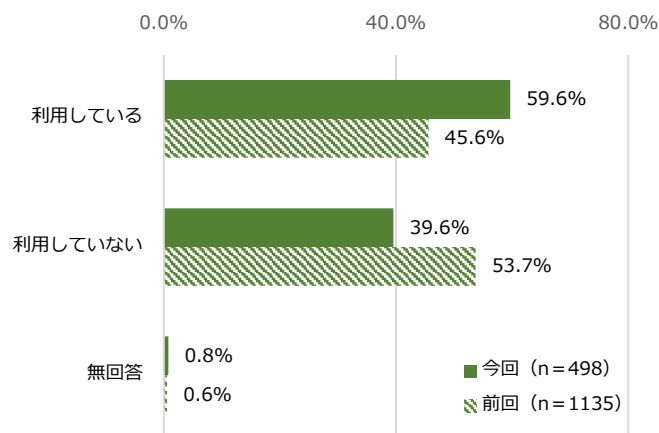
選択肢	今回 (n=6)	前回 (n=7)
有(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)	2	3
有(1年より先で、子どもが[]歳くらいになったら就労したい)	0	0
無	1	3
無回答	3	1

パート・アルバイト等希望で「1年より先で子どもが大きくなったら」と回答した人の1週あたりの就労希望日数は、「5日」の割合が減り、「3日」が42.4%で最も高く、1日あたりの就労希望時間は「5時間」35.9%で最も高くなった。

3. 教育・保育事業の利用

問 13. あて名のお子さんは、現在幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

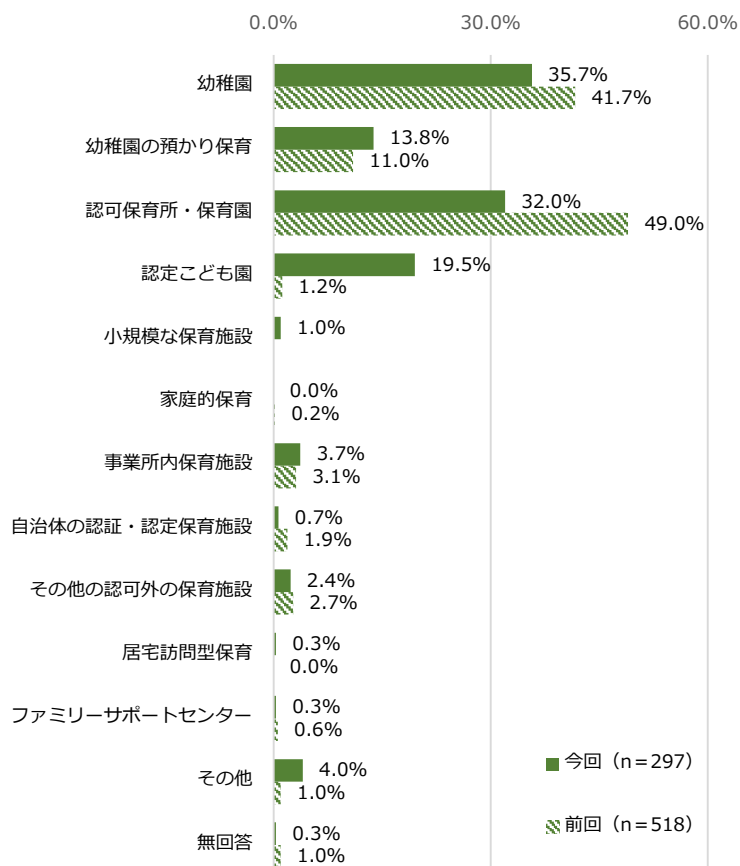
教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が 59.6%と半数を上回った。前回との比較では、「利用している」が 14 ポイント高くなり、「利用していない」が 14.1 ポイント低くなった。



(問 13 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 13-1. あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

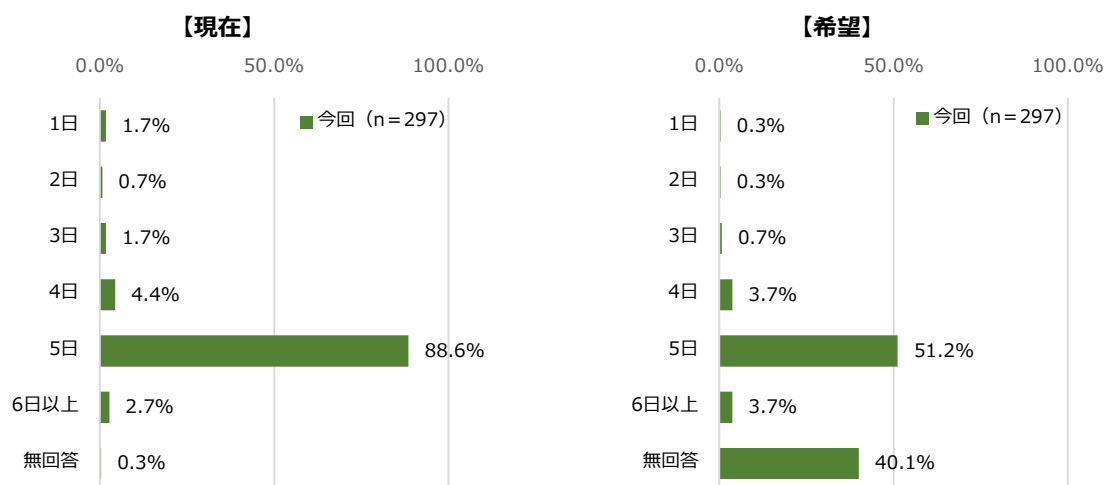
利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が 35.7%と最も高く、次いで「認可保育所・保育園」が 32.0%、「認定こども園」が 19.5%などとなった。前回との比較では「認可保育所・保育園」が 17 ポイント、「幼稚園」が 6 ポイント低くなり、「認定こども園」は 18.3 ポイント高くなった。



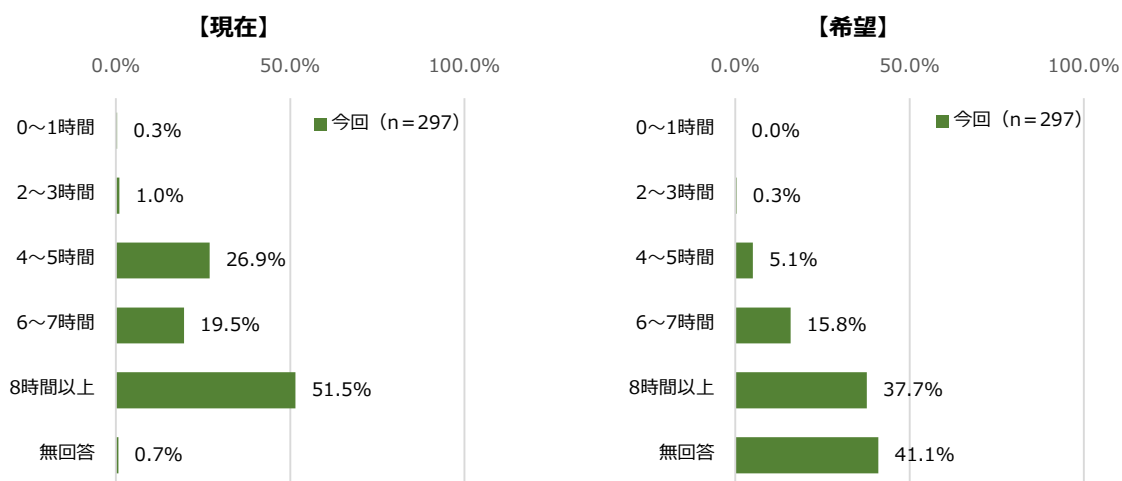
(問 13 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 13-2. 教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1 週あたりの日数

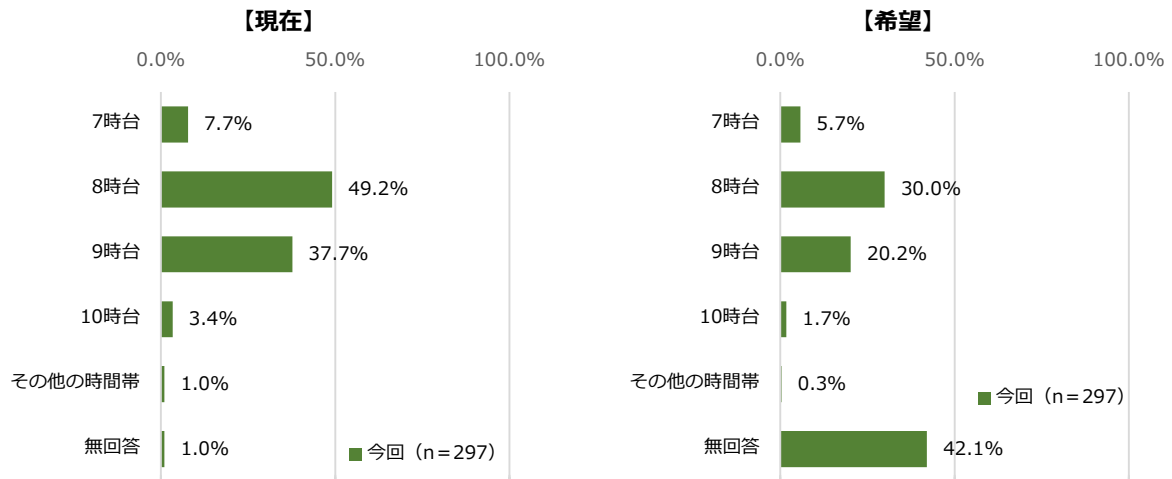


1 日あたりの利用時間

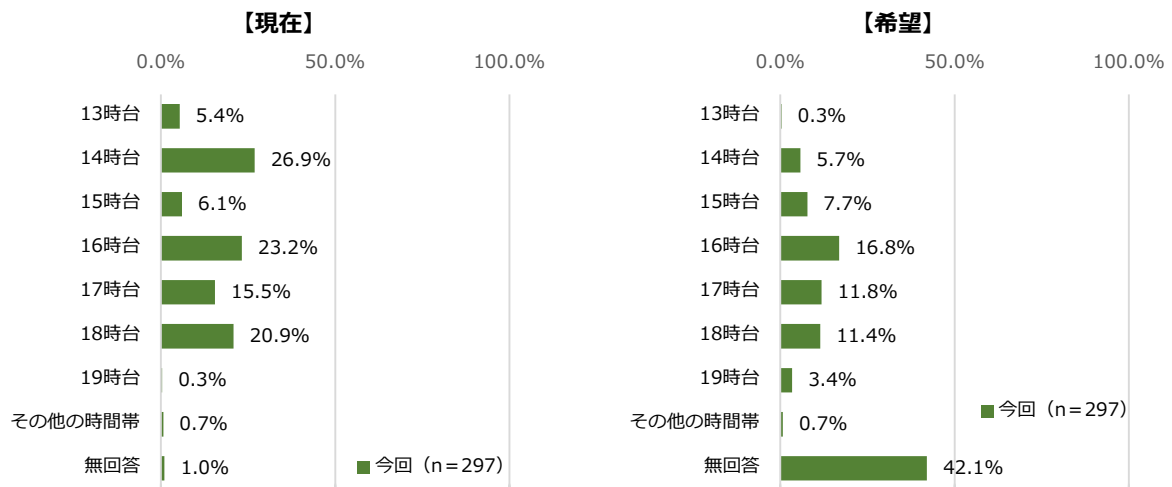


定期的に教育・保育事業を利用している人の利用日数は、「5 日」が 88.6%で最も高く、希望としても「5 日」が最も高くなった。また、1 日あたりの利用時間は「8 時間以上」が 51.5%と半数を超え、4 時間以上の利用が 9 割強を占めた。希望としても、無回答を除くと 8 時間以上が最も高くなった。

開始時間



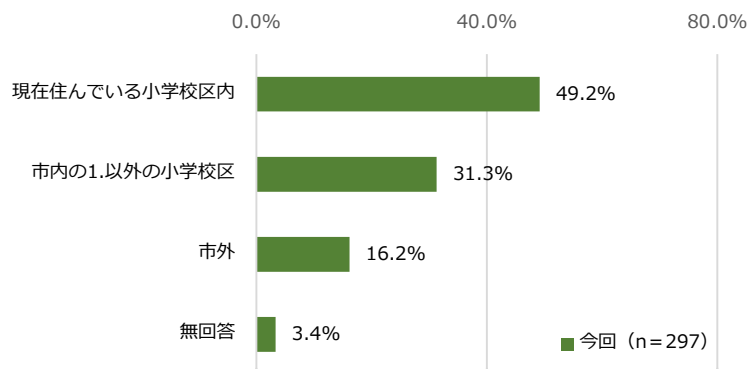
終了時間



(問 13 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 13-3. 現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。

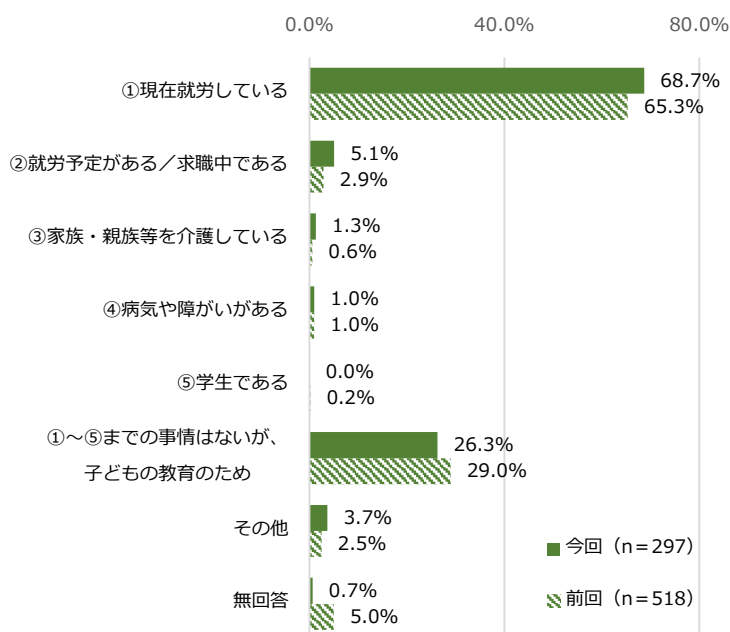
「現在住んでいる小学校区内」が 49.2%と最も高く、「市外」と「居住以外の小学校区」を合わせると 47.5%となった。



(問 13 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 13-4. 教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。(複数回答)

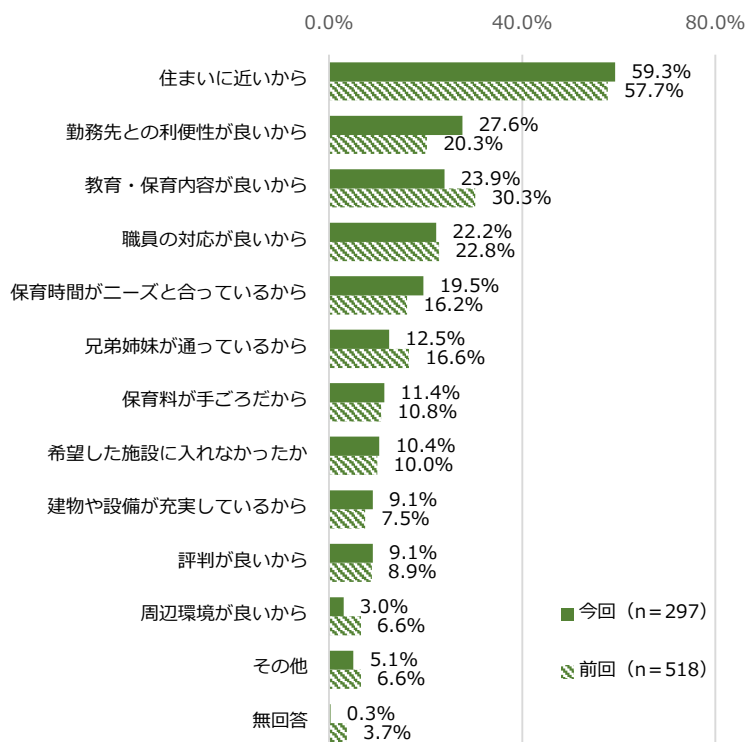
教育・保育事業を利用している理由は、前回と同様に「現在就労している」が最も高く、68.7%となった。



(問 13 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 13-5. 現在利用している場所を選んだ理由についてお伺いします。(複数回答)

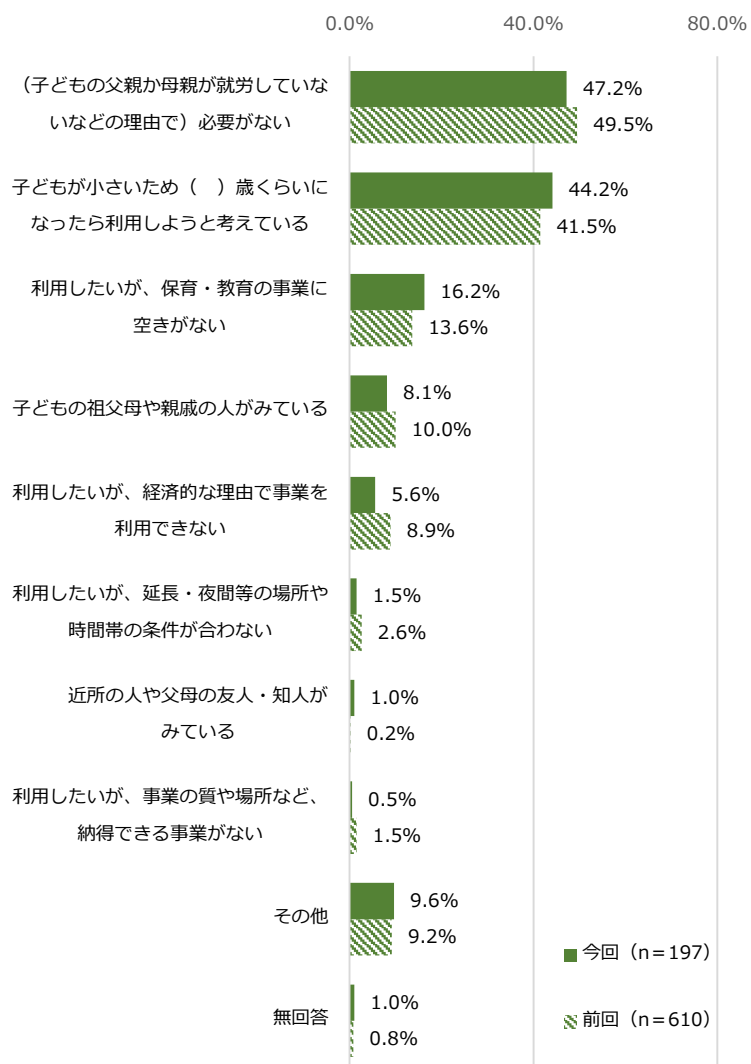
現在利用している教育・保育事業を利用している場所を選んだ理由は、「住まいに近いから」59.3%、「勤務先との利便性が良いから」27.6%、「教育・保育内容が良いから」23.9%の順となった。前回との比較では、「教育・保育内容が良いから」が6.4ポイント低くなった一方で、「勤務先との利便性が良いから」が7.3ポイント高くなっている。



(問 13 で「2.利用していない」をお選びの方へ)

問 13-6. 教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答)

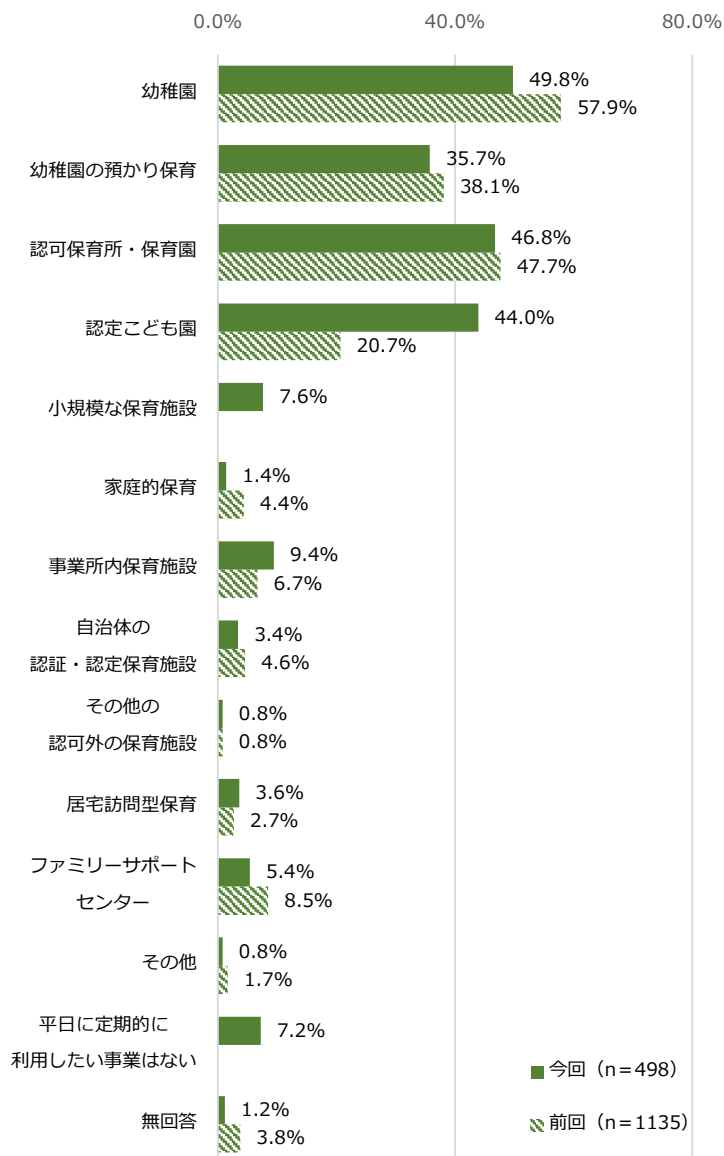
現在、教育・保育事業を利用していない理由は、「必要がない(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由)」が最も高い47.2%となり、次いで「子どもが小さいため」が44.2%となった。前回との比較では大きな変化はみられなかった。



(すべての方にうかがいます。)

問 14. あて名のお子さんに関して、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日の教育・保育事業として「定期的に利用したい」と考える教育・保育の事業をお答えください。(複数回答)

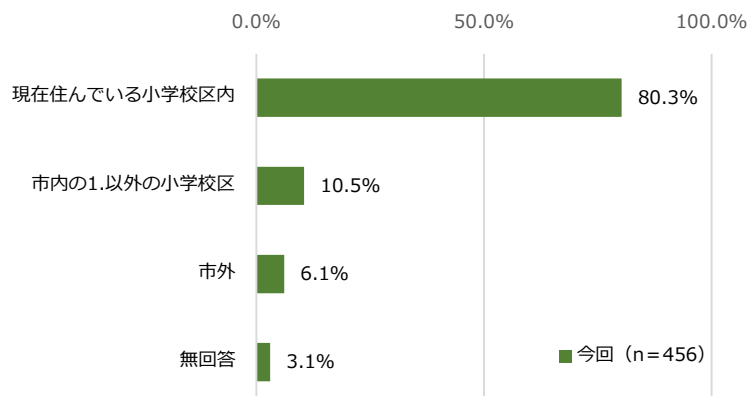
現在利用している、利用していないにかかわらず、「定期的に利用したい」と考える教育・保育事業は「幼稚園」が49.8%、「認可保育所・保育園」46.8%、「認定こども園」44.0%の順で高くなった。前回との比較では「幼稚園」が8.1ポイント低くなり、「認定こども園」が23.3ポイント高くなった。



(問 14 で「1」～「12」をお選びの方へ)

問 14-1. 教育・保育事業を利用したい場所についてお伺いします。

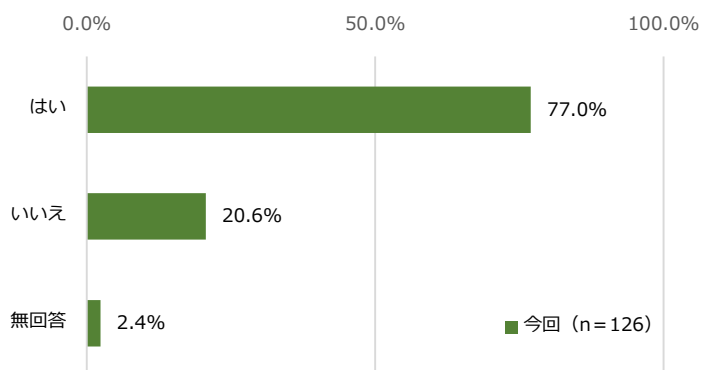
教育・保育事業を利用したい場所の希望は、「現在住んでいる小学校区内」が80.3%と8割を超えた。



(問 14 で「1」または「2」(幼稚園・幼稚園の預かり保育)を選び、「3」～「12」もお選びの方へ)

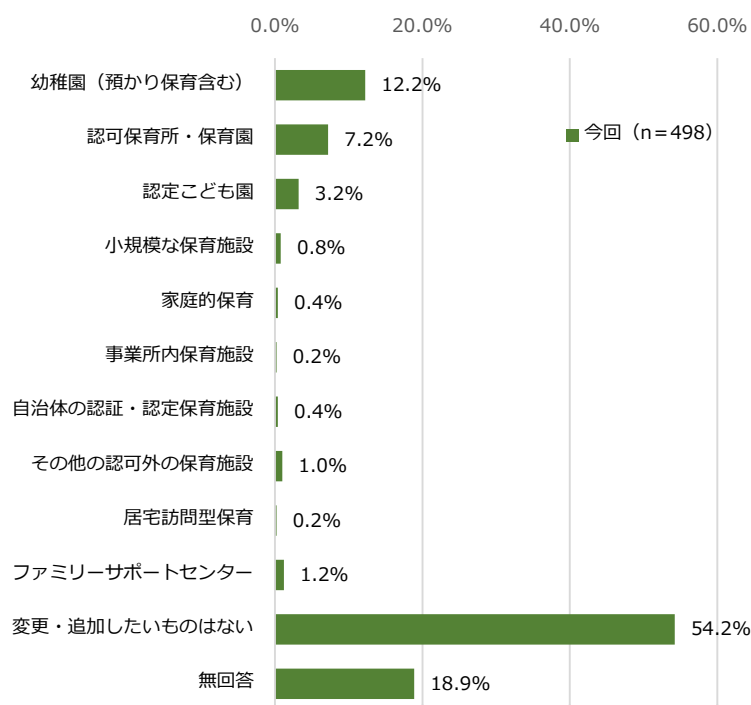
問 14-2. 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を含む)の利用を強く希望しますか。

幼稚園と保育事業の両方の利用希望がある場合に、幼稚園の利用を強く希望するかを聞いたところ、「はい」が77.0%と8割弱を占めた。



問 14-3. 2019 年 10 月からの実施を目指し、国によって検討が進められている無償化によって、問 14 の回答から変更・追加したいと思うものはありますか。何に変更・追加したいかをお答えください。

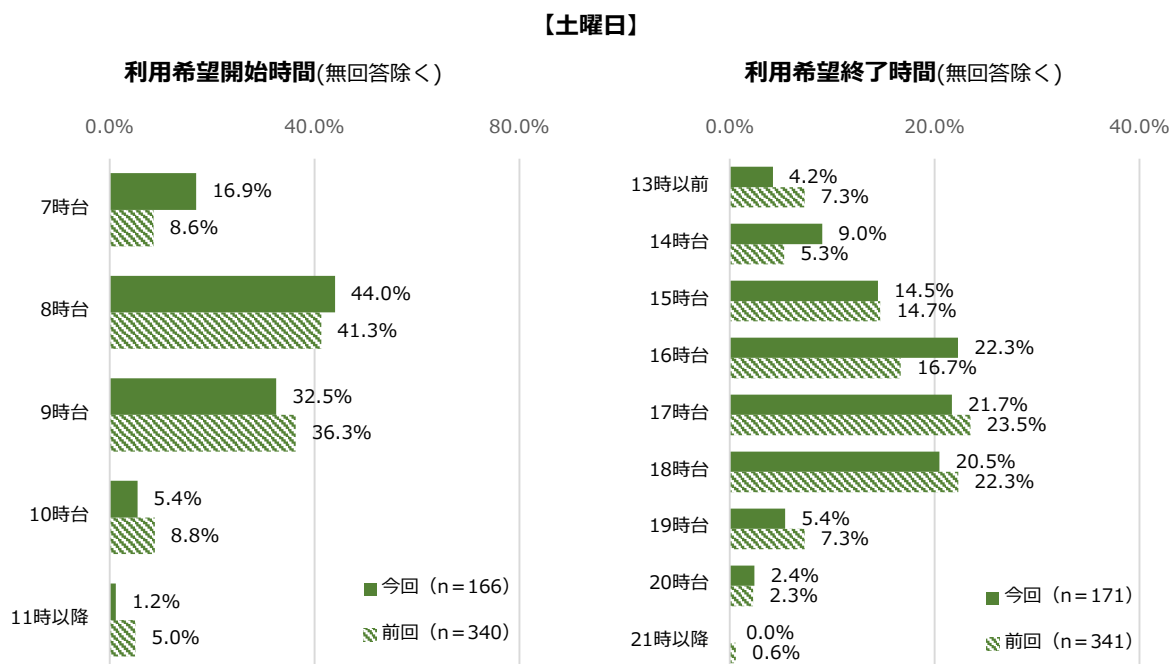
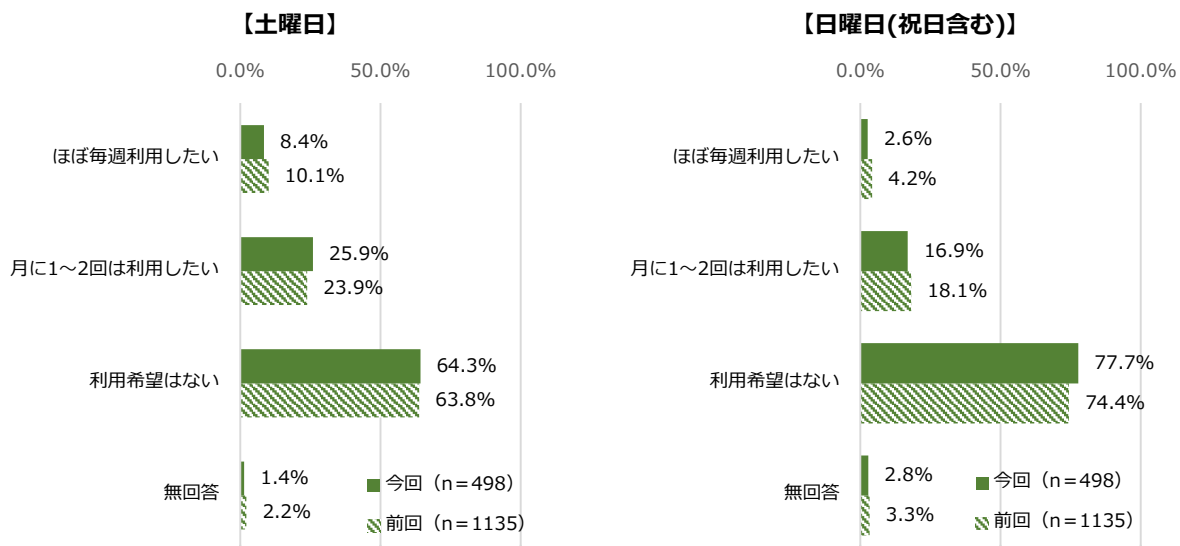
国によって検討が進められている無償化によって教育・保育事業の利用希望の変更・追加をしたいか聞いたところ、「変更・追加したいものはない」が54.2%と最も高くなり、「幼稚園(預かり保育含む)」が12.2%、「認可保育所・保育園」が7.2%などとなった。



4. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

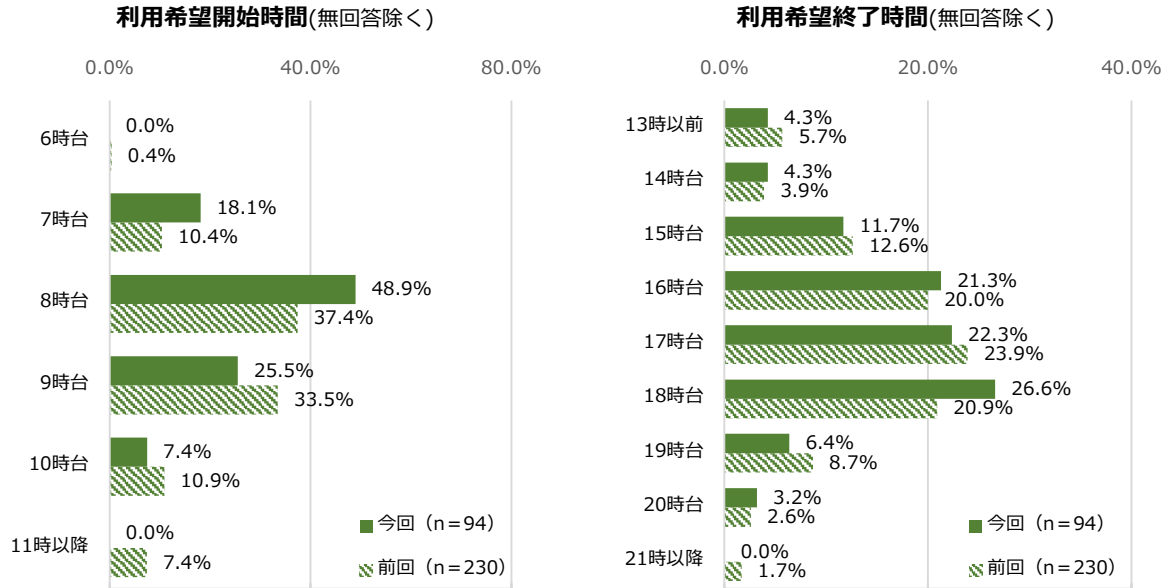
(すべての方にうかがいます。)

問 15. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育事業の利用希望はありますか。



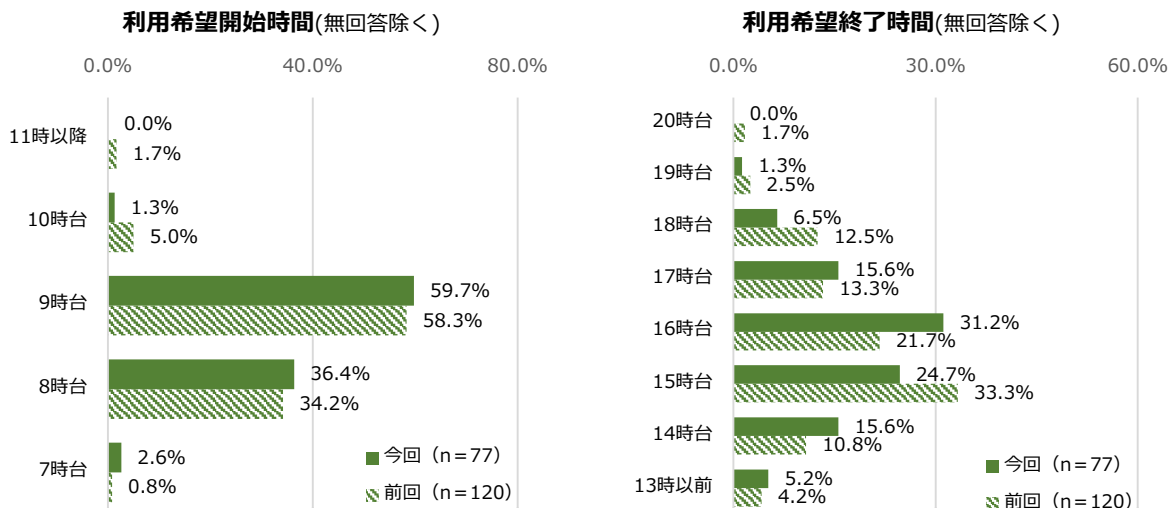
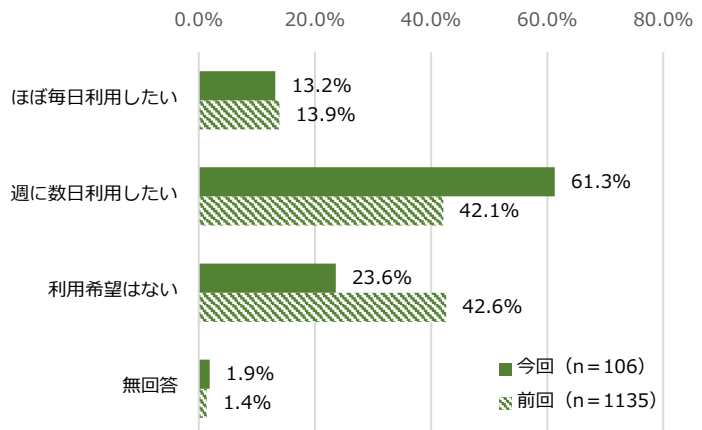
教育・保育事業における土曜日、日曜日・祝日の利用希望は、土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1~2回は利用したい」を合わせた『利用したい』が34.3%となった。利用希望開始時間は、土曜日、日曜日・祝日ともに「8時台」、「9時台」の割合が高く、利用希望終了時間は土曜日、日曜日・祝日ともに「16時台」、「17時台」、「18時台」の割合が高かった。

【日曜日(祝日含む)】



問 16.「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、教育・保育事業の利用希望がありますか。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の利用希望は、「ほぼ毎日利用したい」と「週に数日利用したい」を合わせた『利用したい』が前回よりも 18.5 ポイント高い 74.5%と 7 割を超えた。

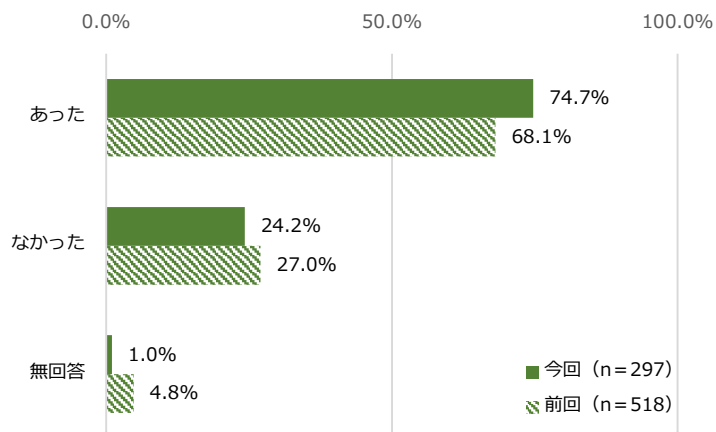


5. お子さんの病気等の際の対応

(問 13 で「1. (教育・保育事業を) 利用している」をお選びの方へ)

問 17. 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

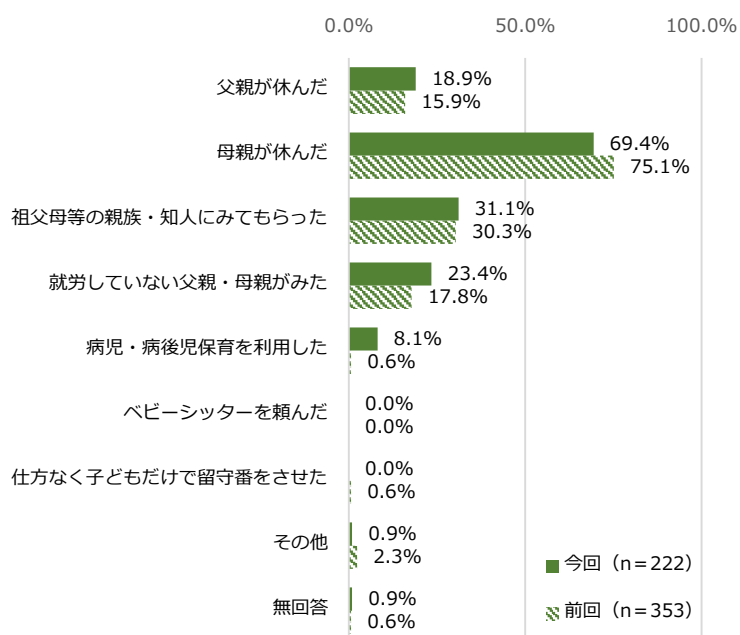
教育・保育事業を利用している場合に、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」と回答した割合は、74.7%となり、前回よりも 6.6 ポイント高くなった。



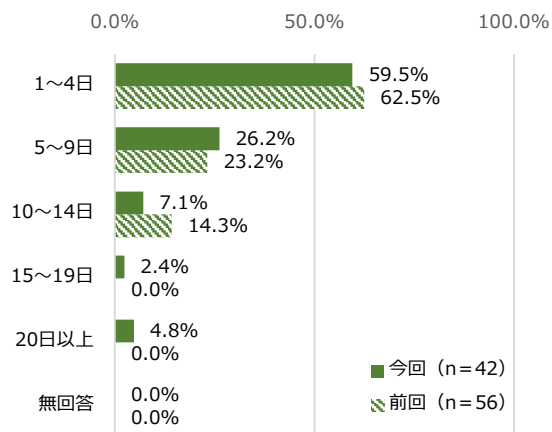
(問 17 で「1.あった」をお選びの方へ)

問 17-1. この 1 年間、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(複数回答)

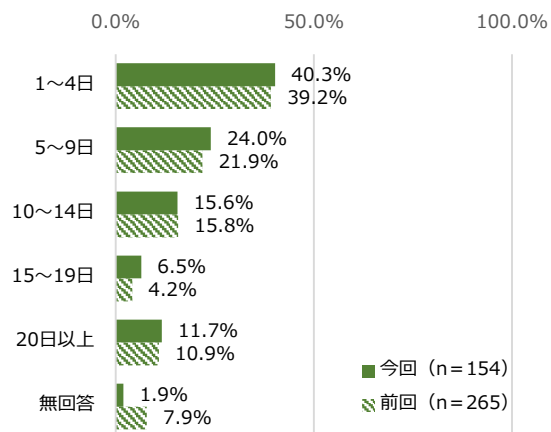
病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」場合の対処方法は、前回よりも 5.7 ポイント低かったものの、「母親が休んだ」が 69.4%で最も高かった。次いで、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」31.1%、「就労していない父親・母親がみた」23.4%などとなった。また、対処方法別の日数は、「1~4 日」の割合がいずれも高かった。



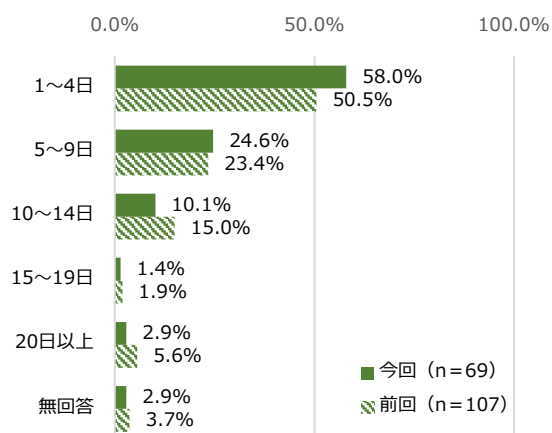
父親が休んだ日数



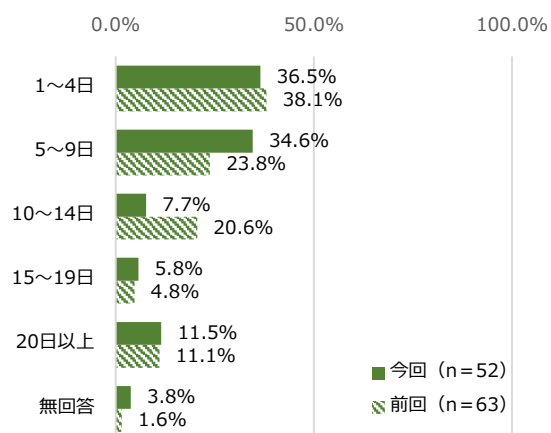
母親が休んだ日数



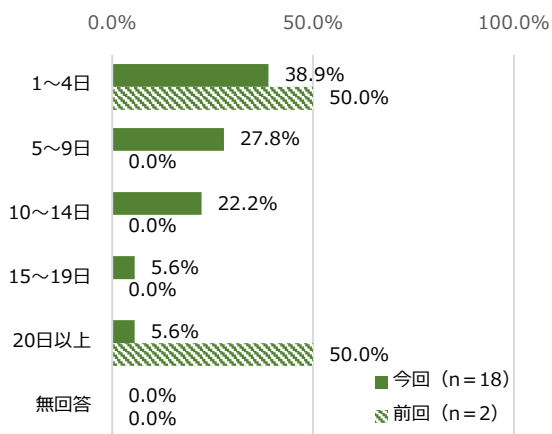
祖父母等の親族・知人にみてもらった日数



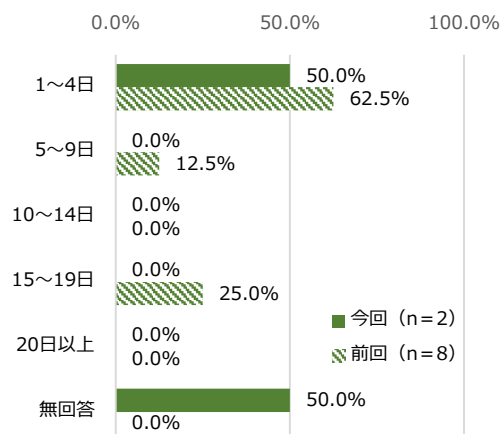
就労していない父親・母親がみた日数



病児・病後児保育を利用した日数

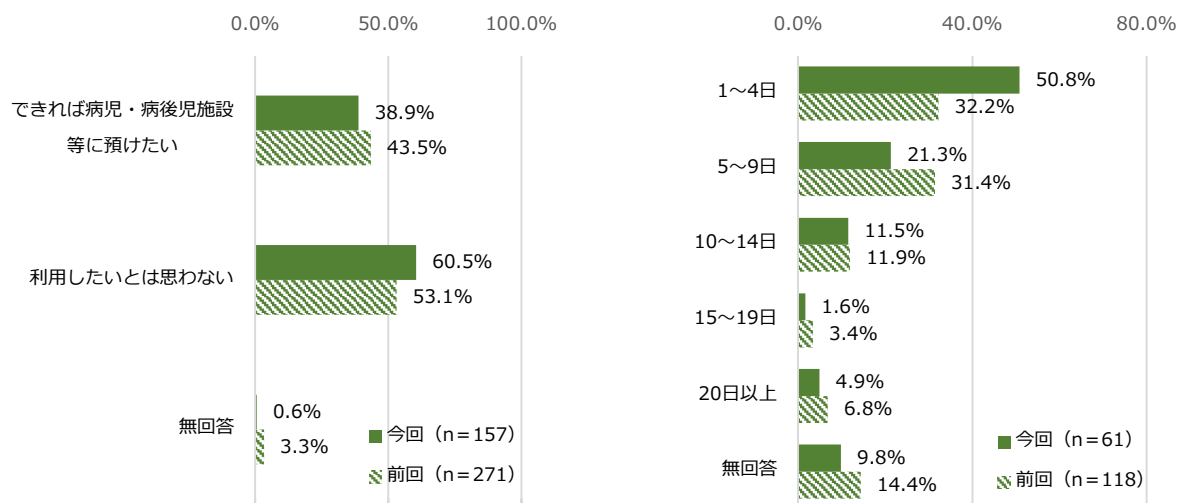


その他



(問 17-1 で「1.父親が休んだ」または「2.母親が休んだ」をお選びの方へ)

問 17-2. その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。

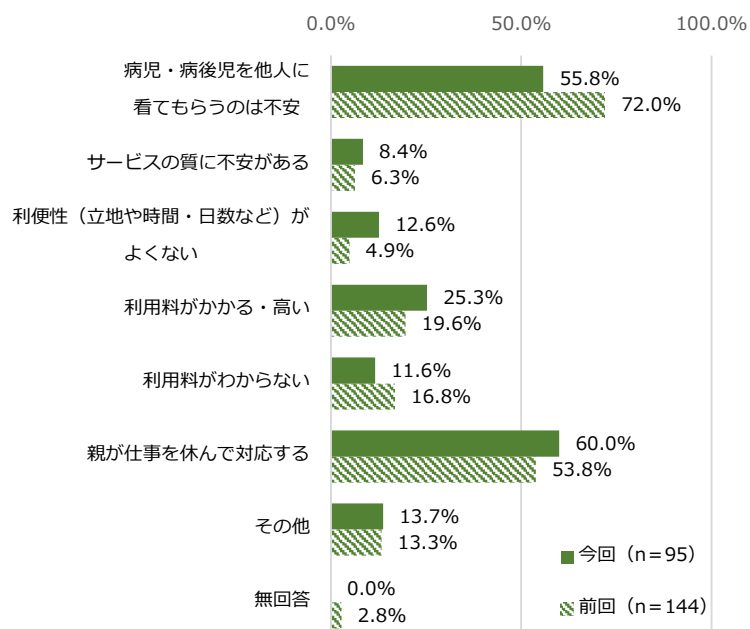


病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」場合の対処方法として「母親が休んだ」、「父親が休んだ」場合の施設の利用希望は、「できれば施設等に預けたい」が38.9%、「利用したいとは思わない」が60.5%となった。また、施設等を利用したい日数は、「1～4日」が50.8%と最も高く、次いで「5～9日」が21.3%となり、10日未満で7割を超えた。

(問 17-2 で「2.利用したいとは思わない」をお選びの方へ)

問 17-3. 「利用したいとは思わない」を選んだ理由についてお答えください。(複数回答)

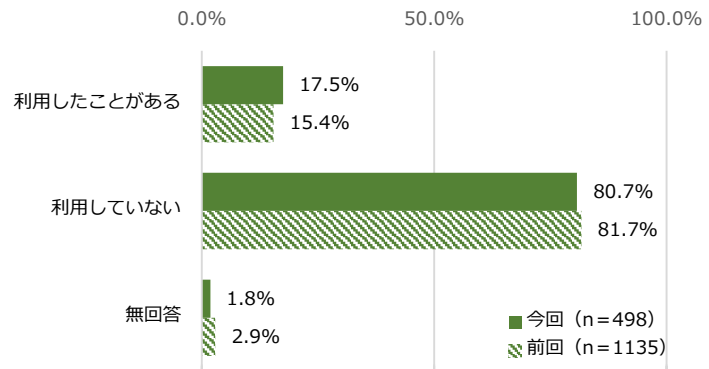
「施設を利用したいとは思わない」理由は、「親が仕事を休んで対応する」が60.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が55.8%「利用料金がかかる・高い」25.3%の順となった。



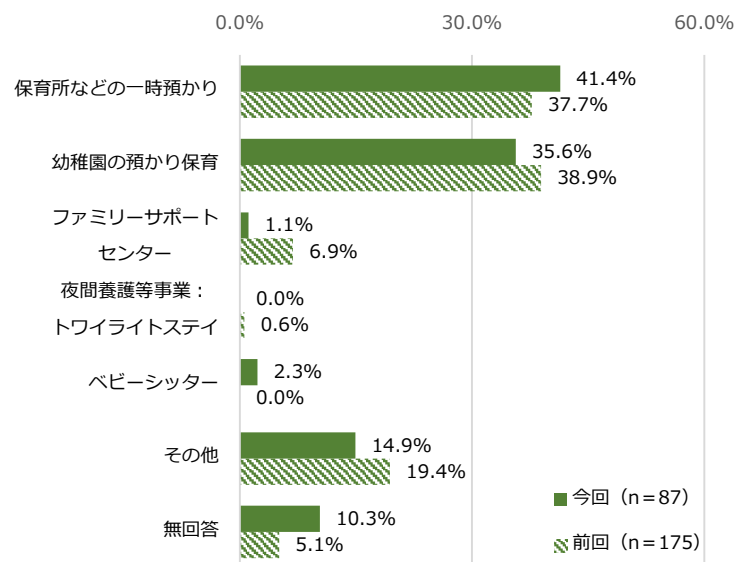
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

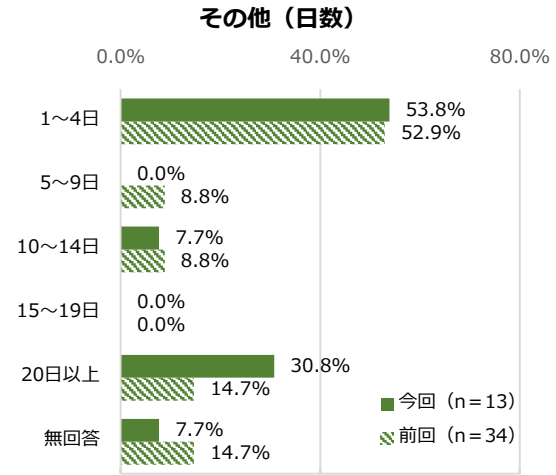
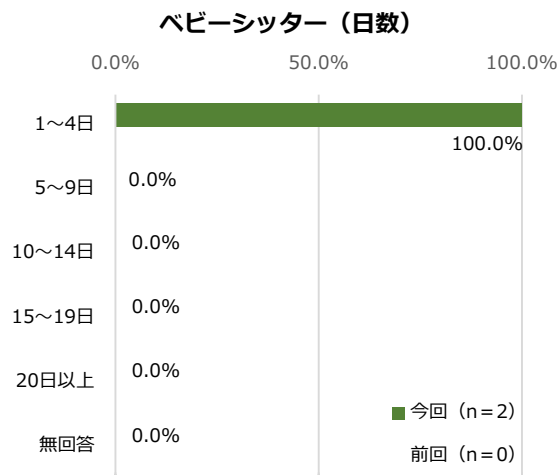
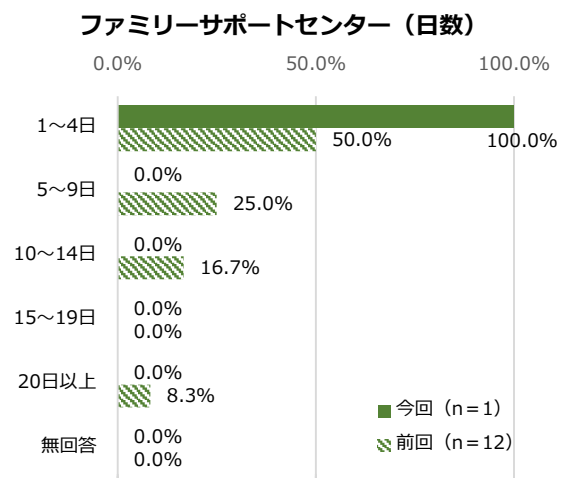
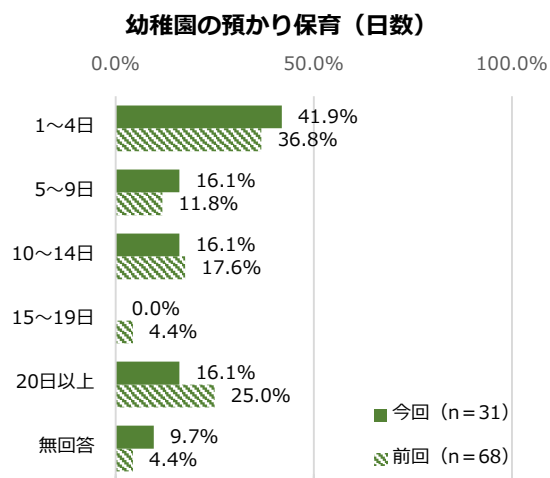
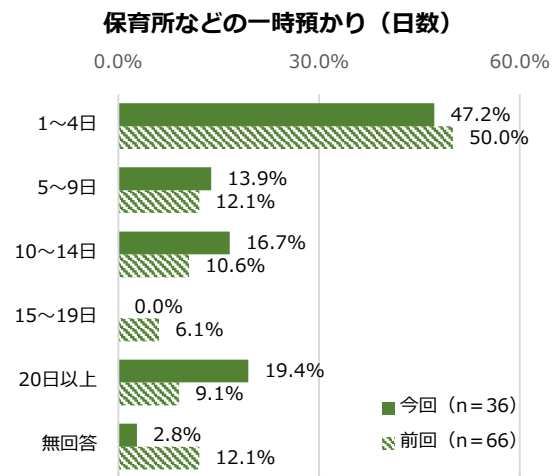
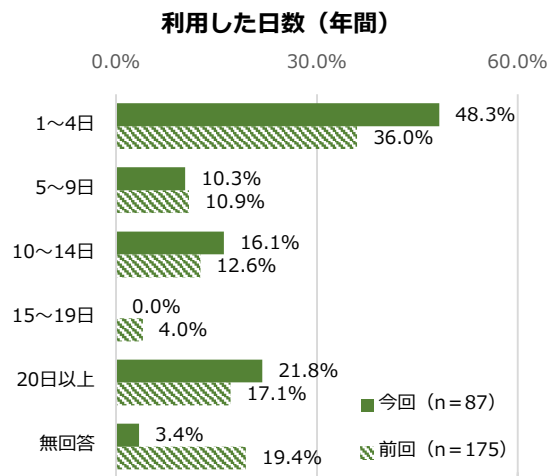
問 18. この１年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などにより、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（複数回答）

この１年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などで、子どもを家族以外に預けたことを聞いたところ、「利用した(預けた)ことがある」が17.5%、「利用していない」が80.7%となり、前回と比較して大きな変化はみられなかった。また、その際に利用したサービス・事業は、「保育所などの一時預かり」が41.4%、「幼稚園の預かり保育」が35.6%などとなった。



利用したサービス・事業

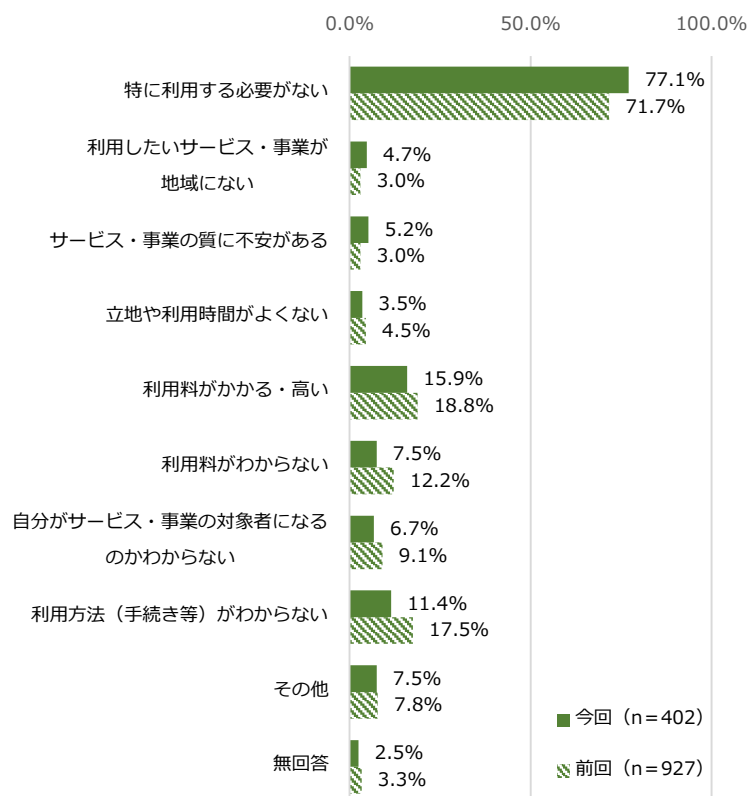




(問 18 で「2.利用していない」をお選びの方へ)

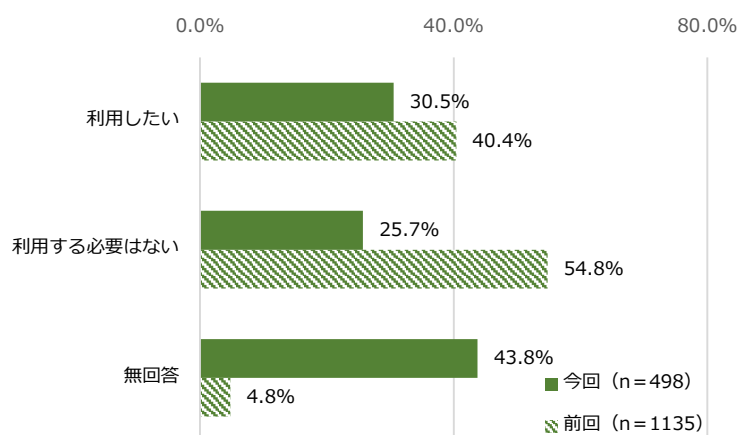
問 18-1. 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

一時預かりなどの事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 77.1%と 7 割強を占め、次いで「利用料がかかる・高い」が 15.9%、「利用方法(手続き等)がわからない」が 11.4%などとなった。

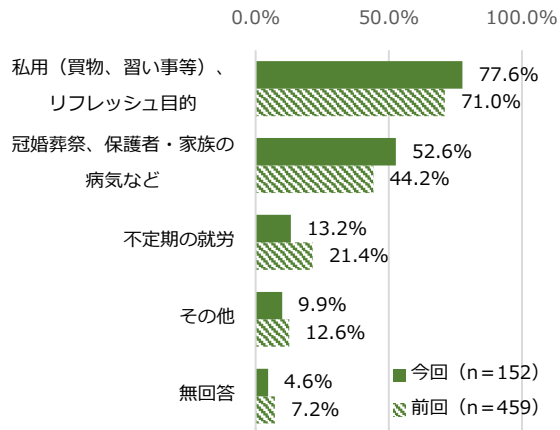


問 19. あて名のお子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などにより、年間何日くらい問 18 のサービス・事業を利用する必要があると思いますか。(複数回答)

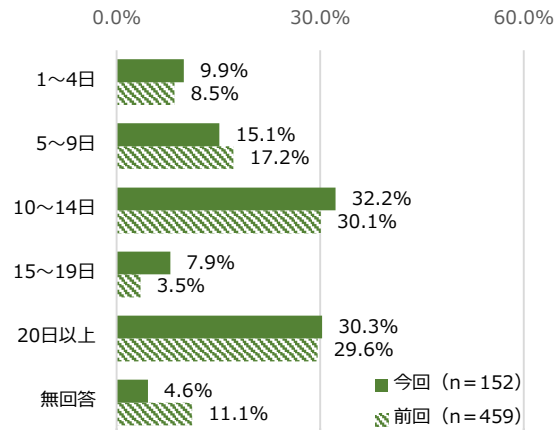
私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などによる一時預かり事業の今後の利用希望は、「利用したい」が 30.5%、「利用する必要がない」が 25.7%だった。



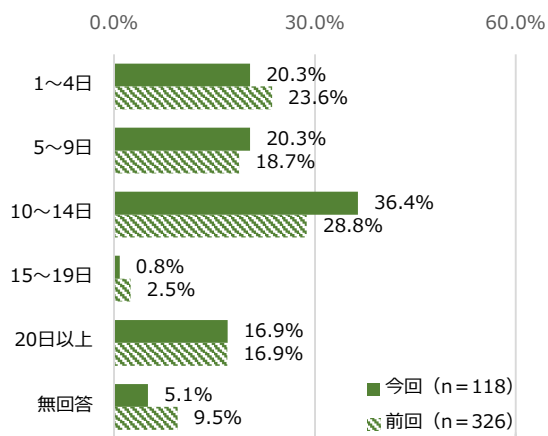
利用したい理由



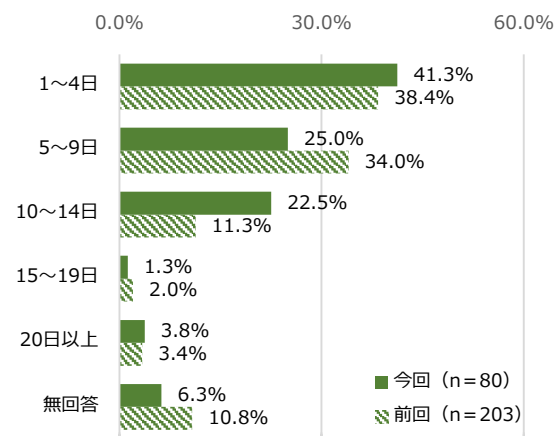
年間の日数



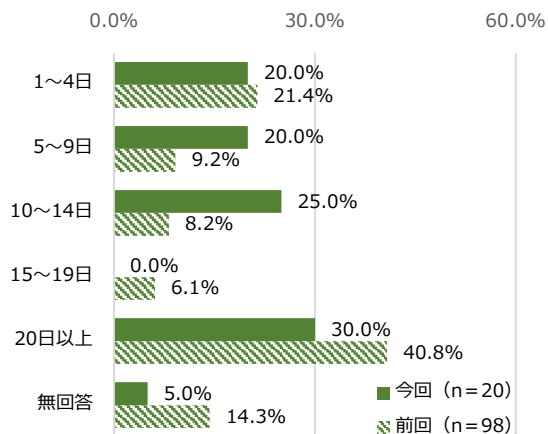
私用目的(買物、習い事等)



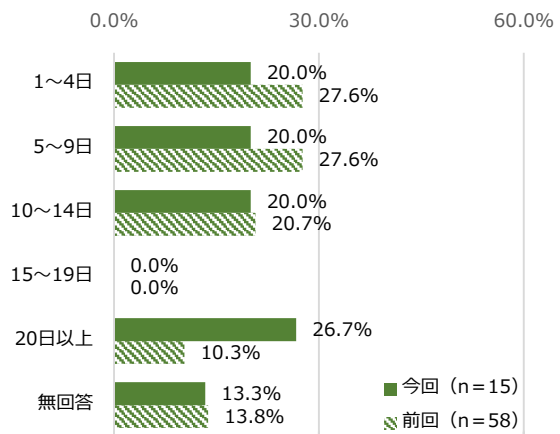
冠婚葬祭、親の病気など



不定期の就労



その他

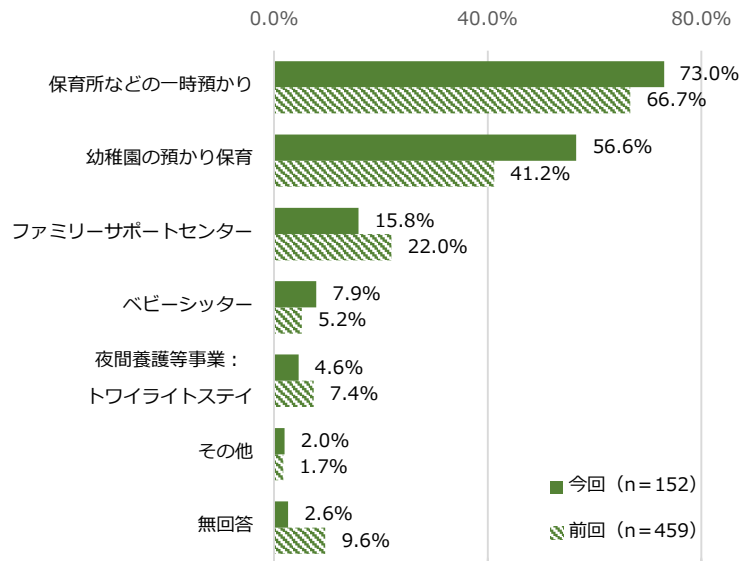


(問 19 で「1.利用したい」をお選びの方へ)

問 19-1. 問 19 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(複数回答)

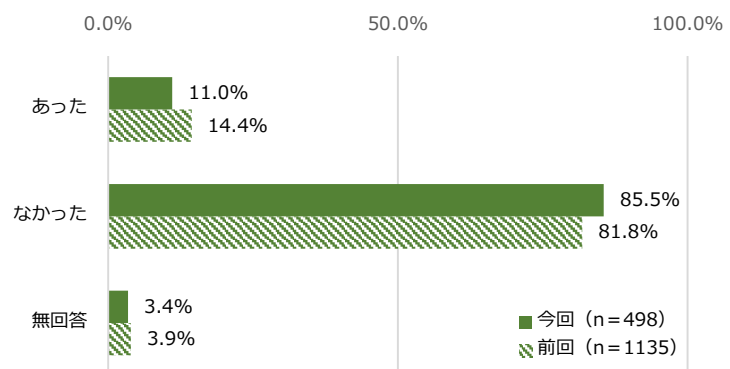
私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などの一時預かり事業の望ましい事業形態を聞いたところ、「保育所などの一時預かり」が 73.0%と 7 割強を占め、次いで「幼稚園の預かり保育」56.6%、「ファミリーサポートセンター」15.8%などとなった。



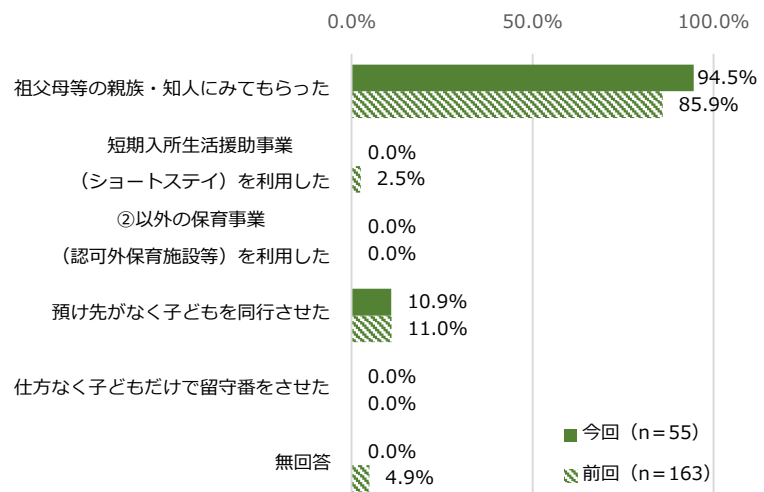
問 20. この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

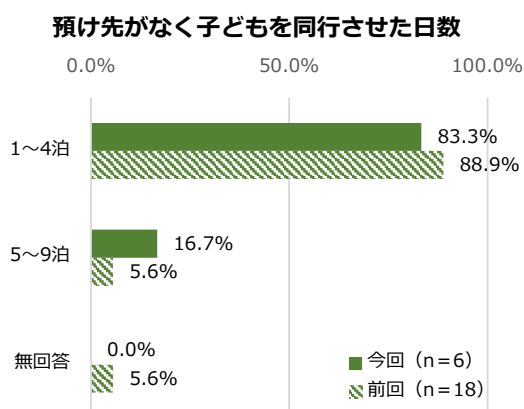
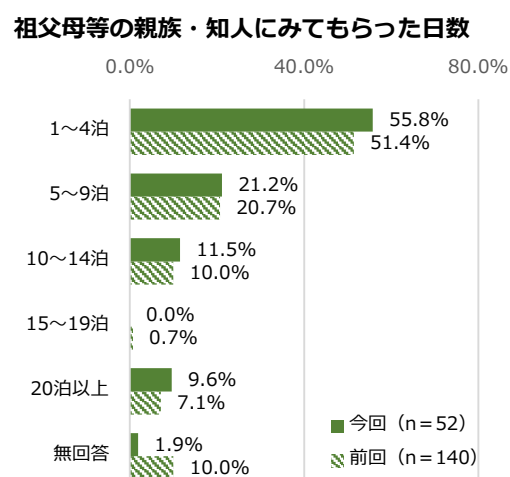
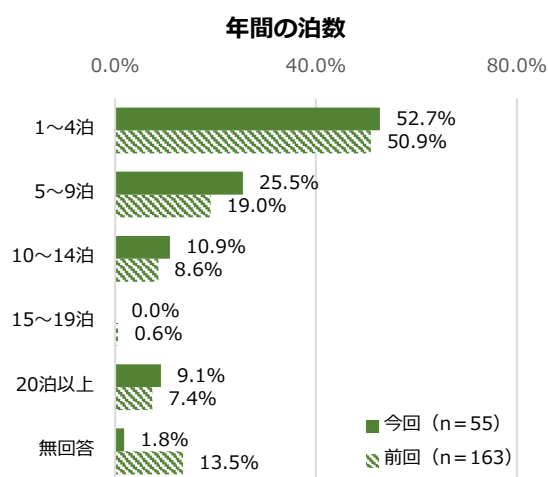
(預け先が見つからなかった場合も含みます。)(複数回答)

この 1 年間に保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無は、「あった」が 11.0%、「なかった」が 85.5%となった。前回との比較では「あった」が 3.4 ポイント低くなり、「なかった」が 3.7 ポイント高くなった。また、その際の対処方法は、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が 94.5%と 9 割強を占めた。



【対処方法】

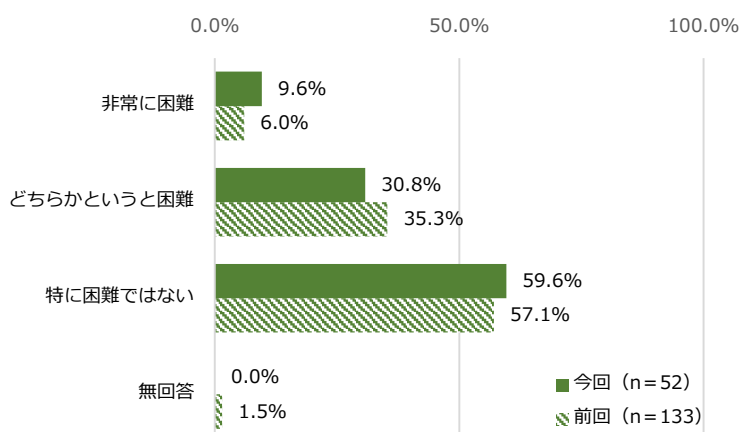




(問 20 で「1.あった ①祖父母等の親族・知人にみてもらった」をお選びの方へ)

問 20-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。

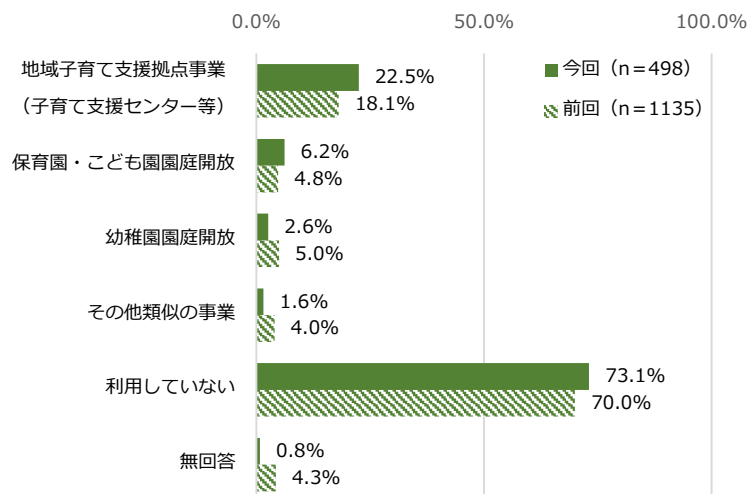
子どもを泊りがけで家族以外の誰かに預けたことがあり、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」際の困難度は、「特に困難ではない」が 59.6%と 6 割弱を占めた。「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせた『困難である』は 40.4%となった。



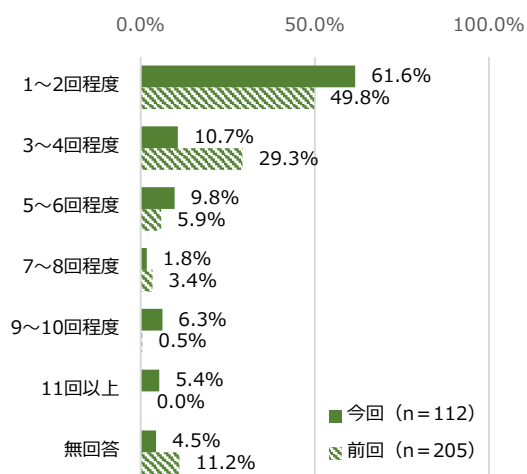
7. 地域の子育て支援事業の利用状況

問 21. あて名のおさんは、現在、地域の子育て支援事業を利用していますか。（複数回答）

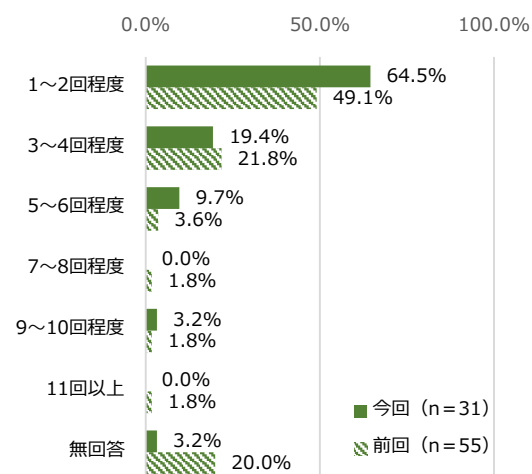
地域子育て支援事業の利用状況は、地域子育て支援拠点事業が最も高く 22.5%で、その他の事業を合わせた『利用している』割合は 32.9%となった。また、事業別の1ヶ月あたりの利用回数をみると、全ての事業で「1～2回程度」の割合が最も高くなっている。



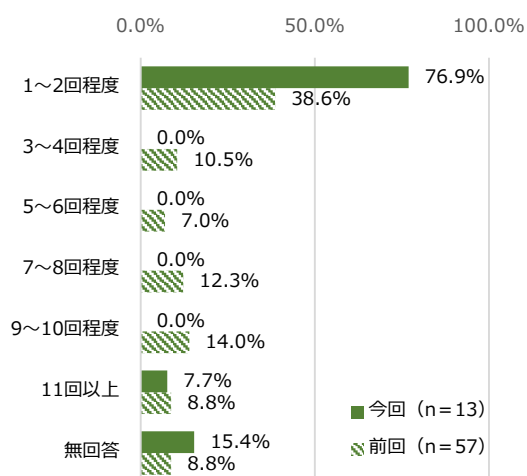
地域子育て支援拠点事業(1ヶ月あたり)



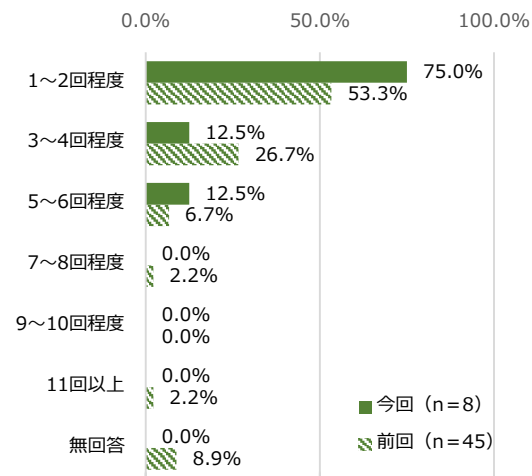
保育園・こども園園庭開放(1ヶ月あたり)



幼稚園園庭開放(1ヶ月あたり)

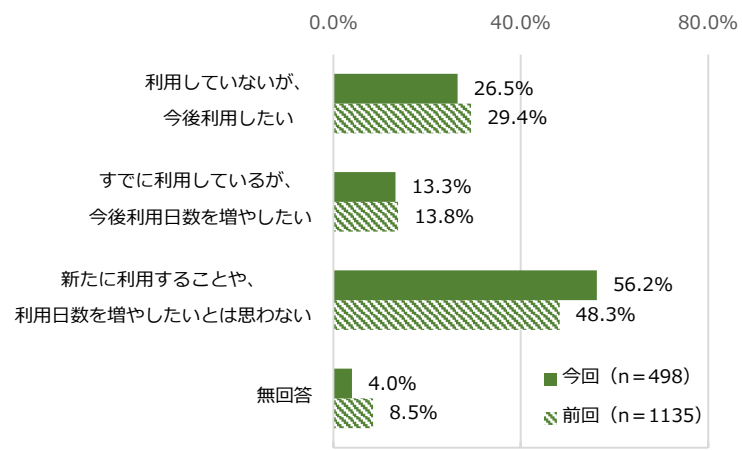


その他の類似事業(1ヶ月あたり)

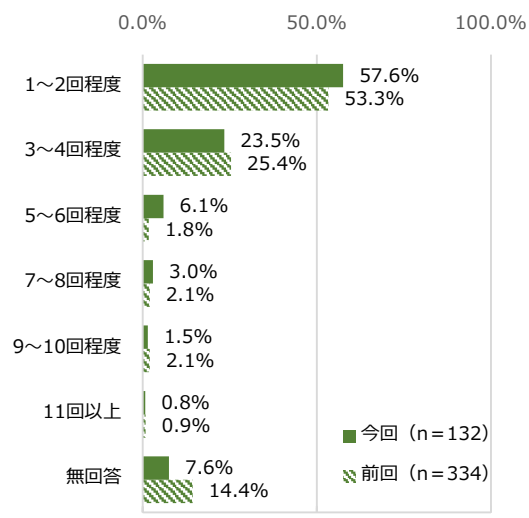


問 22. 問 21 のような地域の子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

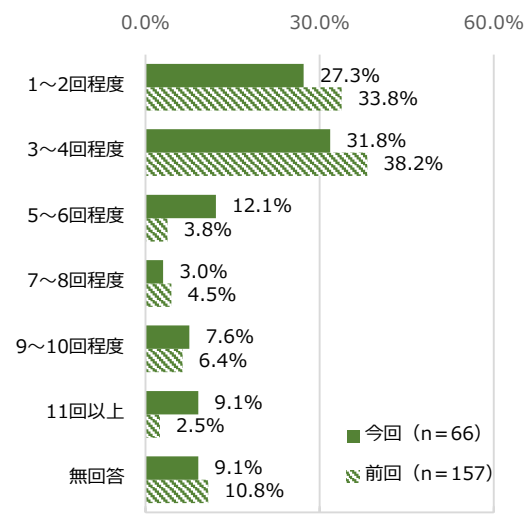
地域子育て支援事業の今後の利用希望は、「利用していないが今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた『利用したい』が 39.8% となり、前回よりも 3.4 ポイント低く、「新たに利用することや、利用日数を増やしたいとは思わない」が 7.9 ポイント高くなった。



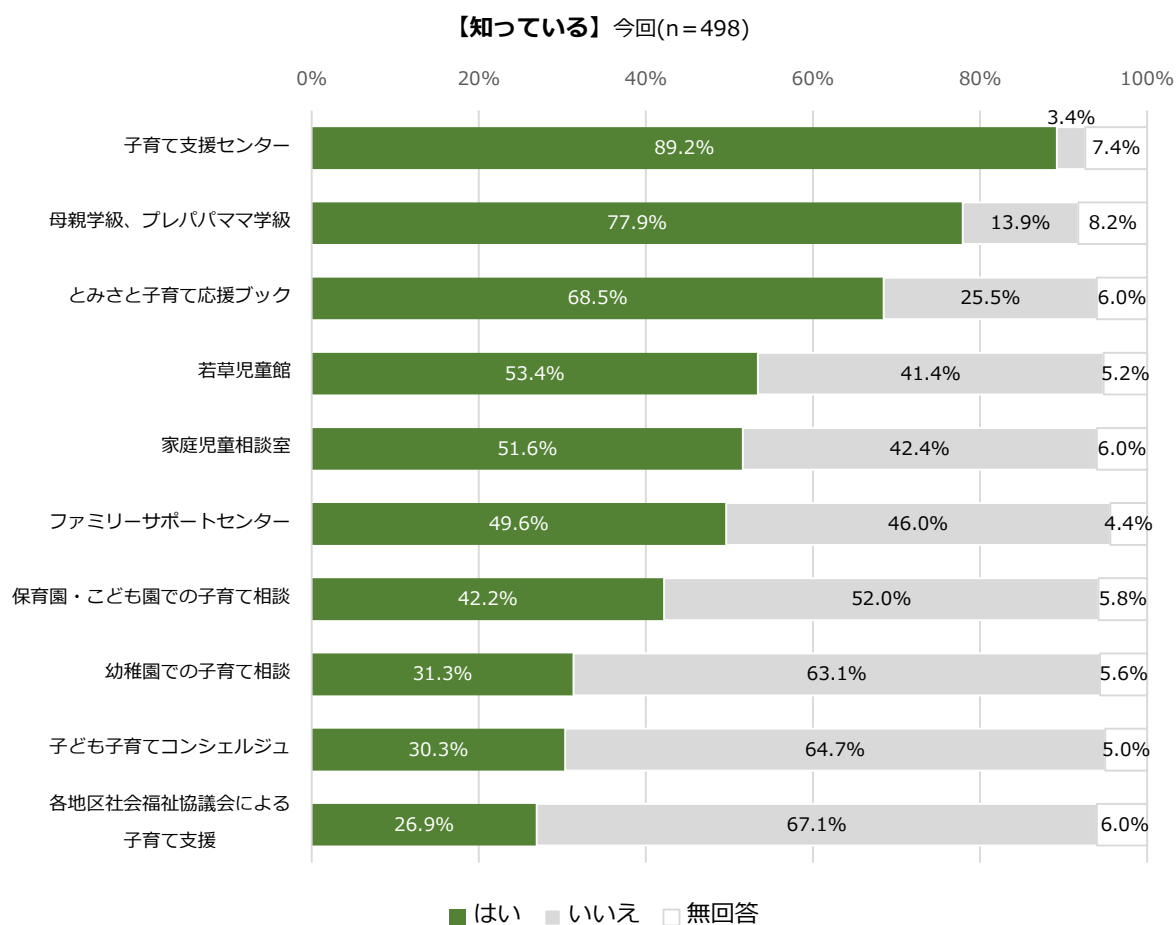
利用していないが今後利用したい(1 ヶ月あたり)



利用日数を増やしたい(1 ヶ月あたり更に)



問 23. 下記で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

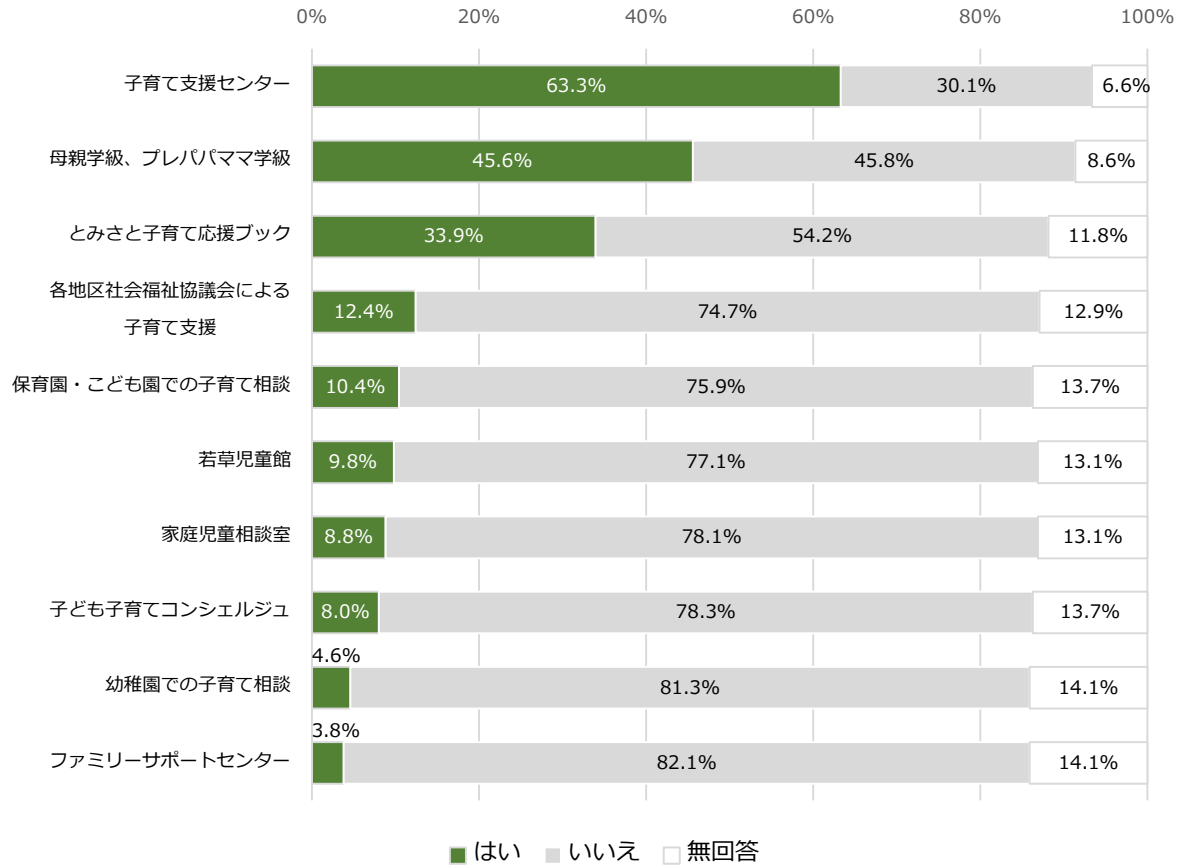


子育て支援サービスや事業の認知度【知っている】は、「子育て支援センター」が89.2%と最も高く、次いで、「母親学級、プレパパママ学級」が77.9%、「とみさと子育て応援ブック」が68.5%などとなった。

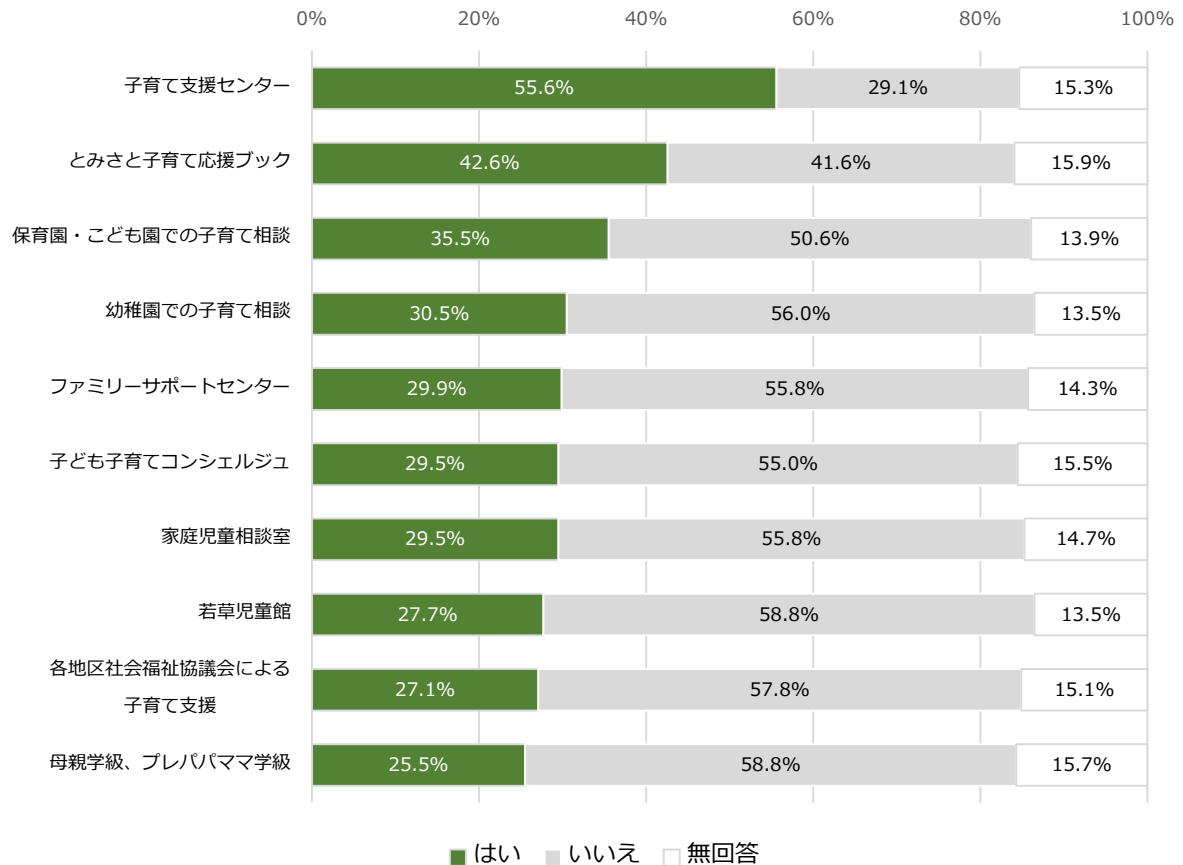
利用状況【利用したことがある】は、「子育て支援センター」が半数を上回る63.3%、次いで「母親学級、プレパパママ学級」45.6%、「とみさと子育て応援ブック」33.9%などとなった。

今後の利用意向【今後利用したい】は、「子育て支援センター」55.6%、「とみさと子育て応援ブック」42.6%、「保育園・こども園での子育て相談」35.5%の順となった。

【利用したことがある】今回(n=498)

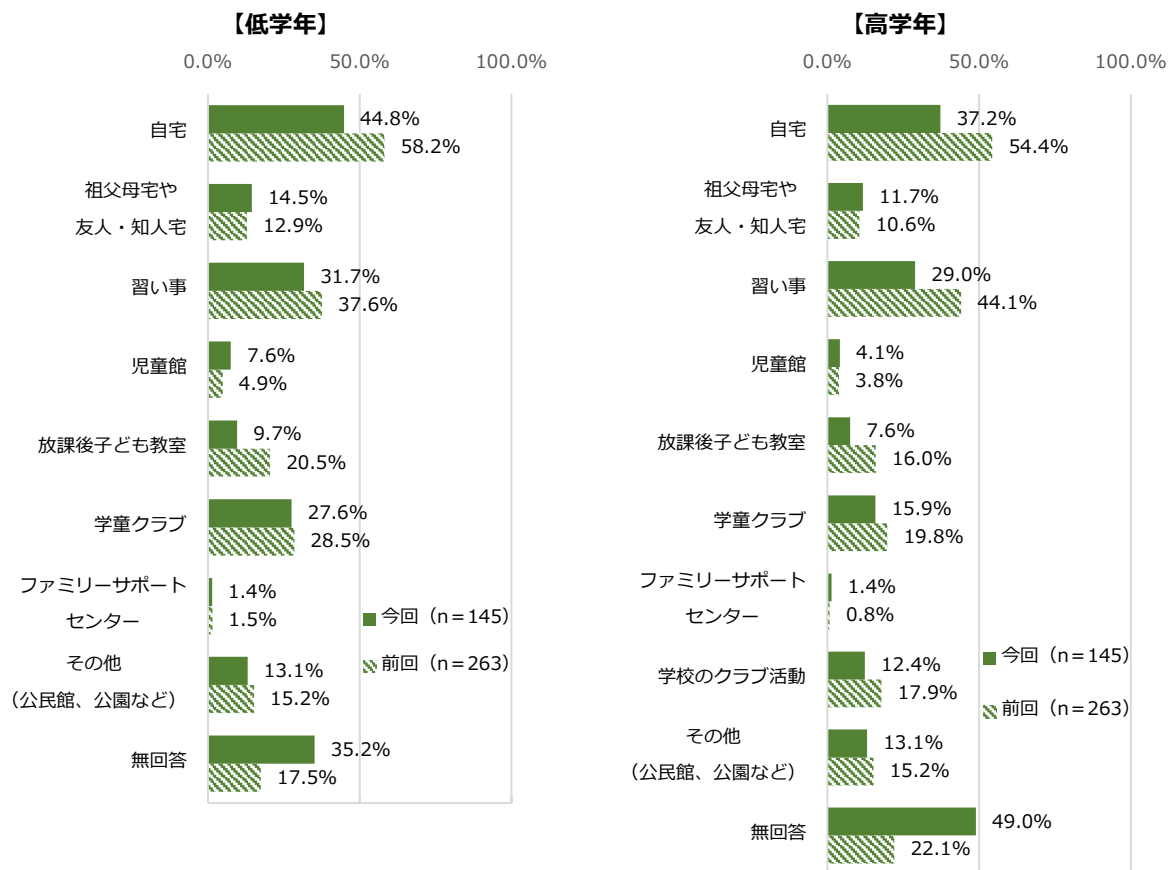


【今後利用したい】今回(n=498)



8. 小学校就学後の放課後の過ごし方

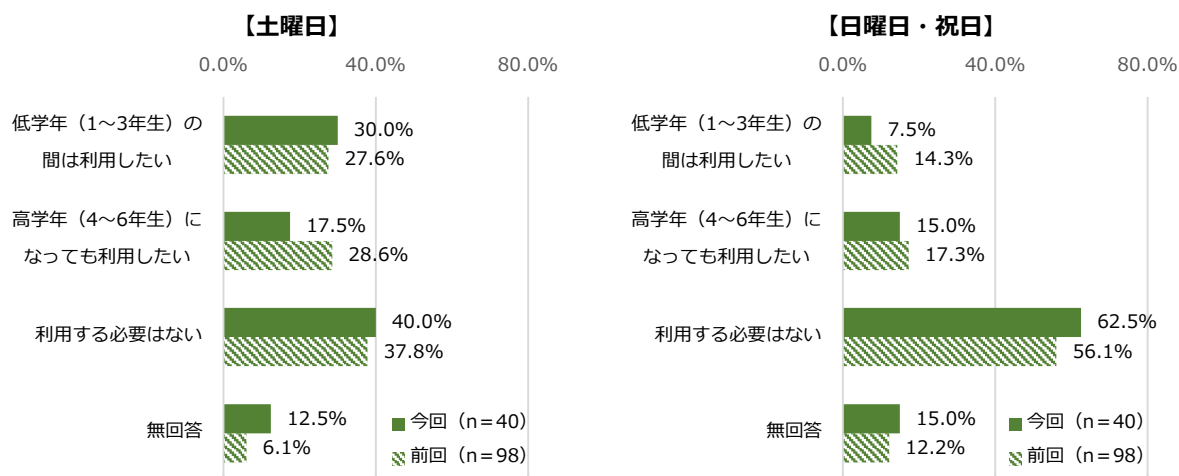
問 24. あて名のお子さんが 5 歳以上である方にうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間を小学校低学年・高学年のそれぞれでどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答）



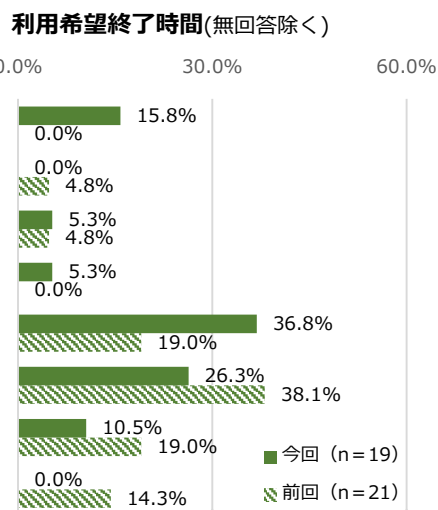
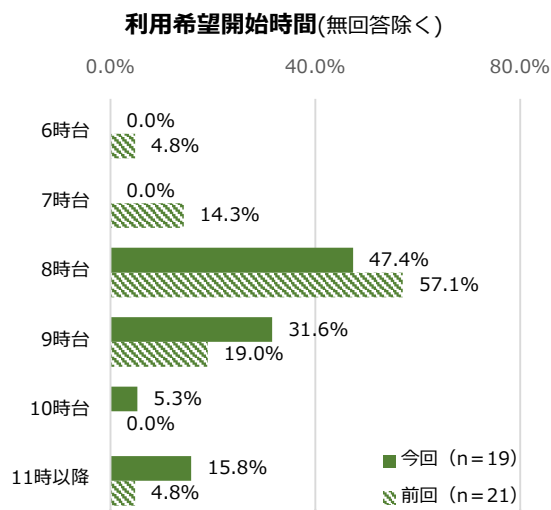
5 歳以上の子どもの小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）に過ごさせたい場所を聞いたところ、「無回答」を除き、低学年、高学年ともに「自宅」、「習い事」、「学童クラブ」の順で割合が高かった。

(問 24 で「6.学童クラブ」をお選びの方へ)

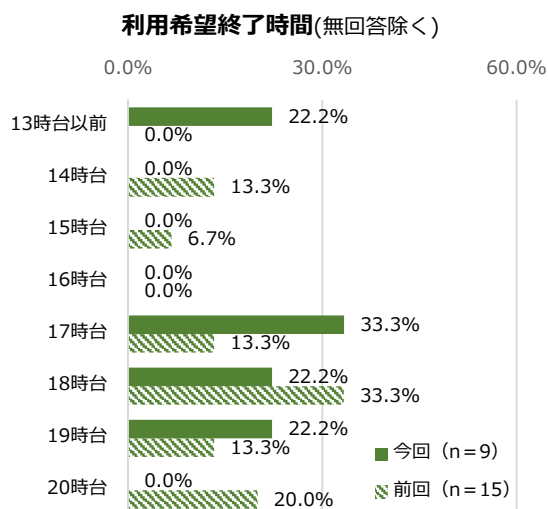
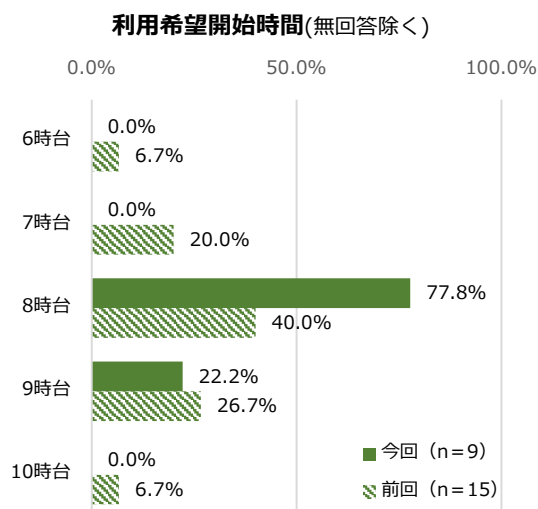
問 25. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。



【土曜日】



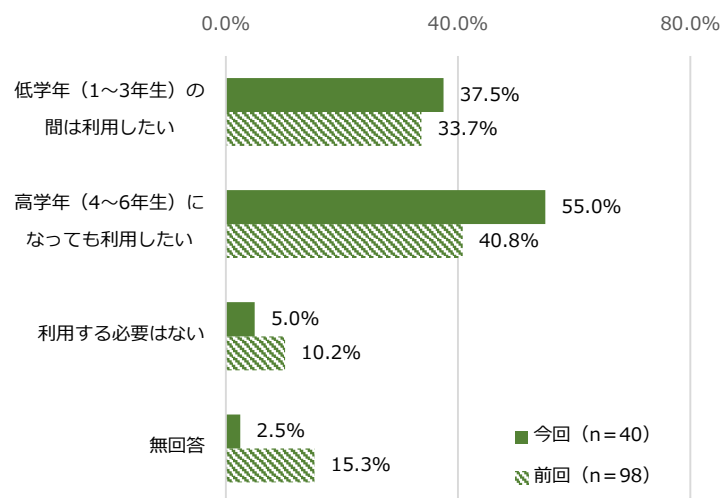
【日曜日・祝日】



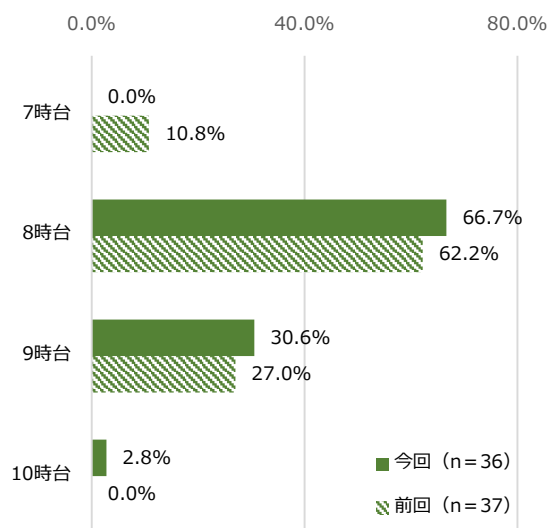
放課後に学童クラブの利用希望がある場合の土・日祝日の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日 40.0%，日曜日・祝日 62.5%となった。「低学年(1~3年生)の間は利用したい」と「高学年(4~6年生)になっても利用したい」を合わせた『利用したい』は土曜日が 47.5%，日曜日・祝日が 22.5%となった。

問 26. あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。

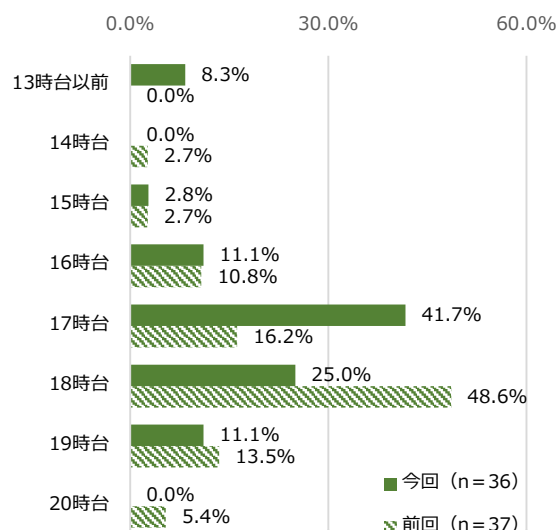
放課後に学童クラブの利用希望がある場合の夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望は、「利用する必要はない」が5.0%となった。「低学年(1～3年生)の間は利用したい」と「高学年(4～6年生)になっても利用したい」を合わせた『利用したい』は92.5%となり、前回より18.0ポイント高くなった。



利用希望開始時間(無回答除く)

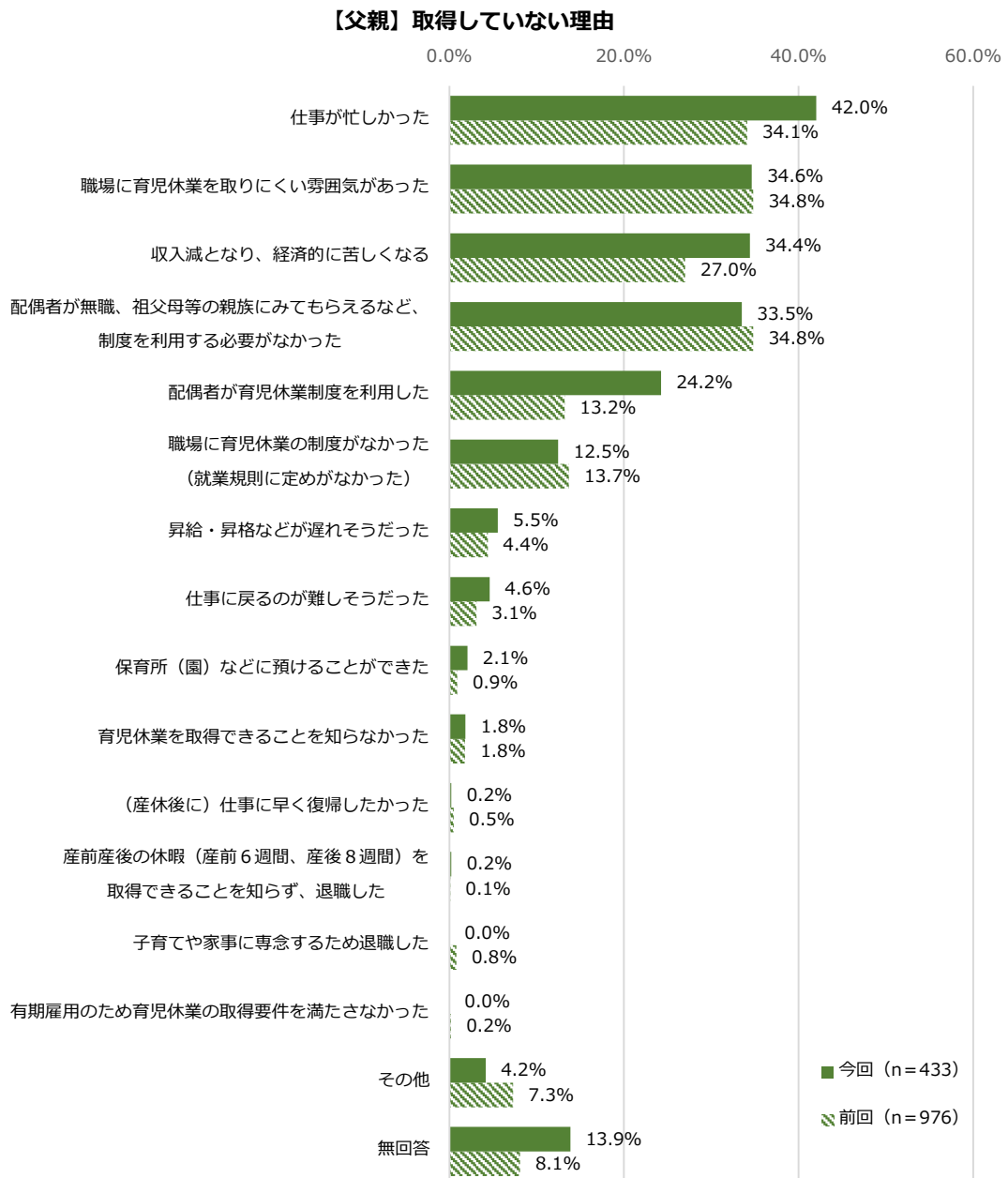
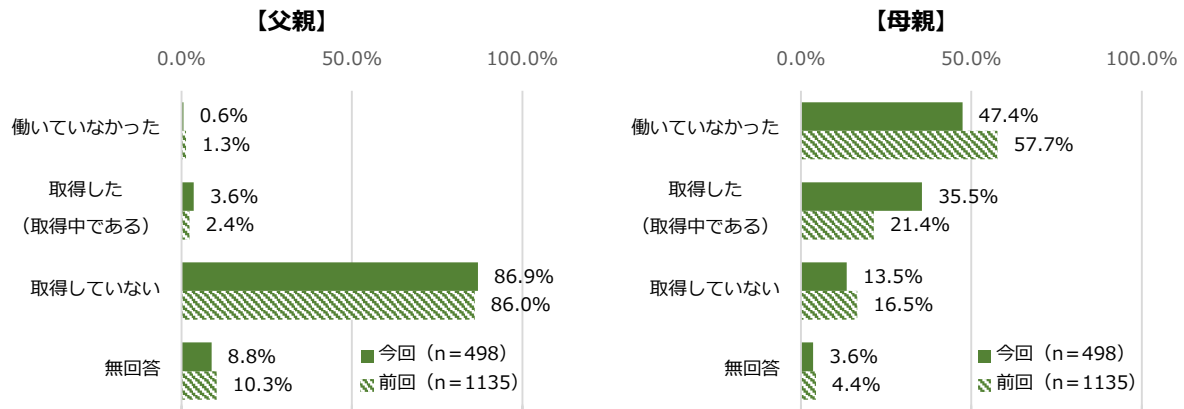


利用希望終了時間(無回答除く)

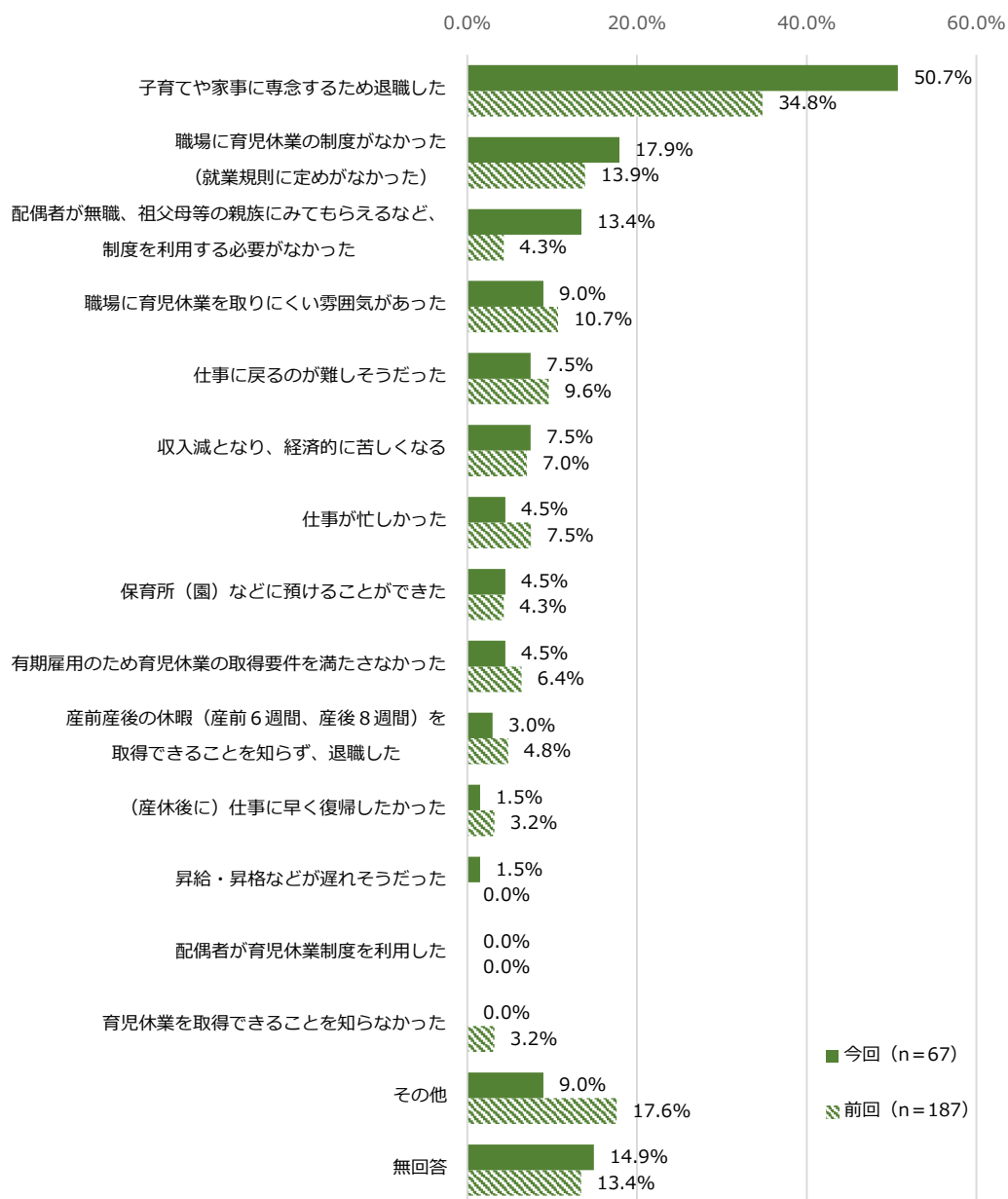


9. 育児休業制度

問 27. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
また、取得していない方は、該当する理由に○をつけてください。（複数回答）



【母親】取得していない理由

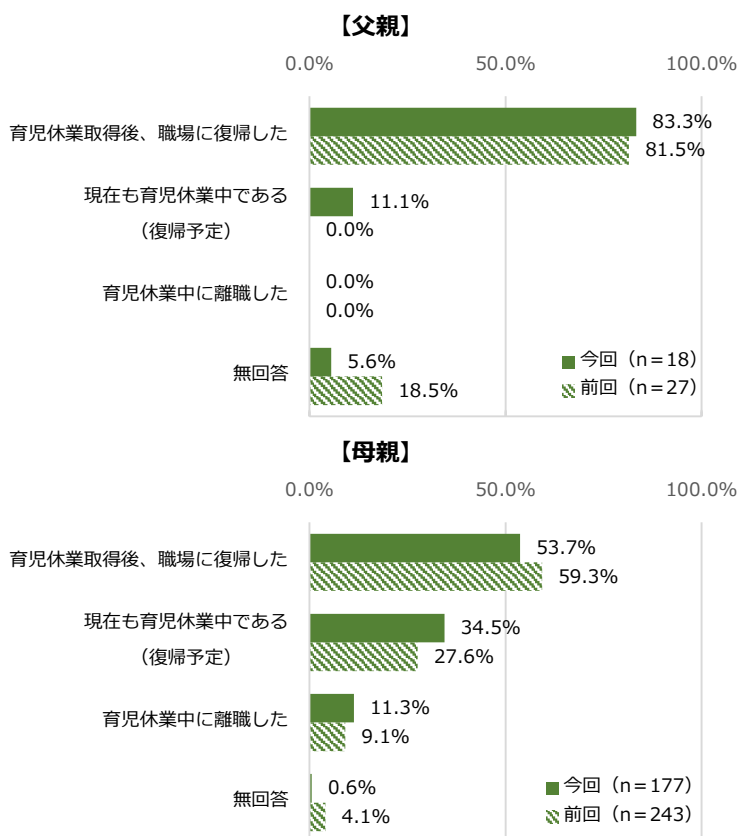


育児休業の取得状況をみると、父親は「取得した(取得中である)」が3.6%と少数であるものの、前回よりも割合が高くなっている。母親の取得状況は、「取得した(取得中である)」が35.5%で、前回よりも14.1ポイント高くなり、「働いていなかった」「取得していない」ともに低くなった。

(問 27 で「2.取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。)

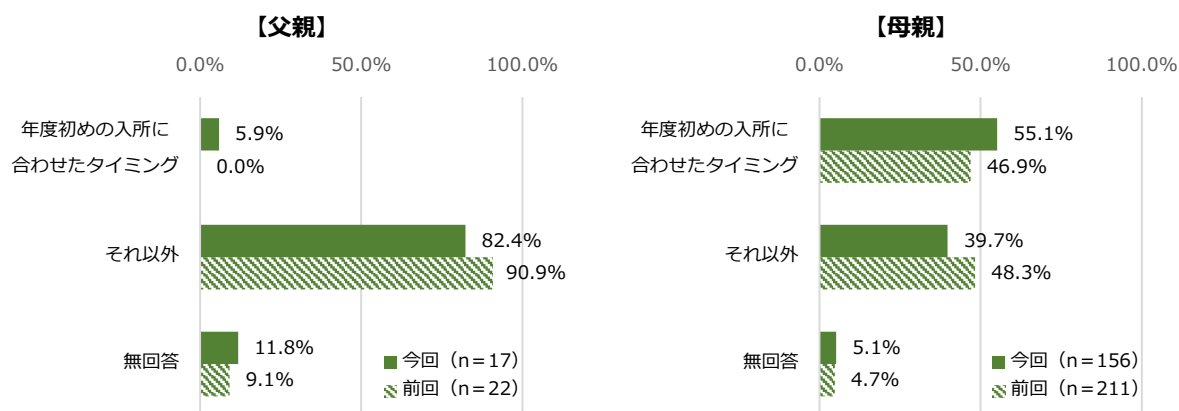
問 27-1. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

育児休業取得後の職場復帰の状況は、「職場に復帰した」は父親が 83.3%，母親が 53.7%となった。「現在も育児休業中である(復帰予定)」の割合は，父親，母親ともに高くなり，母親の「育児休業中に離職した」の割合も高くなった。



(問 27-1 で「1」(復帰した) または「2」(復帰予定) と回答した方にうかがいます。)

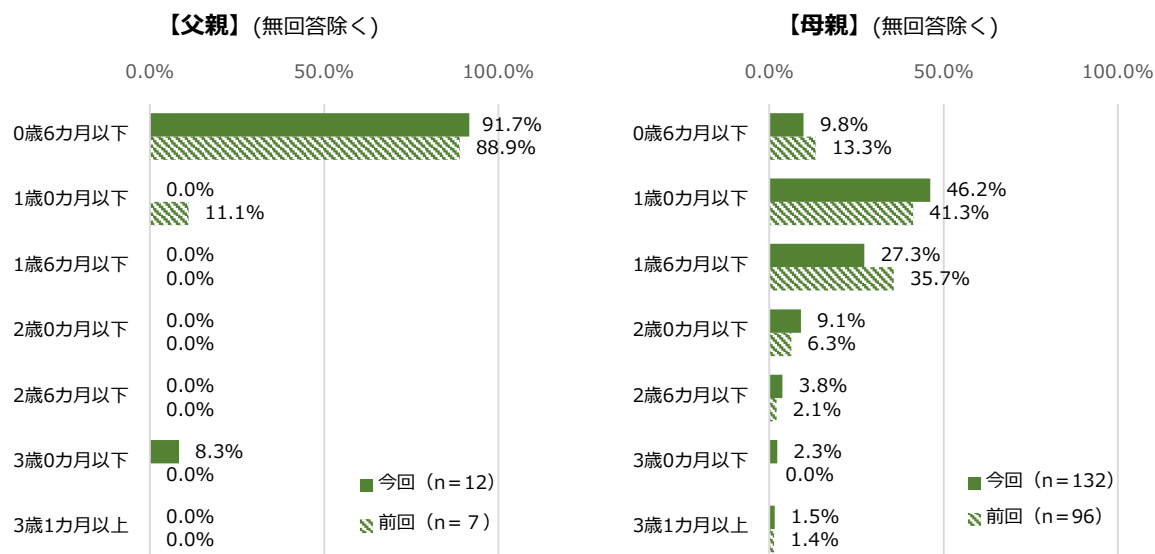
問 27-2. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。



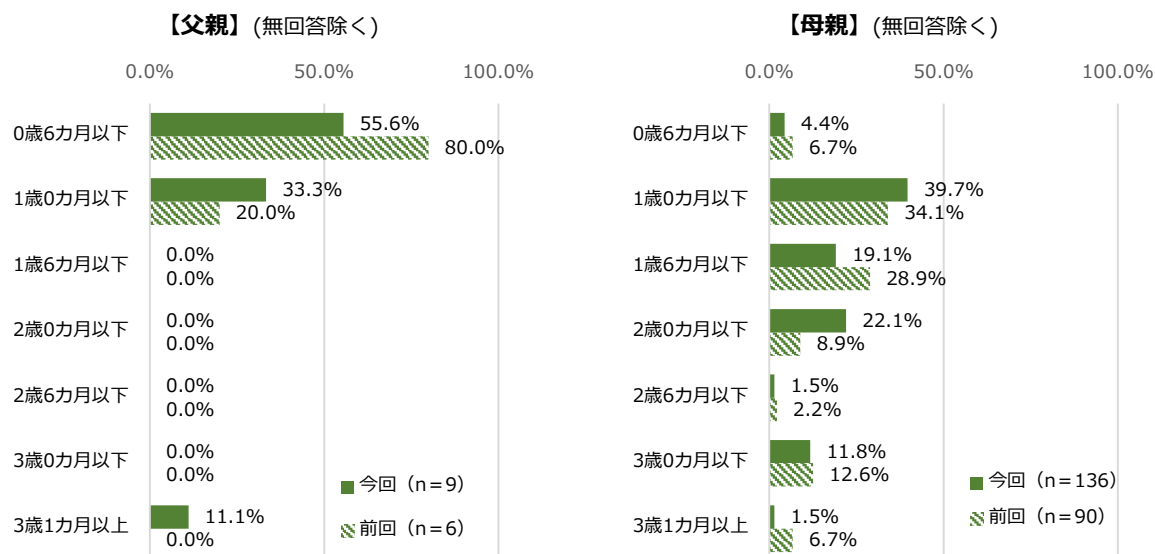
育児休業から職場に復帰した時期は，母親は「年度初めの入所にあわせたタイミング」が 55.1%と最も高かった。「それ(年度初めの入所にあわせたタイミング)以外」は，父親が 82.4%，母親が 39.7%となった。

問 27-3. 育児休業から「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の復帰時期



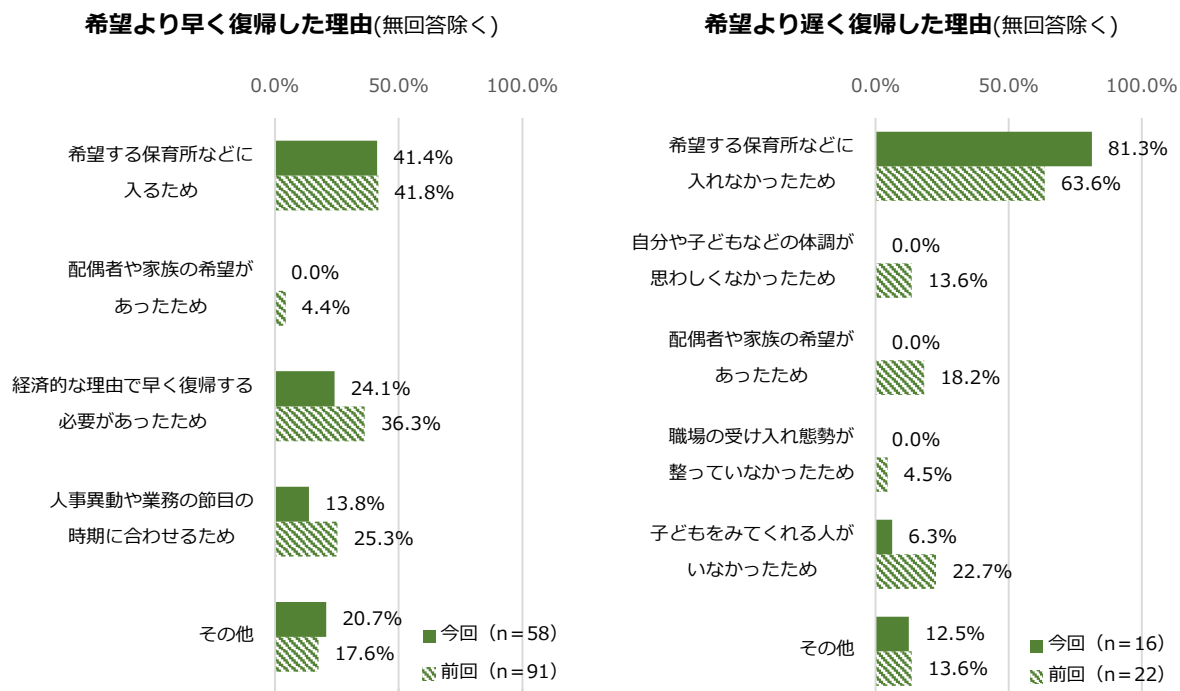
希望の復帰時期



職場に復帰したときの子どもの年齢は、父親が「0歳6カ月以下」91.7%、母親が「1歳0カ月」46.2%で最も高くなった。
希望の復帰時期は、父親が「0歳6カ月以下」55.6%、母親が「1歳0カ月」39.7%で最も高くなった。

問 27-4. 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【母親】



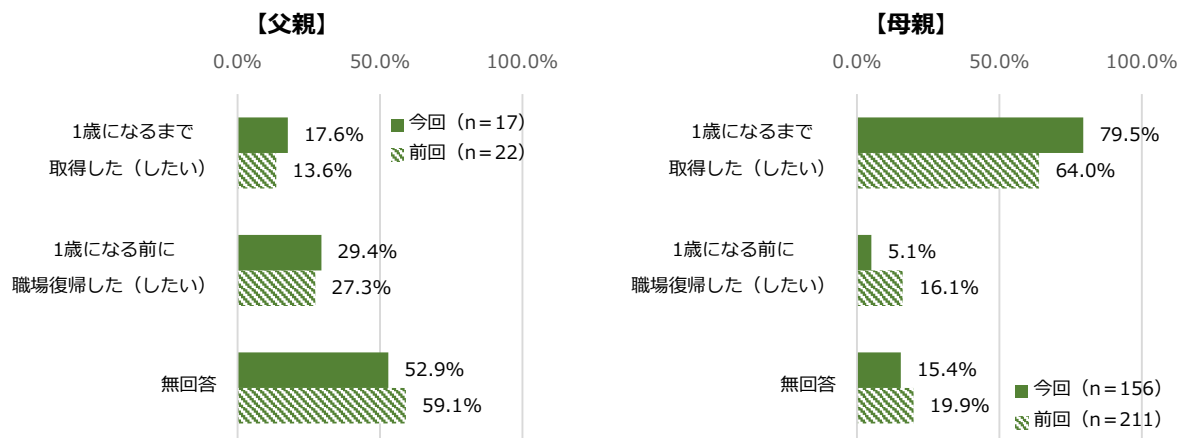
【父親】 <参考>

希望より早く復帰した理由

選択肢	今回 (n=2)
希望する保育所などに入るため	0
配偶者や家族の希望があったため	0
経済的な理由で早く復帰する必要があったため	2
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0
その他	0

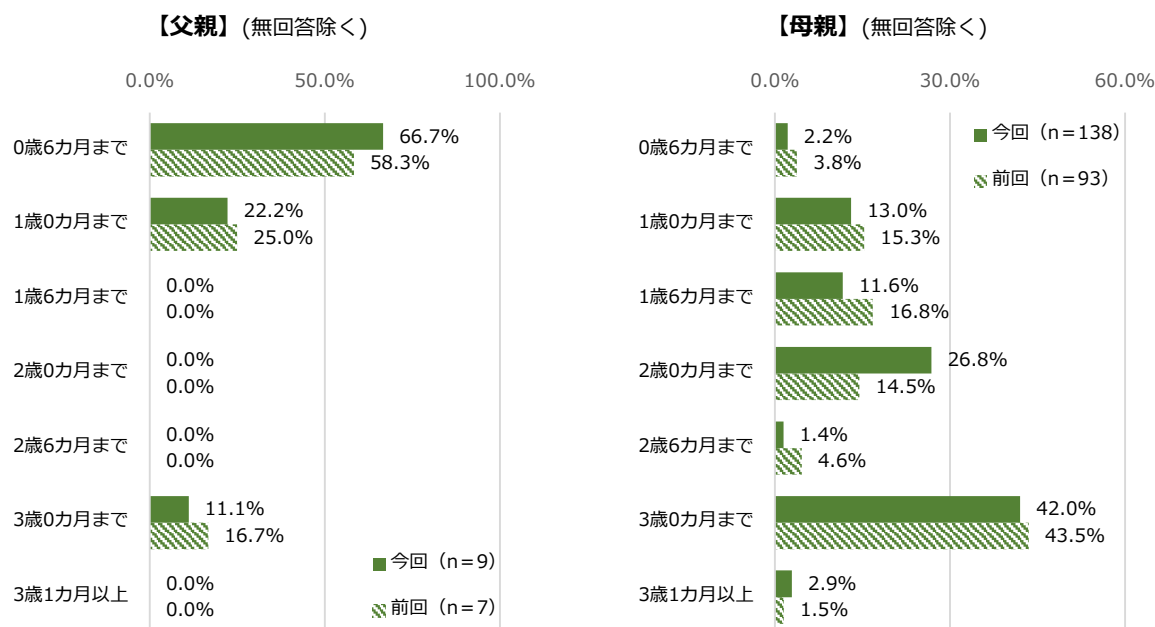
育児休業を取得し職場復帰した場合で、希望の復帰時期と異なった理由をみると、希望より早く復帰した母親では「希望する保育所などに入るため」41.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」24.1%などとなった。希望より遅く復帰した母親の理由は「希望する保育所などに入れなかったため」の81.3%が最も高かった。なお、希望より遅く復帰した父親はいなかった。

問 27-5. もし、あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所等があれば、
1歳になるまで育児休業を取得しましたか。



育児休業後に職場に復帰した又は育児休業中と回答した人に子どもが1歳になるまでの育児休業の取得意向を聞いたところ、「1歳になるまで取得した(したい)」母親が79.5%、父親が17.6%、「1歳になる前に職場復帰した(したい)」は母親が5.1%、父親が29.4%となった。

問 27-6. もし、お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、あて名のお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

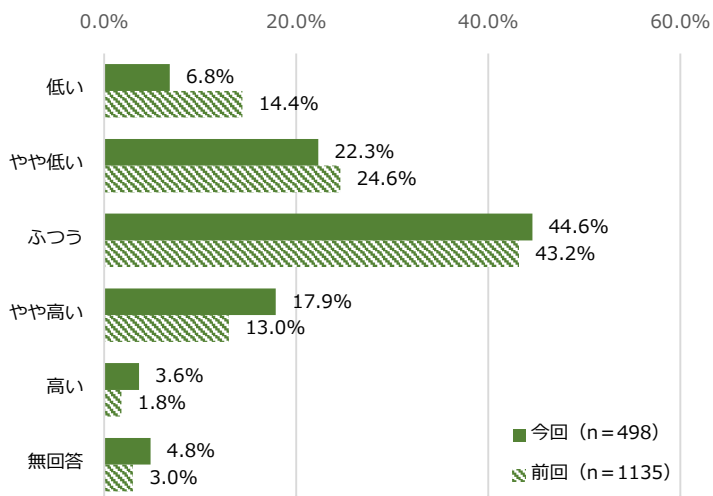


育児休業後に職場に復帰した又は育児休業中と回答した人に3歳まで休暇を取得できる場合の意向を聞くと、母親は「3歳0カ月まで」が最も高く、4割強を占めた。

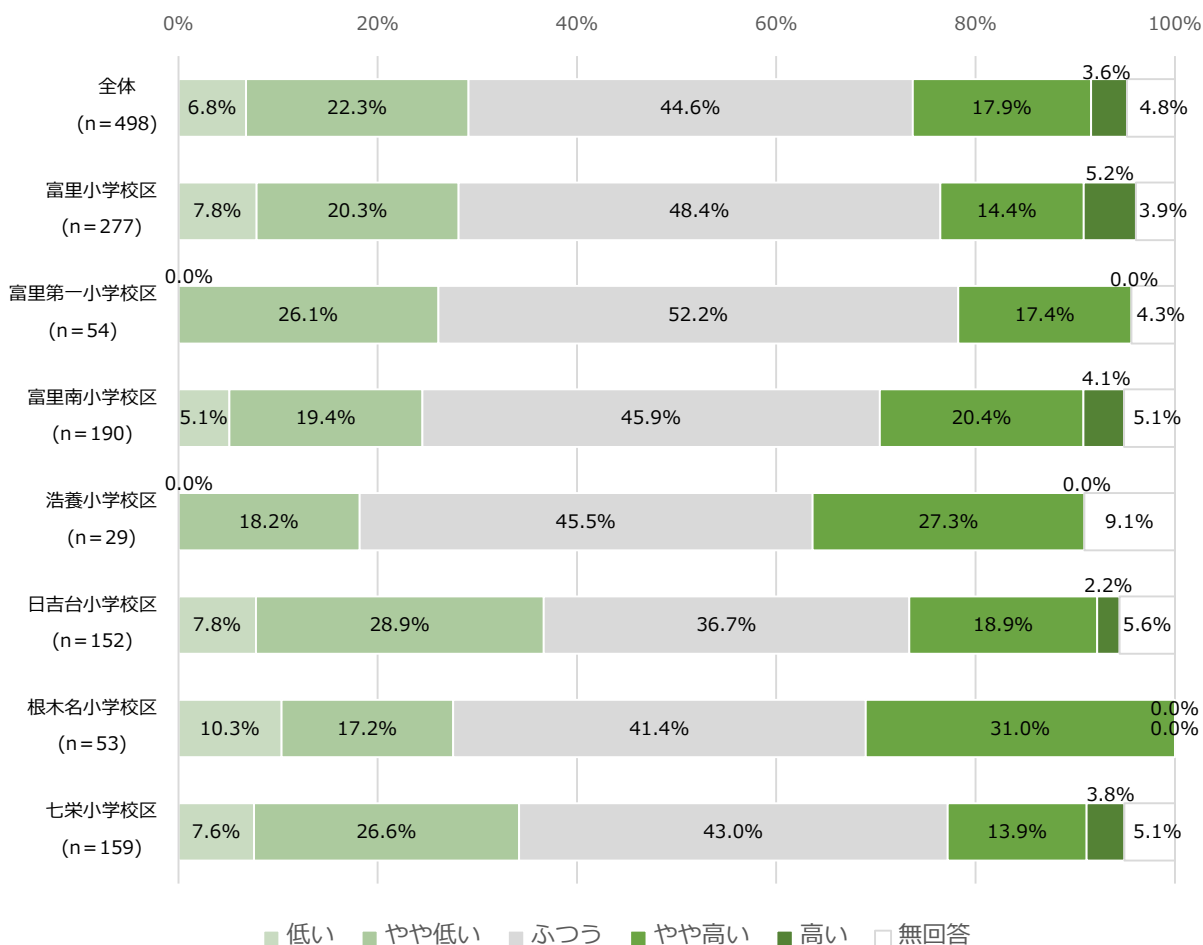
10. 行政サービス

問 28. お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度はいかがですか。

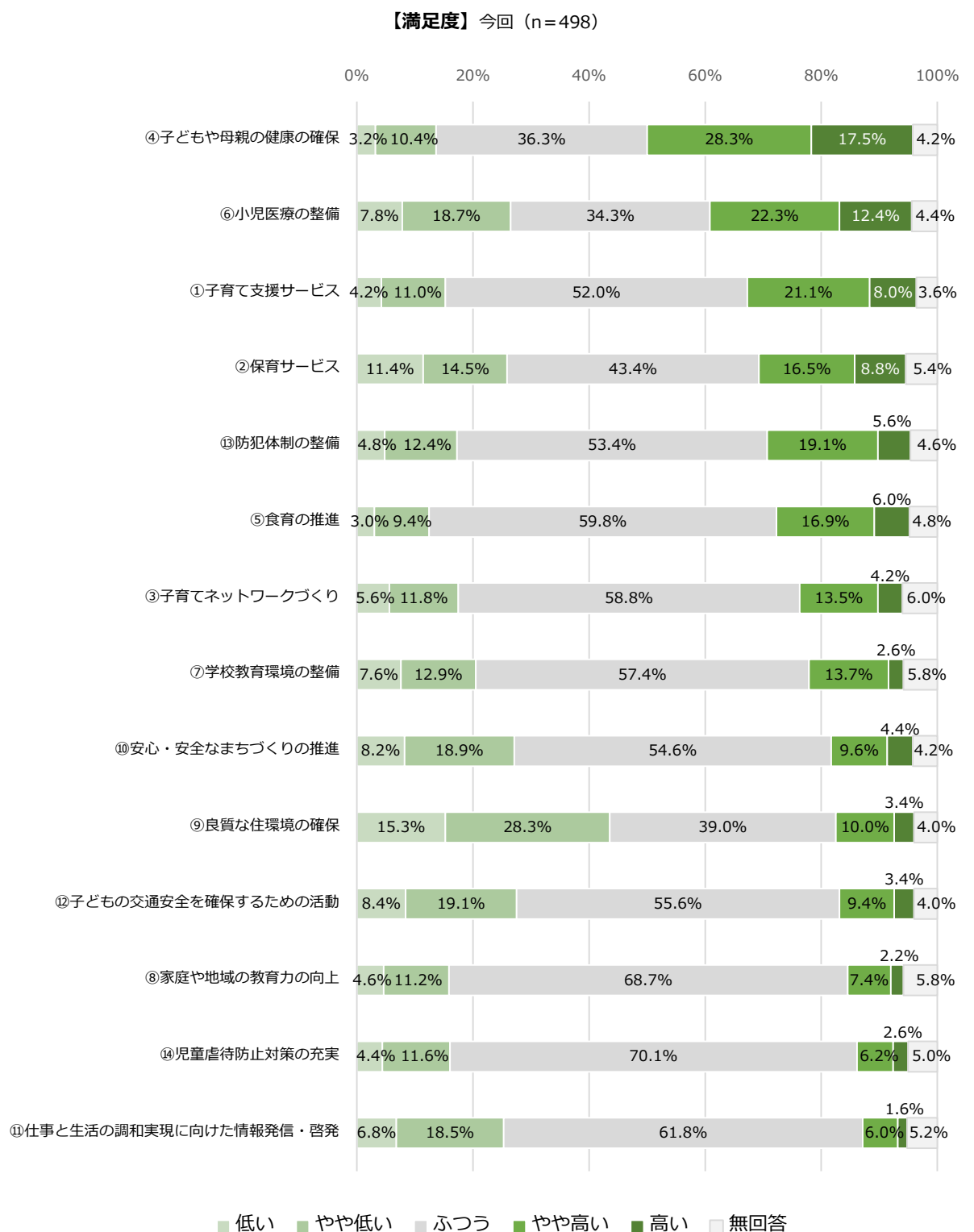
住まいの地域における子育て環境や支援の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』が29.1%で、「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』が21.5%となった。前回との比較では『低い』が9.9ポイント低くなり、『高い』が6.7ポイント高くなっており、満足度が向上している。また、地域別で満足度をみると、満足度が『低い』は日吉台小学校区と七栄小学校区で割合が高くなっており、『高い』は根木名小学校区、浩養小学校区、富里南小学校区で高くなっている。



【地域別】



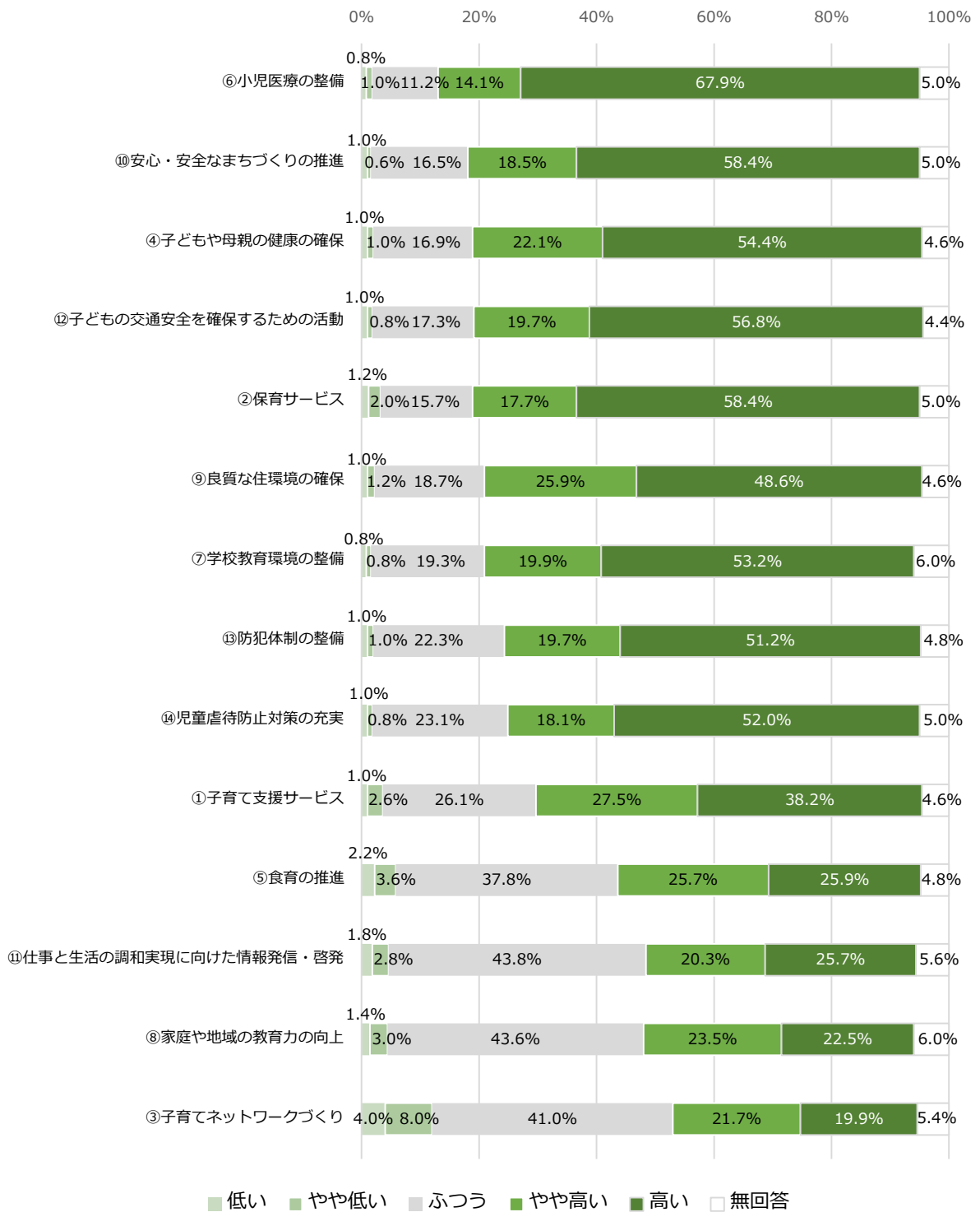
問 29. 以下の項目について、日頃感じている満足度と重要度を 5 点満点で評価してください。



(「高い」と「やや高い」を合わせた順)

各施策に対する満足度をみると、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「子どもや母親の健康の確保」が45.8%と最も高く、次いで「小児医療の整備」34.7%、「子育て支援サービス」29.1%などとなった。

【重要度】今回 (n=498)



(「高い」と「やや高い」を合わせた順)

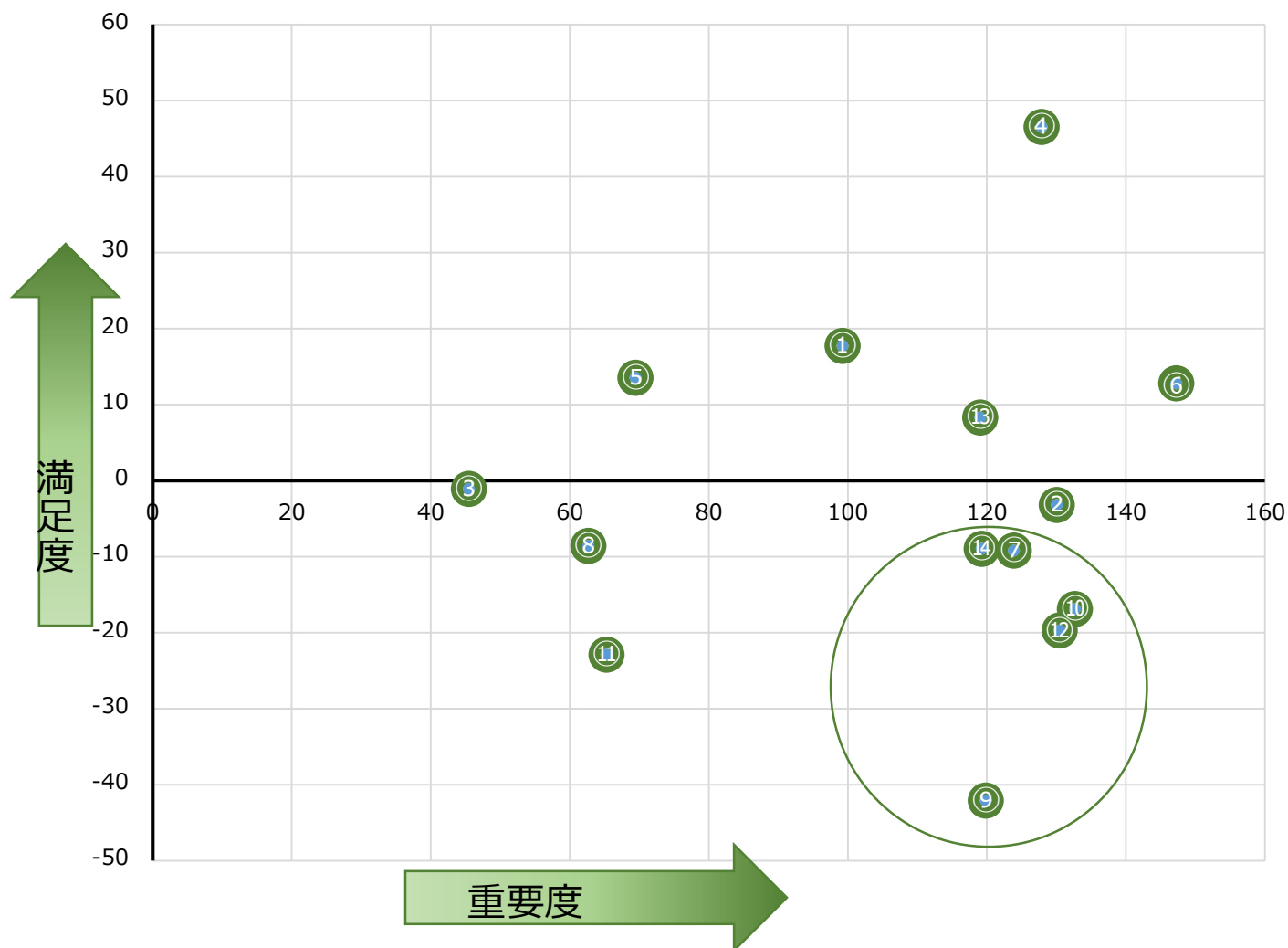
各施策に対する重要度をみると、重要度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「小児医療の整備」が82.0%と最も高く、次いで「安心・安全なまちづくりの推進」76.9%、「子どもや母親の健康の確保」76.5%などとなった。

満足度と重要度の相関

満足度と重要度について、各項目を指数化し、満足度と重要度の評価分布をみた。

※指数化

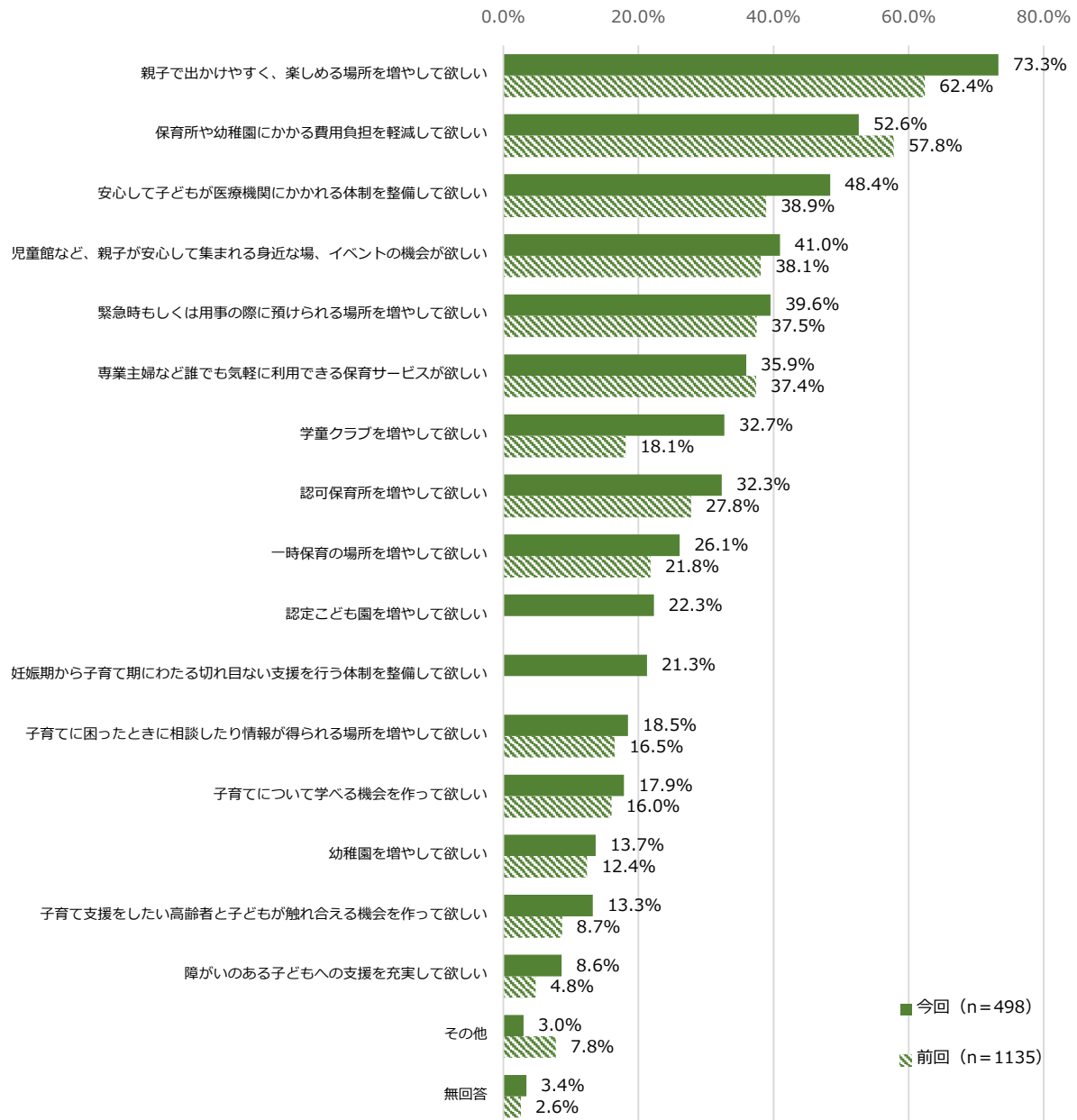
「高い割合」×2 + 「やや高い割合」×1 + 「やや低い割合」×-1 + 「低い割合」×-2



- ①子育て支援サービス ②保育サービス ③子育てネットワークづくり ④子どもや母親の健康の確保 ⑤食育の推進
 ⑥小児医療の整備 ⑦学校教育環境の整備 ⑧家庭や地域の教育力の向上 ⑨良質な住環境の確保
 ⑩安心・安全なまちづくりの推進 ⑪仕事と生活の調和実現に向けた情報発信・啓発
 ⑫子どもの交通安全を確保するための活動 ⑬防犯体制の整備 ⑭児童虐待防止対策の充実

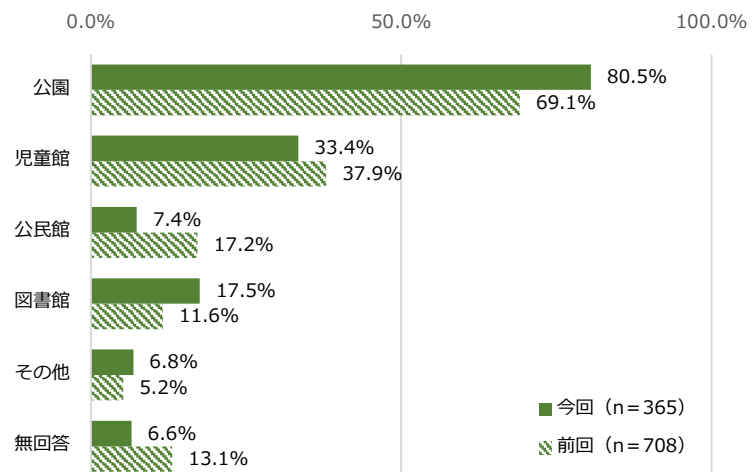
各施策に対する満足度と重要度の相関関係をみると、満足度が低く重要度が高いものは、「⑨良質な住環境の確保」、「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」などとなった。

問 30. 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。（複数回答）



充実を図って欲しい子育て支援は、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が73.3%と最も高く、前回よりも10.9ポイント高くなった。次いで、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」52.6%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい」48.4%などとなった。また、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」場合の具体的な場所は「公園」が最も高く、80.5%と8割を超えた。

親子で出かけやすく、楽しめる場所【具体的に】

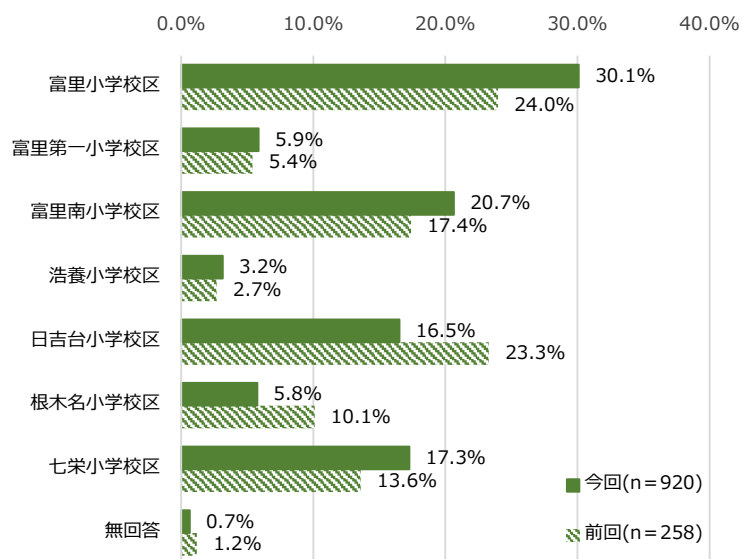


小学生 ニーズ調査結果

1. 回答者のプロフィール

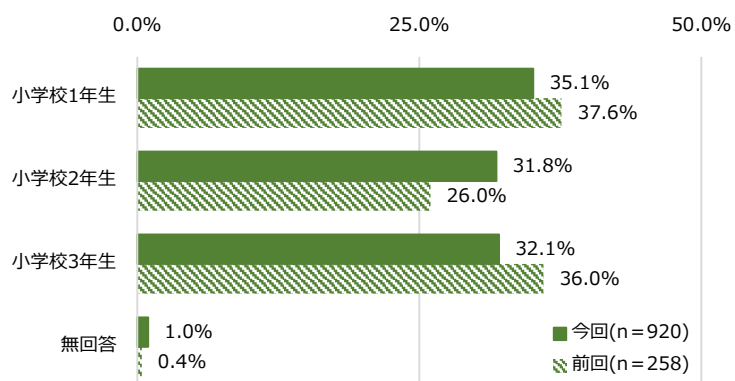
問 1. お住まいはどちらになりますか。

居住地区は、「富里小学校区」が30.1%と最も高く、次いで「富里南小学校区」が20.7%、「七栄小学校区」が17.3%などとなった。前回との比較では、前回よりも「日吉台小学校区」と「根木名小学校区」の割合が低くなり、その他の小学校区は高くなっている。

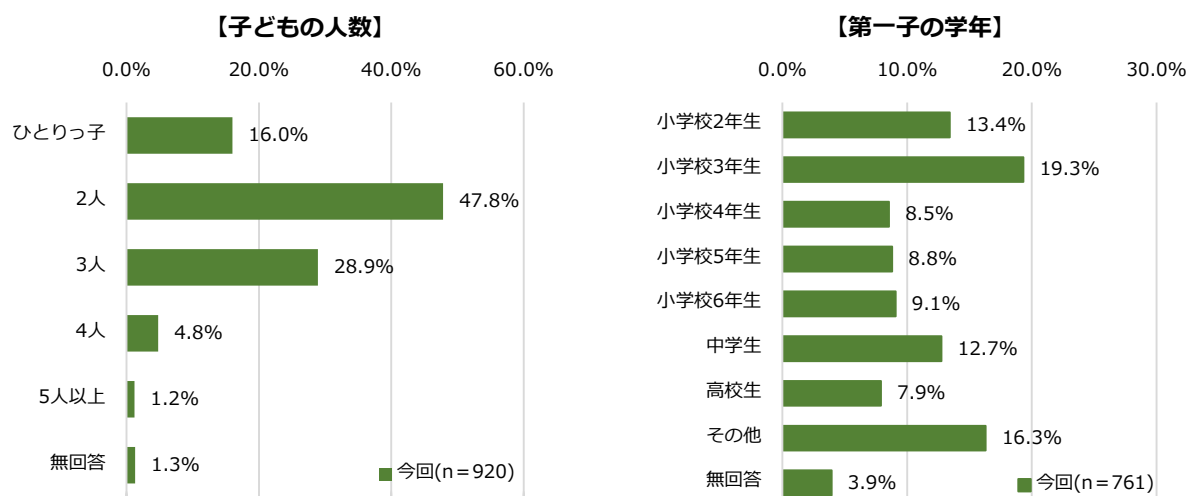


問 2. お子さんの学年は次のうちどちらに該当しますか。

子どもの学年は、「小学校1年生」が35.1%と最も高く、次いで「小学校3年生」が32.1%、「小学校2年生」が31.8%となった。前回との比較では、前回よりも「小学校2年生」の割合が高くなり、「小学校1年生」と「小学校3年生」では低くなった。



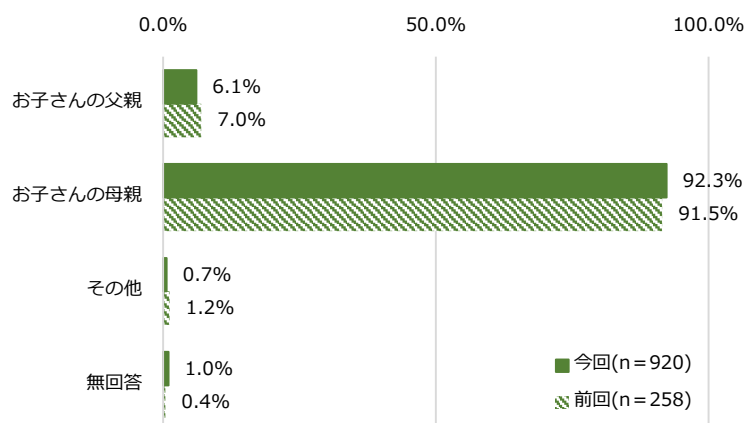
問 3. 調査票を配布したお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、第一子の方の学年はどちらになりますか。



子どもの人数は、「2人」が最も高く、次いで「3人」が28.9%などとなった。また、子どもが2人以上いる場合の第一子の学年は、その他を除き、小学校3年生が19.3%と最も高く、次いで「小学校2年生」、「中学生」となった。

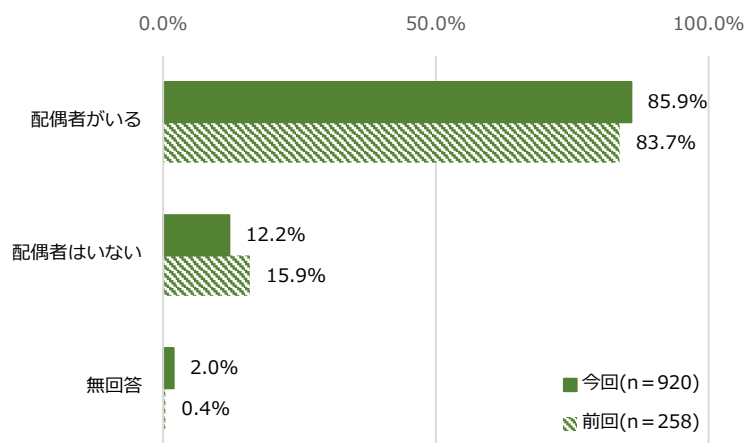
問 4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

調査の回答者は、「お子さんの母親」が92.3%と9割強を占めた。また、前回調査との比較では大きな変化は見られなかった。



問 5. この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

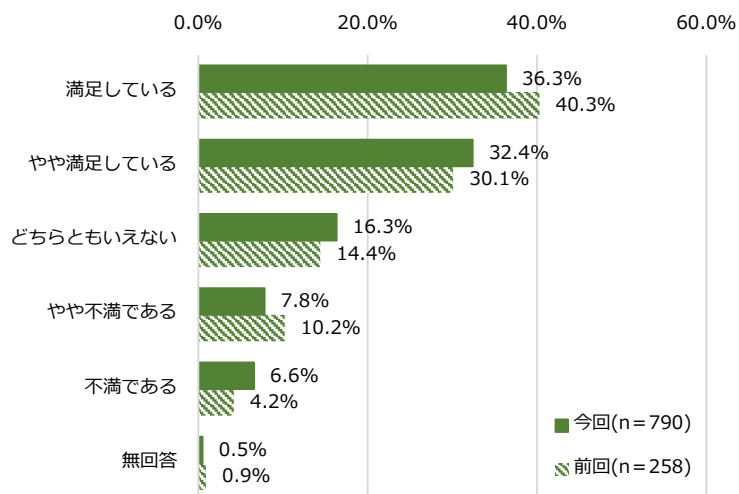
配偶関係は、「配偶者がいる」が85.9%と8割強を占めた。また、前回調査との比較では「配偶者がいる」が2.2ポイント増加し、「配偶者はいない」が3.7ポイントの減少となった。



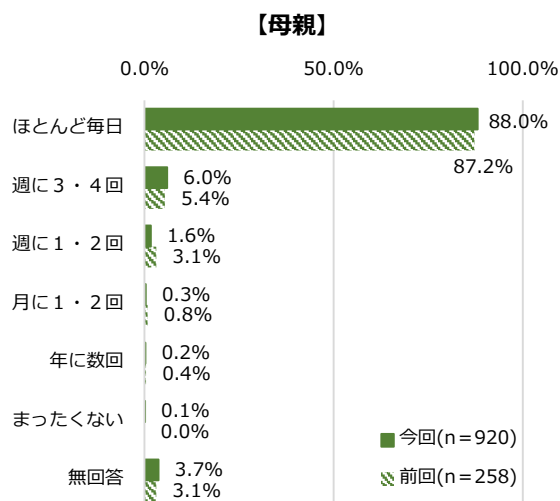
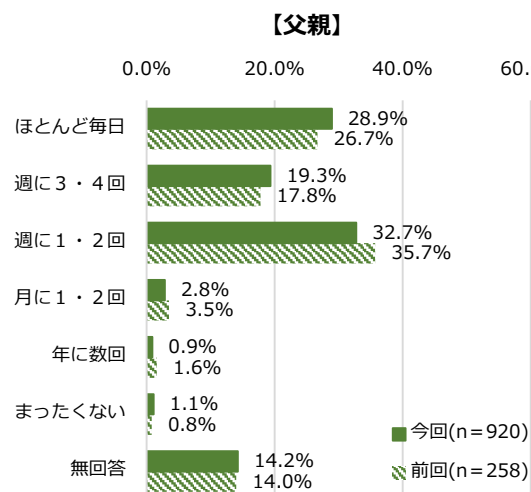
(問 5 で「1」をお選びの方へ)

問 5-1. 配偶者の育児参加に満足していますか。

配偶者の育児参加の状況を見ると、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は68.7%となり、前回調査との比較で、1.7ポイント低くなった。



問 6. お子さんと一緒に夕食を食べる頻度はどのくらいですか。

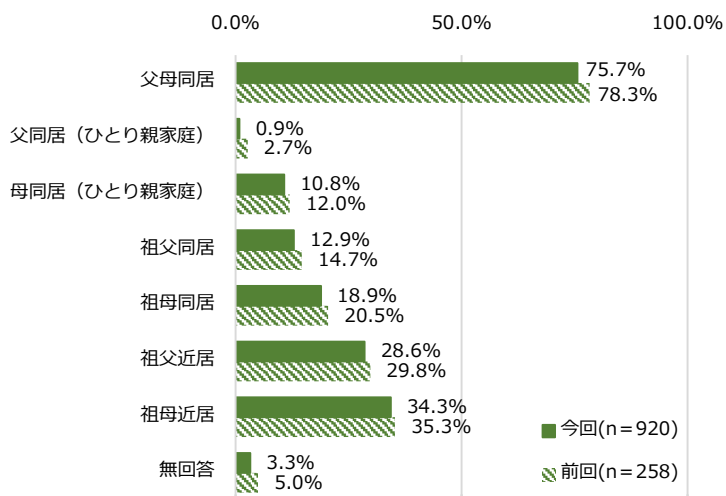


子どもと一緒に夕食を食べる頻度をみると、父親は「週に1・2回」の32.7%、母親は「ほとんど毎日」の88.0%が最も高くなった。前回との比較では、父親の「ほとんど毎日」、「週に3・4回」の割合が増え、「週に1・2回」の割合が減っている。

問 7. お子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。

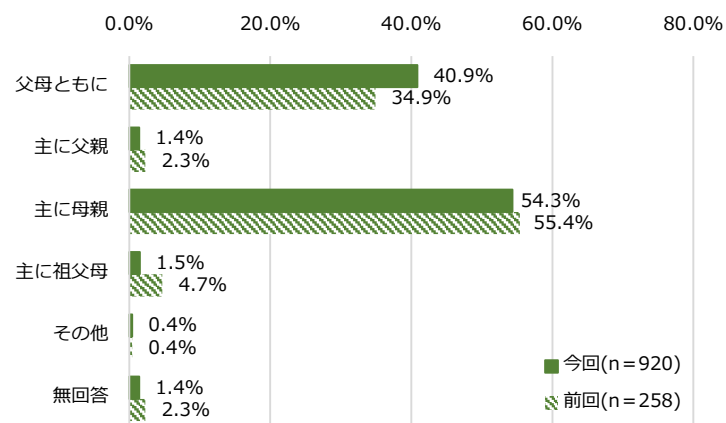
続柄はお子さんからみた関係です。（複数回答）

家族の同居の状況は、「父母同居」が 75.7%と最も高いが、前回調査と比較すると 2.6 ポイント低くなった。



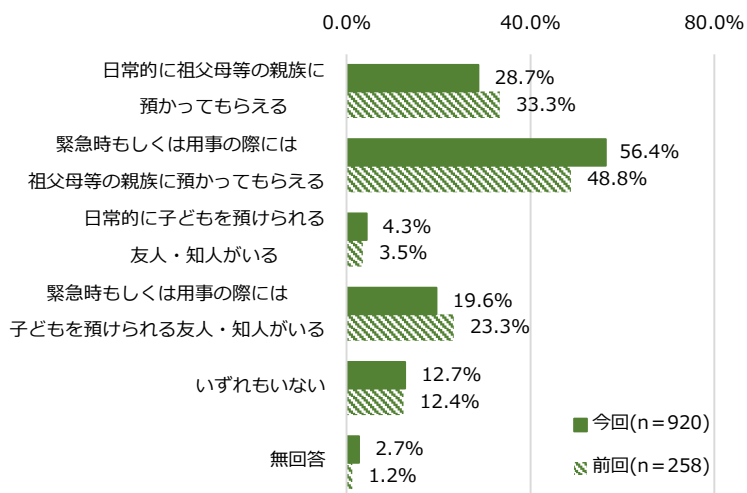
問 8. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている人はどなたですか。お子さんから見た関係で教えてください。

子育てを主に行っている方は、「主に母親」が 54.3%と最も高く、次いで「父母ともに」が 40.9%となった。前回との比較では「父母ともに」が 6 ポイント高くなり、「主に祖父母」が 3.2 ポイント低くなった。



問 9. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。（複数回答）

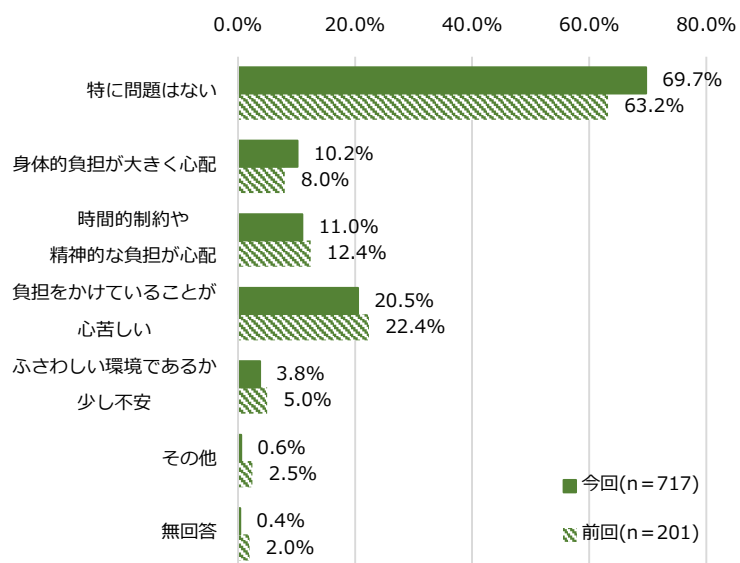
日頃、子どもを預かってもらえる人がいるかどうかの問いに、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 56.4%となり、前回より 7.6 ポイント高くなった一方で、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」の割合が減っている。



(問9で「1」または「2」をお選びの方へ)

問9-1. 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

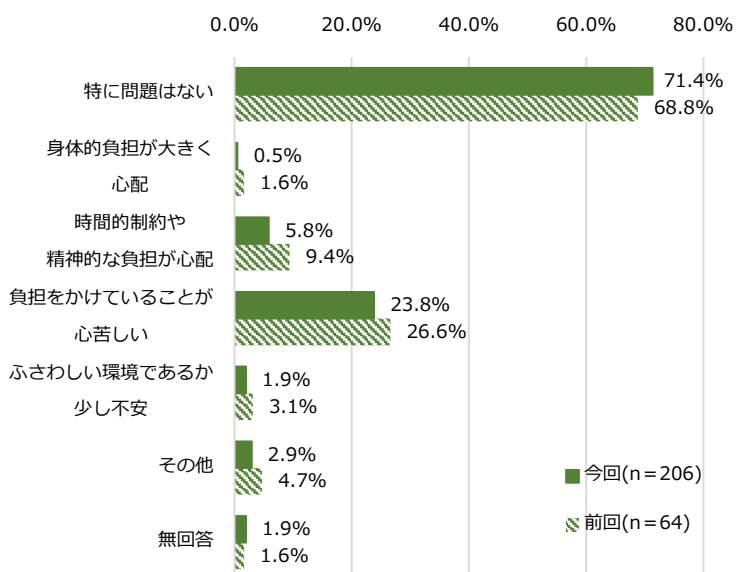
「祖父母等に預かってもらえる」と回答した人に預かってもらっている状況を聞いたところ、「特に問題はない」が69.7%と7割弱を占め、前回よりも6.5ポイント高くなった。



(問9で「3」または「4」をお選びの方へ)

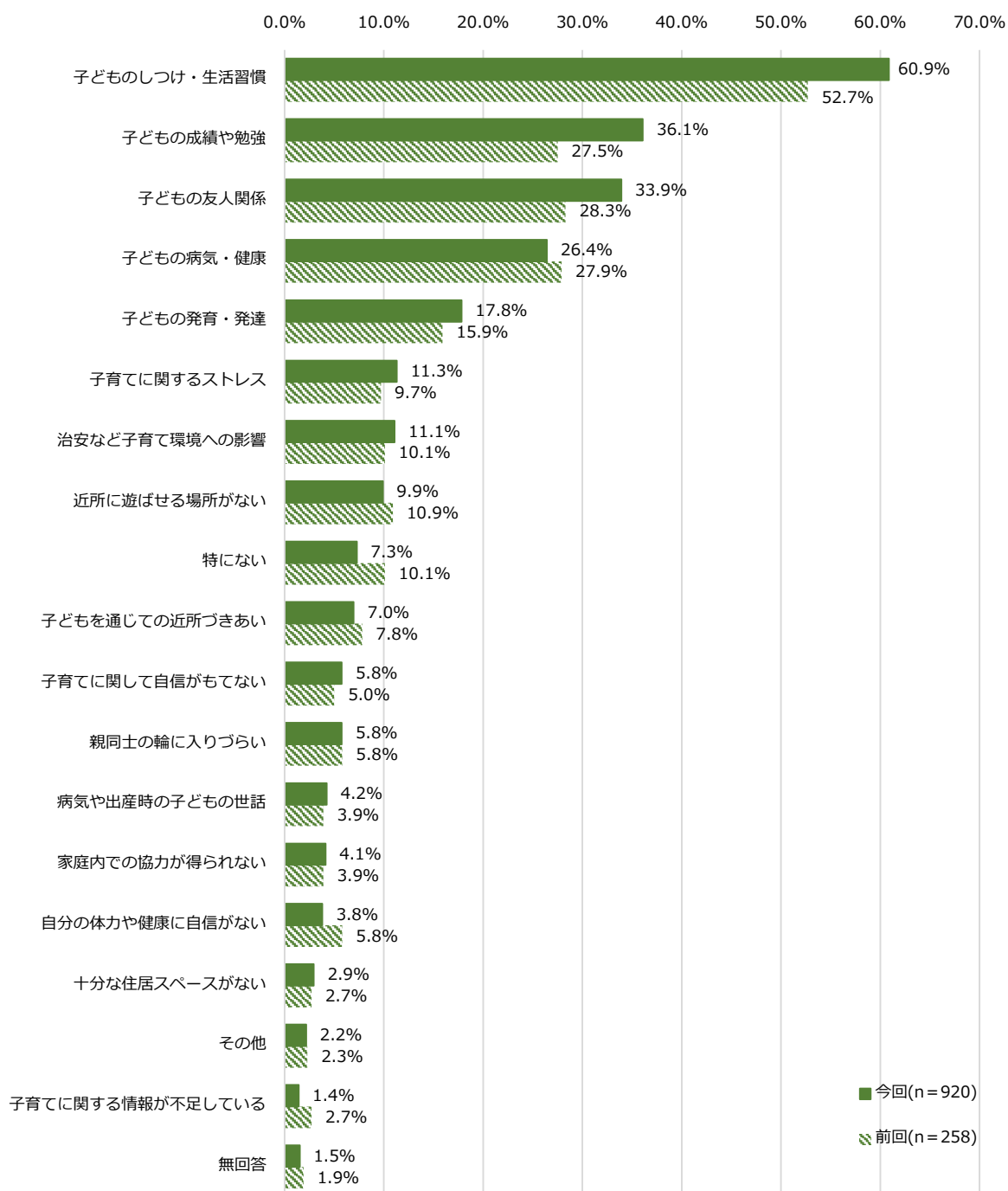
問9-2. 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。(複数回答)

「友人・知人に預かってもらえる」と回答した人に預かってもらっている状況を聞いたところ、「特に問題はない」が71.4%と7割強を占め、「身体的負担が大きく心配」、「時間的制約や精神的な負担が心配」、「負担をかけていることが心苦しい」、「ふさわしい環境であるか少し不安」は前回よりも割合が減少した。



問 10. お子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。

(複数回答)

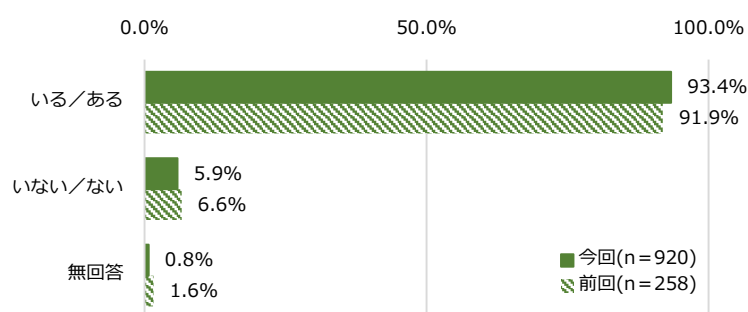


子育てをするなかで悩んだり不安に感じたりすることは、前回と同様に「子どものしつけ・生活習慣」が60.9%と最も高くなった。次いで、「子どもの成績や勉強」が36.1%、「子どもの友人関係」が33.9%などとなった。

問 11. お子さんの子育て（教育）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。

子育て（教育）をするうえで、「気軽に相談できる人がいる/ある」が93.4%となった。前回との比較では大きな変化は見られなかった。

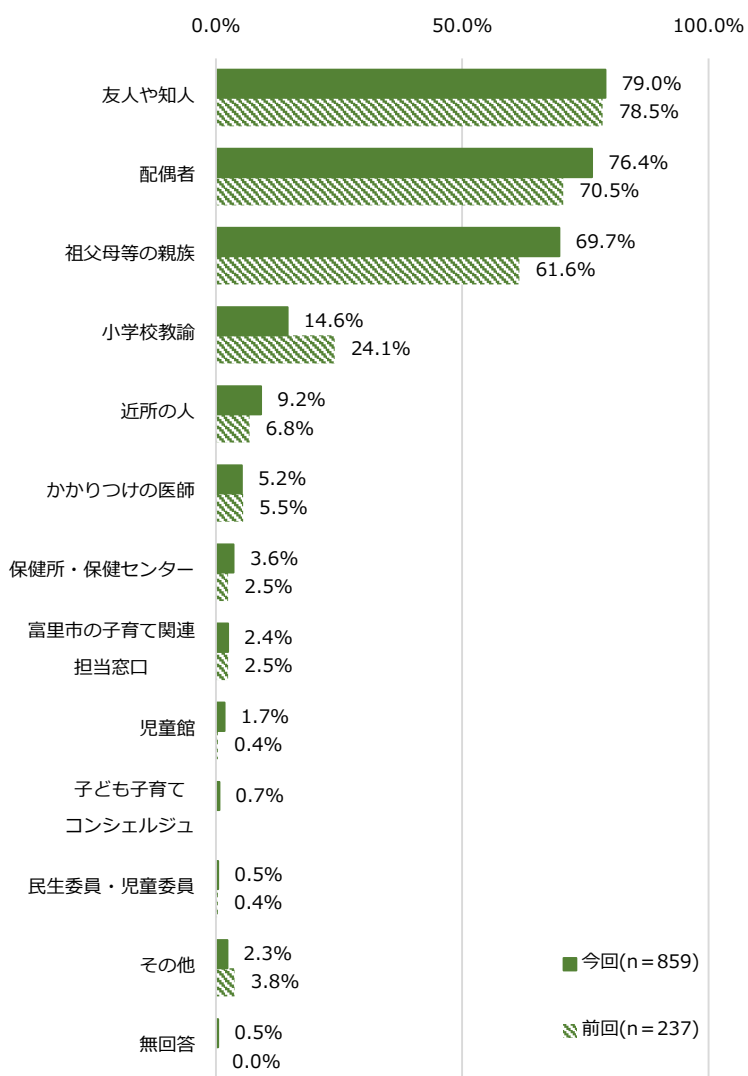


（問 11 で「1.いる/ある」をお選びの方へ）

問 11-1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

（複数回答）

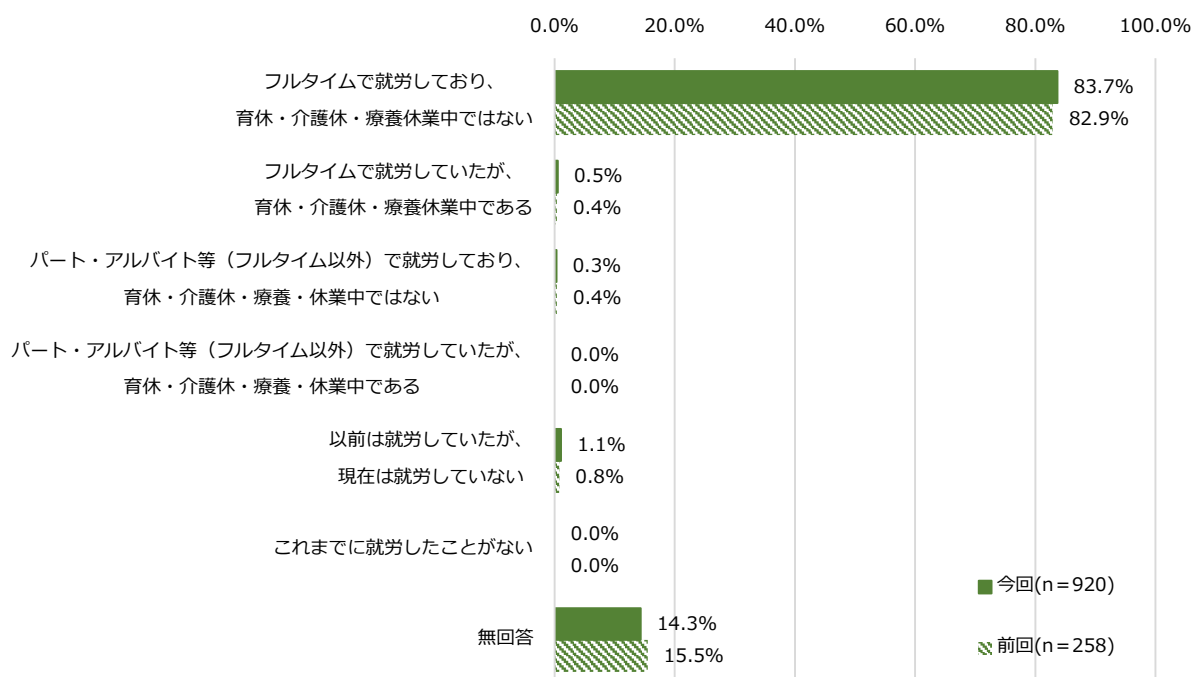
「気軽に相談できる人がいる/ある」と回答した場合の相談先は、前回と同様に「友人や知人」が79.0%と最も高く、次いで「配偶者」、「祖父母等の親族」が続いた。



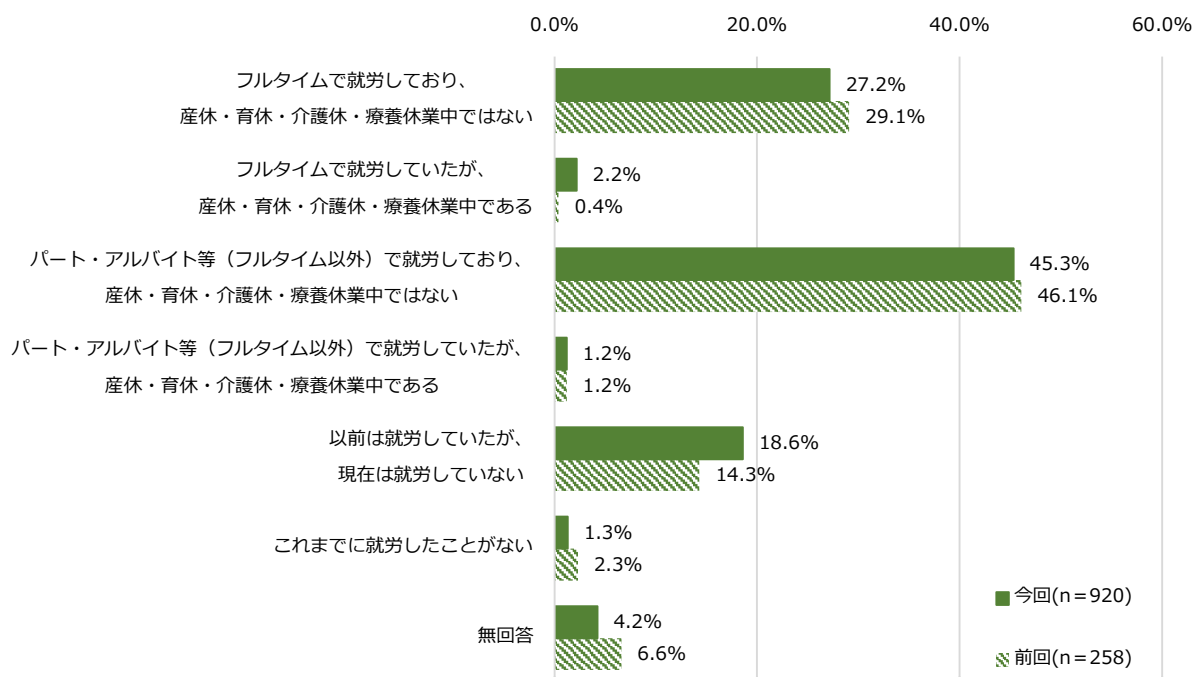
2. 保護者の就労状況

問 12. お子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。

【父親】



【母親】



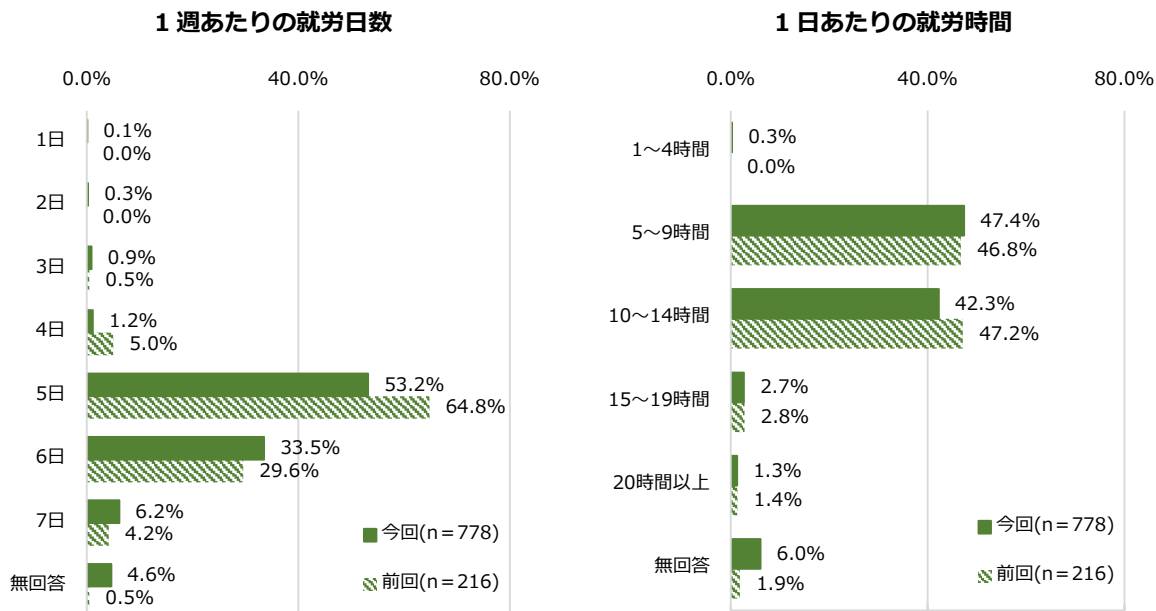
父親の就労状況は、「就労している(フルタイムで休業中ではない)」が前回同様 83.7%と 9 割弱を占め、母親は「就労している(パート・アルバイト等)」が 45.3%と最も高く、次いで「就労している(フルタイム)」の 27.2%となった。

(問 12 で「1～4」(就労している)をお選びの方へ)

問 12-1. 「1 週あたりの就労日数」と「1 日あたりの就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

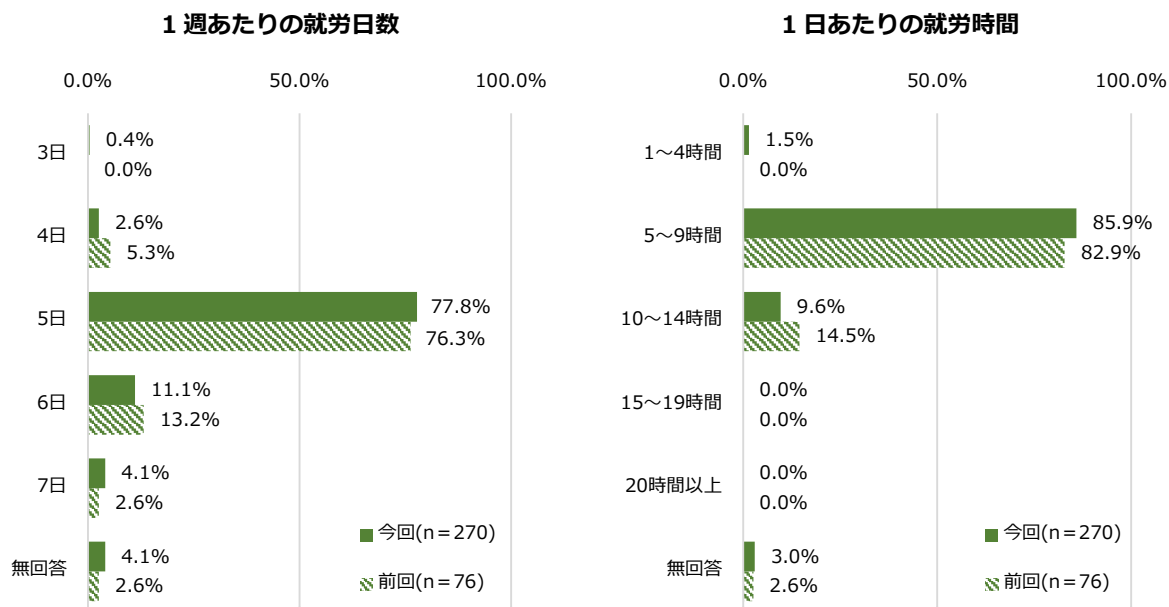
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【父親】フルタイム, パート・アルバイト等



フルタイム, パート等で働く父親の 1 週あたりの就労日数は, 「5 日」が 53.2%と最も高く, 1 日あたりの就労時間は, 「5～9 時間」と「10～14 時間」で 9 割弱を占めた。

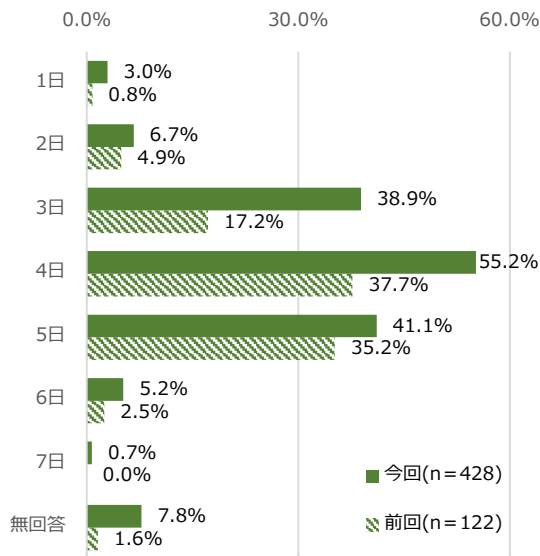
【母親】フルタイム



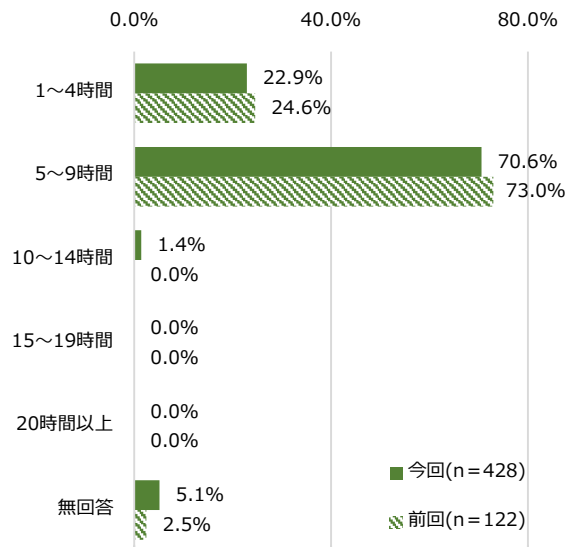
フルタイムで働く母親の 1 週あたりの就労日数は, 「5 日」が 77.8%と最も高く, 1 日あたりの就労時間は, 「5～9 時間」が 85.9%と最も高くなった。

【母親】パート・アルバイト等

1 週あたりの就労日数



1 日あたりの就労時間



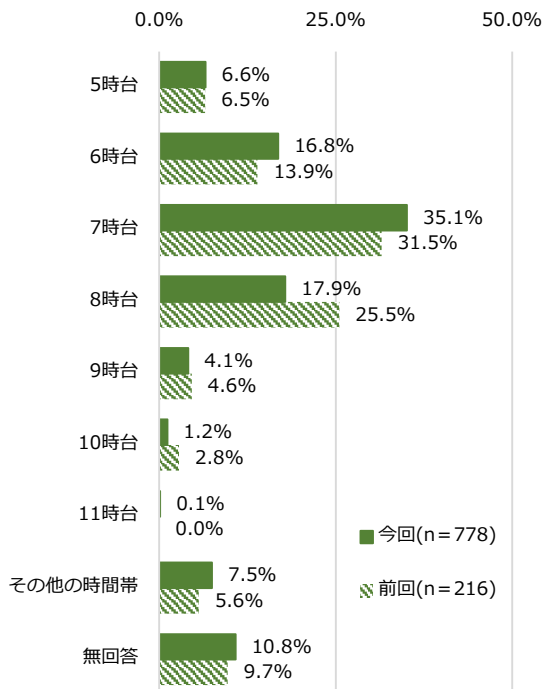
パート・アルバイト等で働く母親の1 週あたりの就労日数は「4 日」が55.2%と最も高く、1 日あたりの就労時間は、「5～9 時間」が70.6%と最も高くなった。

(問 12 で「1～4」(就労している)をお選びの方へ)

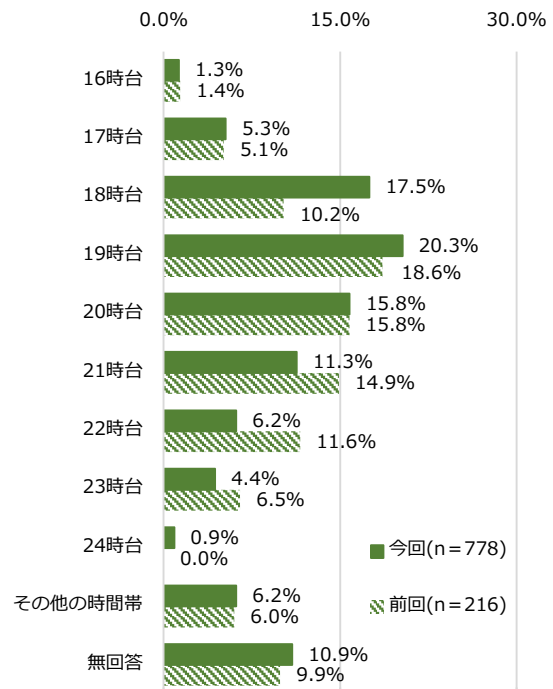
問 12-2.「家を出る時刻」と「帰宅する時刻」をお答えください。一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

【父親】フルタイム、パート・アルバイト等

家を出る時刻

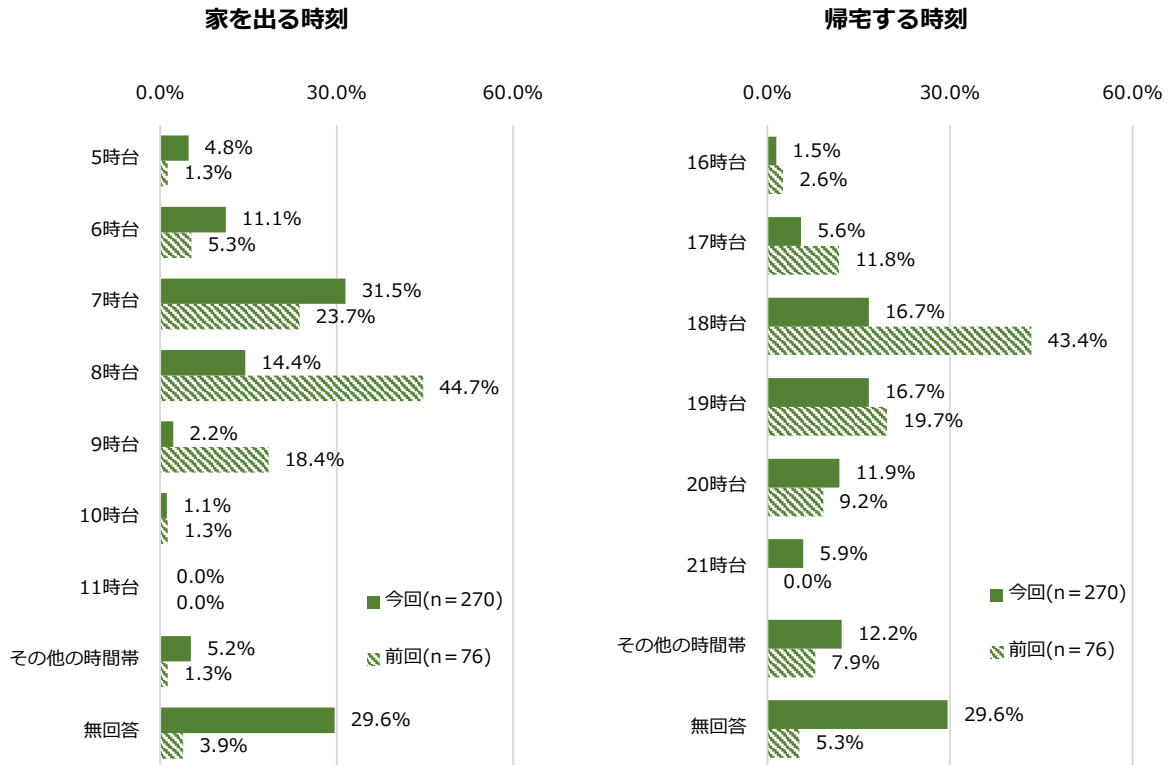


帰宅する時刻



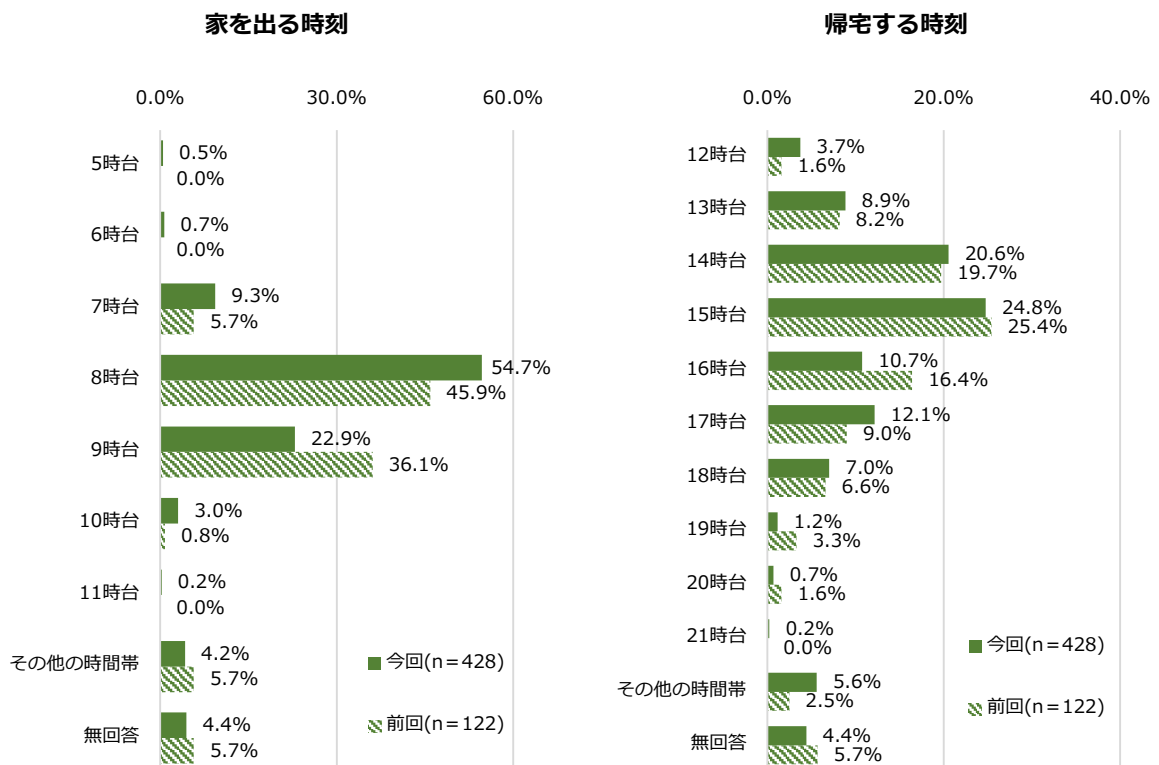
フルタイム、パート等で働く父親の家を出る時刻は、「7 時台」が35.1%と最も高く、帰宅する時刻は、「19 時台」が20.3%と最も高くなった。

【母親】フルタイム



フルタイムで働く母親の家を出る時刻は、「7時台」が31.5%と最も高く、帰宅する時刻は、無回答を除き、「18時台」と「19時台」が16.7%の同率で最も高くなった。

【母親】パート・アルバイト等

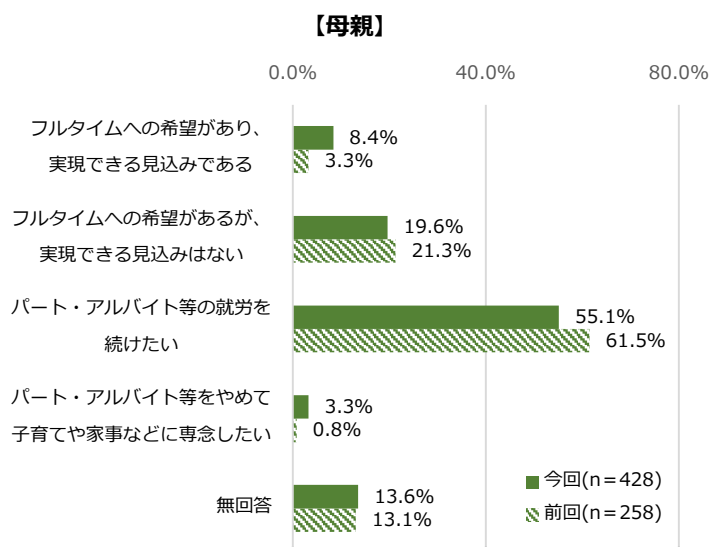


パート・アルバイト等で働く母親の家を出る時刻は「8時台」が54.7%と最も高く、次いで「9時台」が22.9%となり、帰宅する時刻は、「15時台」が24.8%と最も高くなった。

(問 12 で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)をお選びの方へ)

問 12-3. フルタイムへの転換希望はありますか。

パート・アルバイト等で働く母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 55.1%と最も高くなった。前回との比較では、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 6.4 ポイント、「フルタイムへの希望があるが実現できる見込みはない」が 1.7 ポイント低くなった一方で、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである」が 5.1 ポイント、「子育てや家事などに専念したい」が 2.5 ポイント高くなった。



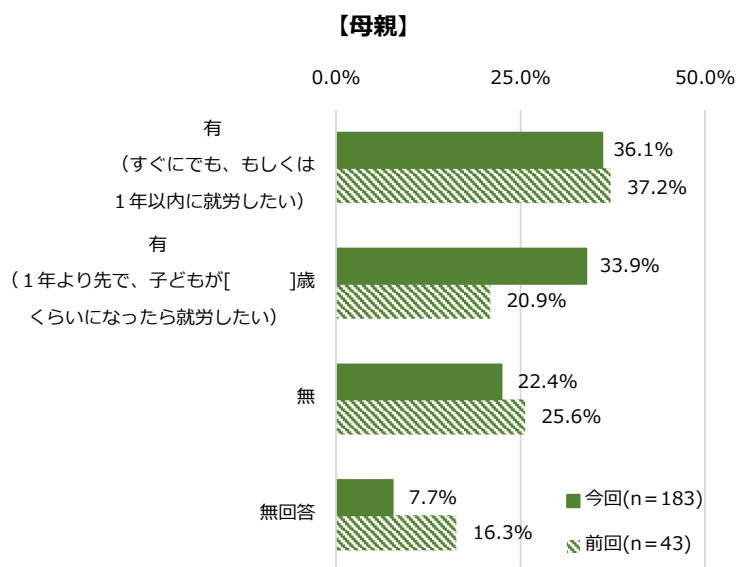
【父親】 <参考>

選択肢	今回 (n=3)	前回 (n=1)
フルタイムへの希望があり、実現できる見込みである	0	0
フルタイムへの希望があるが、実現できる見込みはない	1	0
パート・アルバイト等の就労を続けたい	2	0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	0	0
無回答	0	1

(問 12 で「5」または「6」(就労していない・就労したことがない) をお選びの方へ)

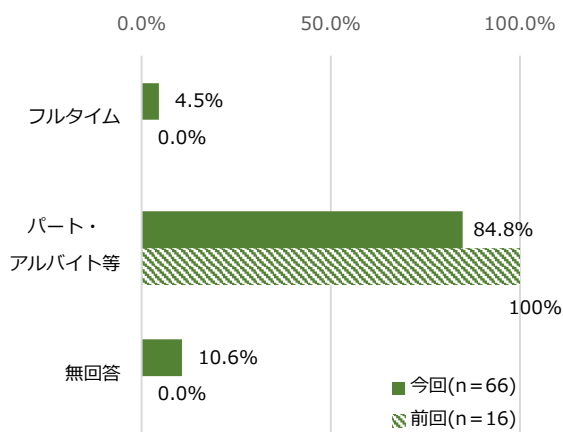
問 12-4. 今後の就労についての希望をお聞かせください。

現在就労していない母親の今後の就労希望は、「有(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」が36.1%と最も高く、次いで「有(1年より先で、子どもが大きくなってから)」が33.9%となり、就労希望のある母親は70.0%となった。前回との比較では、就労希望のある母親が11.9ポイント増え、就労希望無は3.2ポイント減っている。

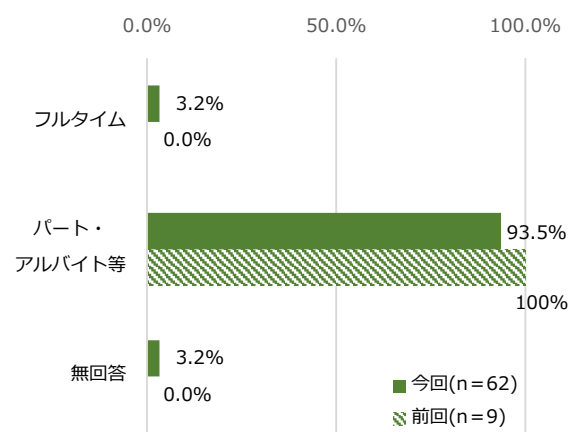


【母親】 希望する就労形態

(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)



(1年より先で、子どもが〇歳になったら就労したい)



【父親】 <参考>

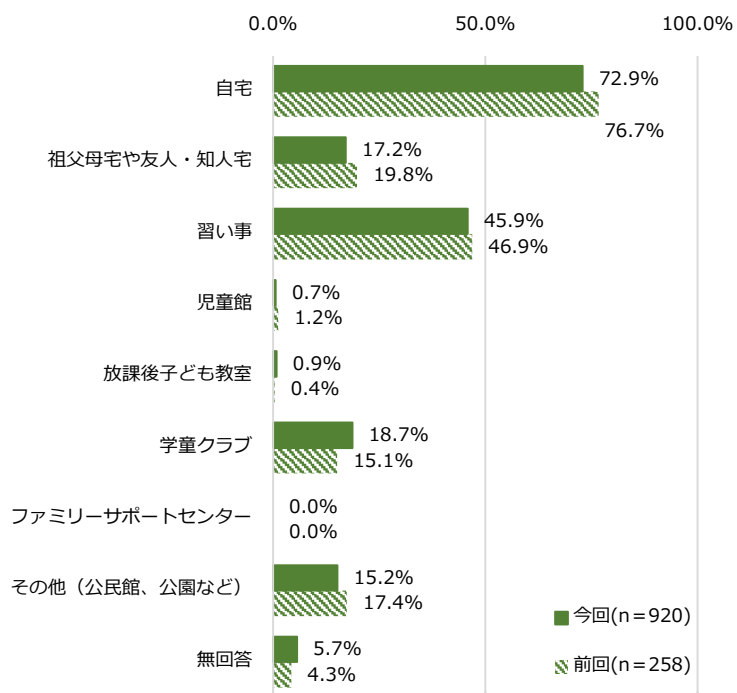
選択肢	今回 (n=10)	前回 (n=2)
有 (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)	5	1
有 (1年より先で、子どもが[]歳くらいになったら就労したい)	0	0
無	4	1
無回答	1	0

3. 放課後の過ごし方

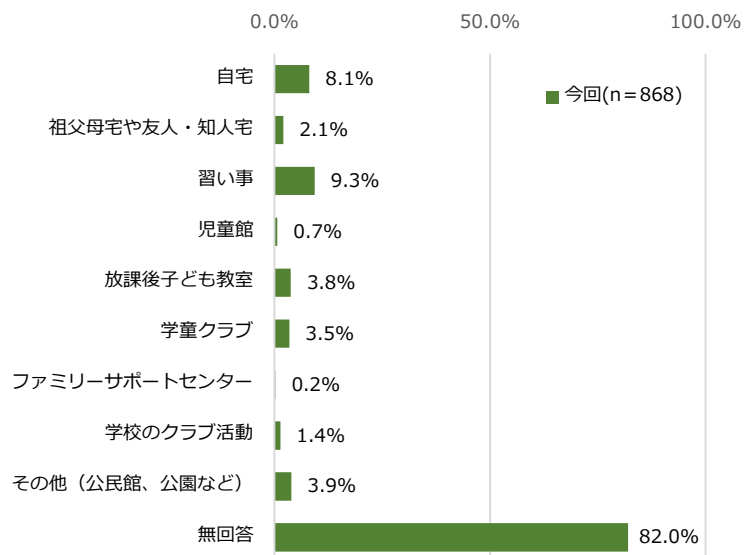
問 13. お子さんについて、放課後はどのように過ごしていますか。また、希望としてはどのように過ごさせたいですか。

放課後に過ごしている場所は、前回と同様に「自宅」が72.9%と最も高く、次いで「習い事」の45.9%、「学童クラブ」の18.7%などとなった。また、希望としては、「習い事」、「自宅」、「その他(公民館、公園など)」の順となった。

【現在の状況】



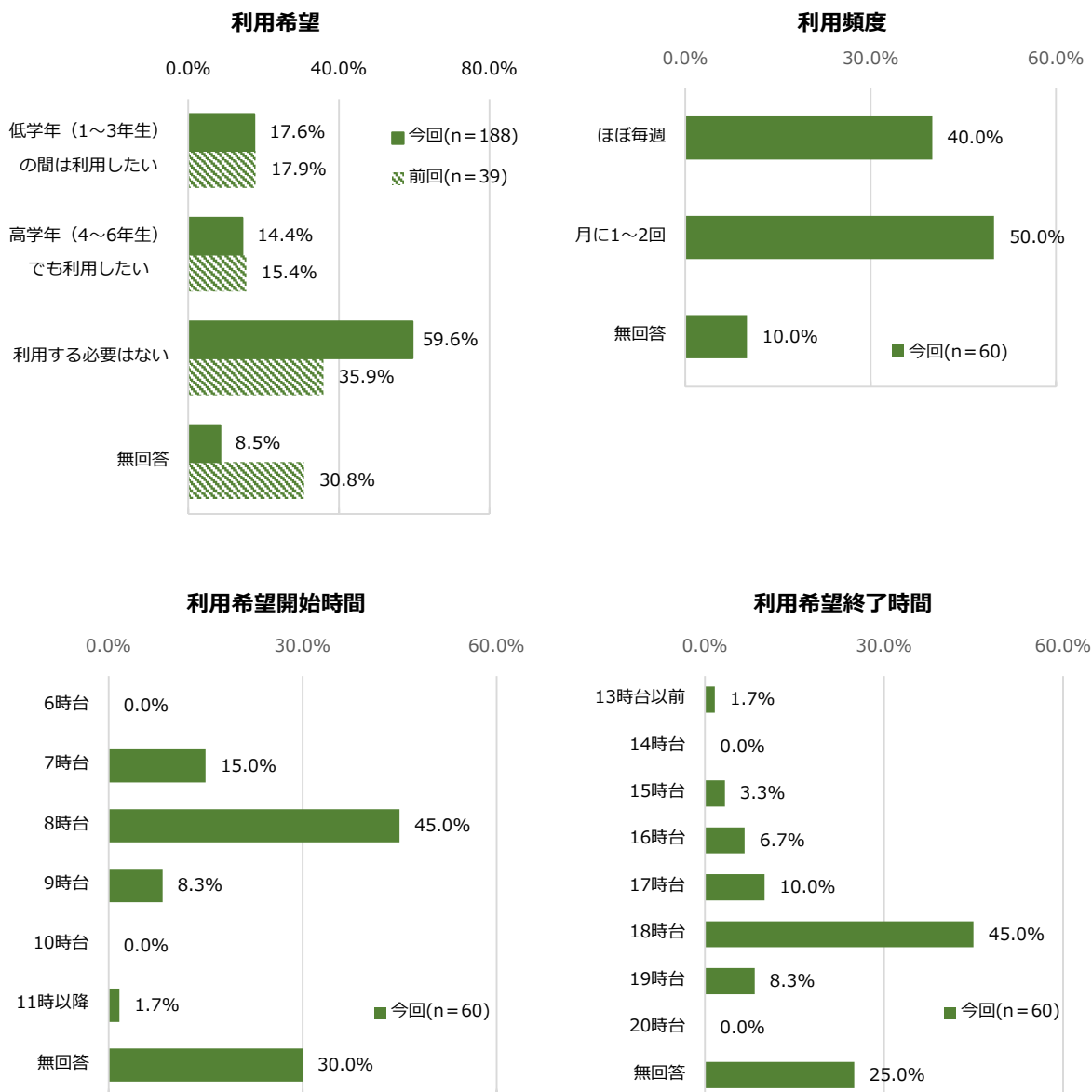
【希望】



(問 13 で「6.学童クラブ」をお選びの方へ)

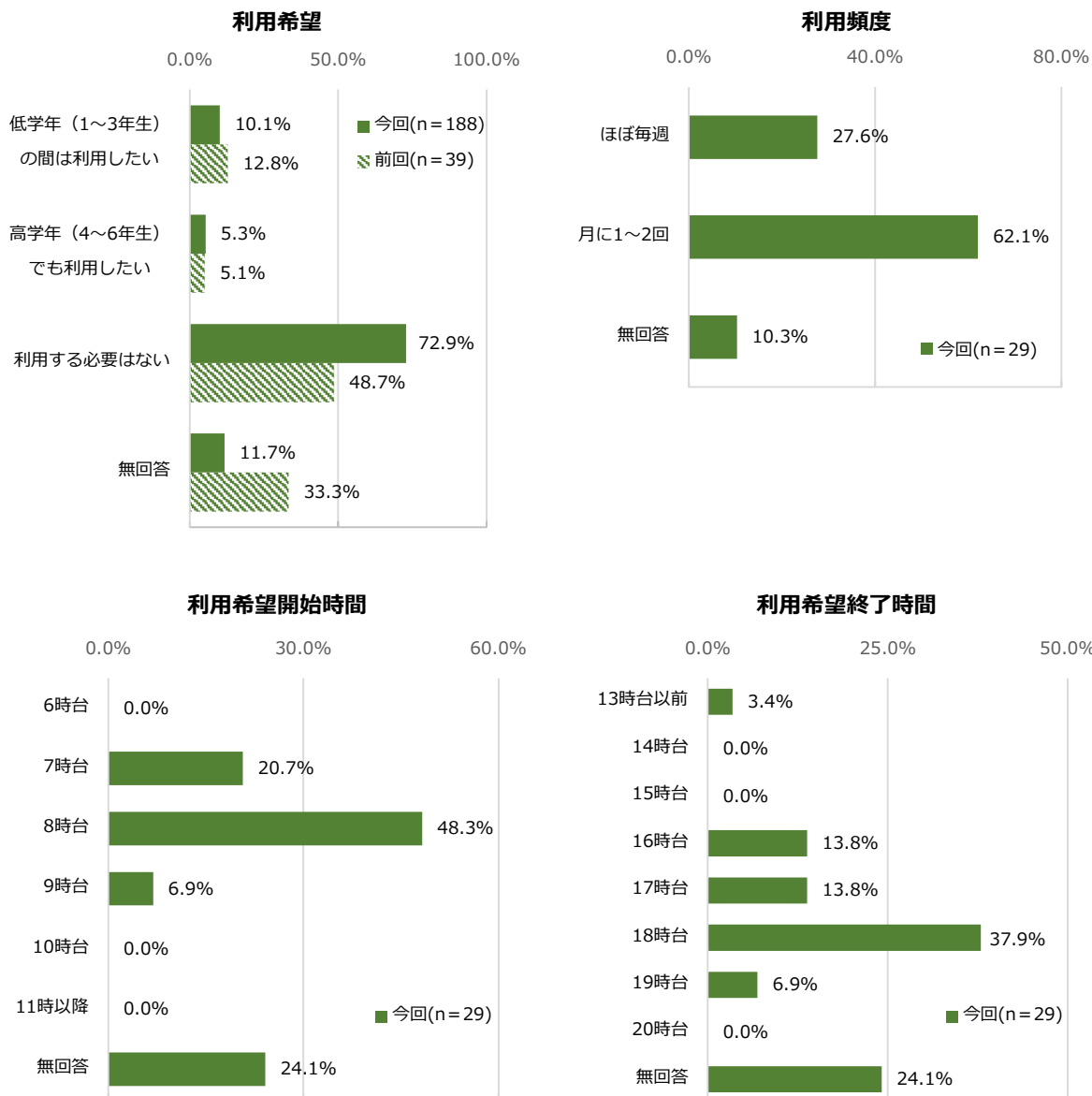
問 14. お子さんについて、土・日・祝日や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間に、学童クラブの利用希望はありますか。

【土曜日】



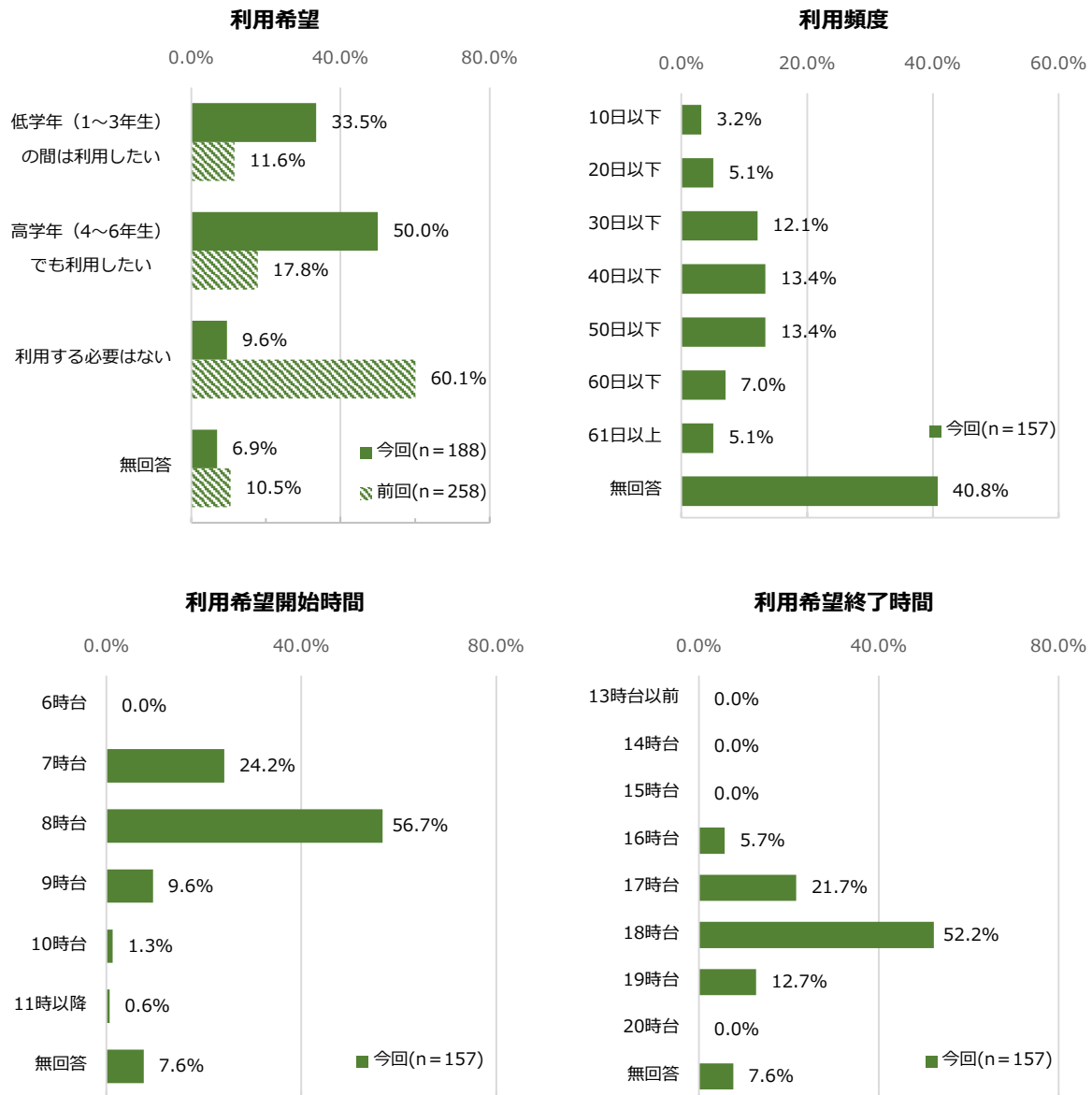
学童クラブ利用者及び利用希望者の土曜日の利用希望は、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が17.6%、「高学年(4~6年生)でも利用したい」が14.4%で2つを合わせた利用希望は32.0%となった。また、利用頻度は、「月に1~2回」が5割を占め、利用希望開始時間は、8時台が最も高く、利用希望終了時間は18時台が最も高かった。

【日曜日・祝日】



学童クラブ利用者及び利用希望者の日曜日・祝日の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が10.1%、「高学年(4～6年生)でも利用したい」が5.3%で2つを合わせた利用希望は15.4%となった。また、利用頻度は、「月に1～2回」が6割強を占め、利用希望開始時間は、「8時台」が最も高く、利用希望終了時間は「18時台」が最も高かった。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中】

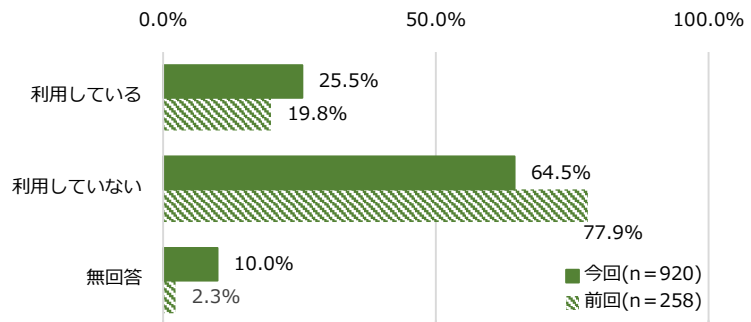


学童クラブ利用者及び利用希望者の長期休暇期間中の利用希望は、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が33.5%、「高学年(4~6年生)でも利用したい」が50.0%で2つを合わせた利用希望は83.5%となった。また、利用頻度は、「40日以下」と「50日以下」が最も高く、利用希望開始時間は、「8時台」、利用希望終了時間は「18時台」が最も高かった。

4. 学童クラブの利用状況

問 15. お子さんは、定期的に「学童クラブ」を利用（長期休暇期間のみの利用を含む）されていますか。

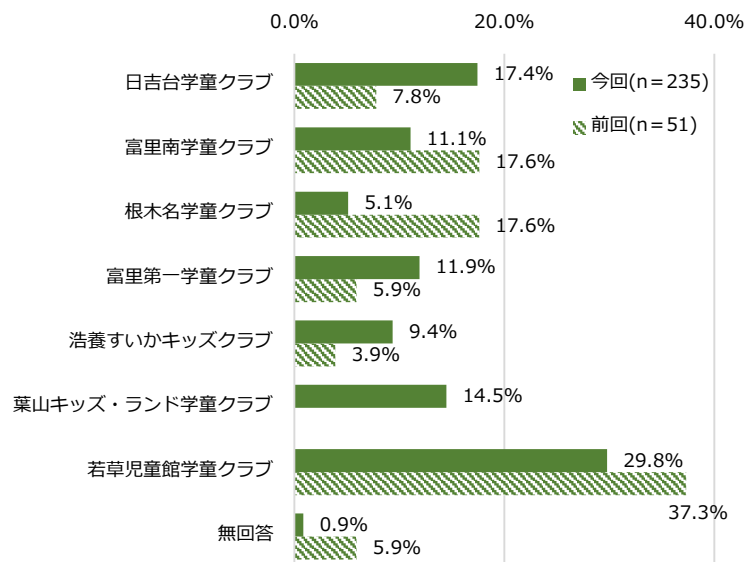
定期的な学童クラブの利用状況は、「利用している」が25.5%で、前回よりも5.7ポイント高くなり、「利用していない」は64.5%で、前回より13.4ポイント低くなった。



(問 15 で「1.利用している」をお選びの方へ)

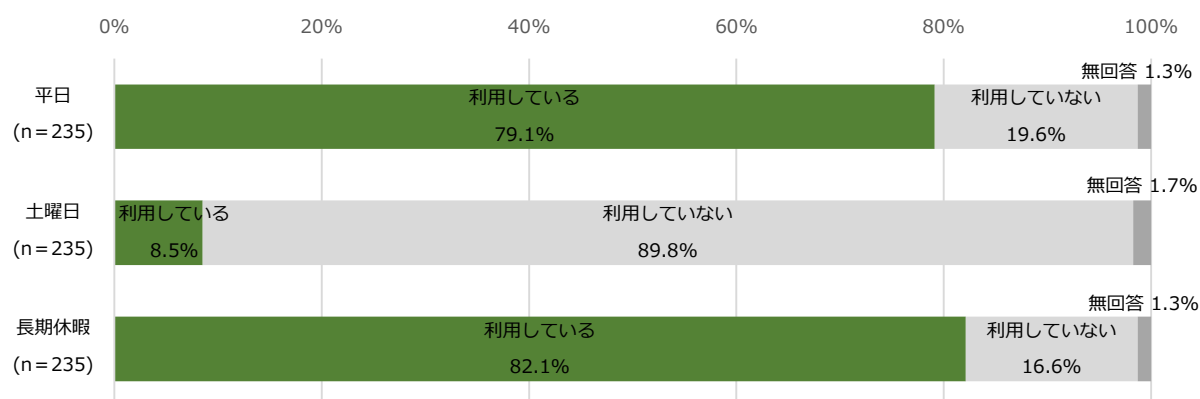
問 15-1. 「学童クラブ」はどちらで利用されていますか。

学童クラブを利用している場所は、「若草児童館学童クラブ」が29.8%で最も高く、次いで、「日吉台学童クラブ」、「葉山キッズ・ランド学童クラブ」となった。



(問 15 で「1.利用している」をお選びの方へ)

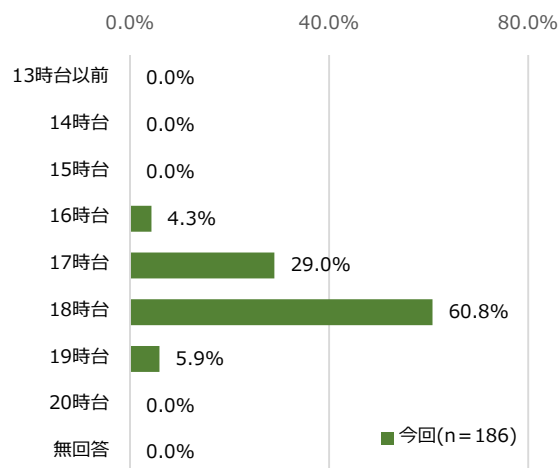
問 15-2.「学童クラブ」の利用状況についてお伺いします。



学童クラブ利用者の利用状況は、「利用している」が平日で 79.1%，土曜日で 8.5%，長期休暇期間中が 82.1%となった。

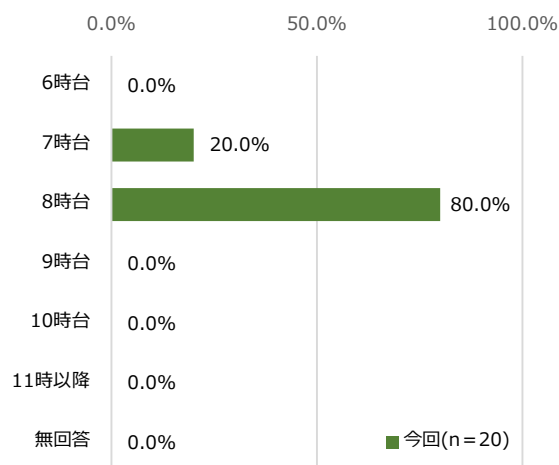
【平日】

利用終了時間

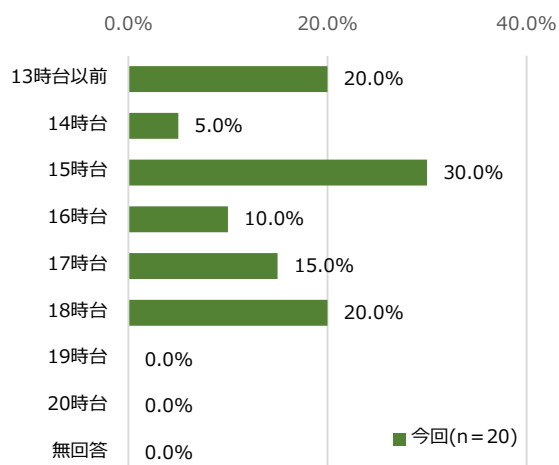


【土曜日】

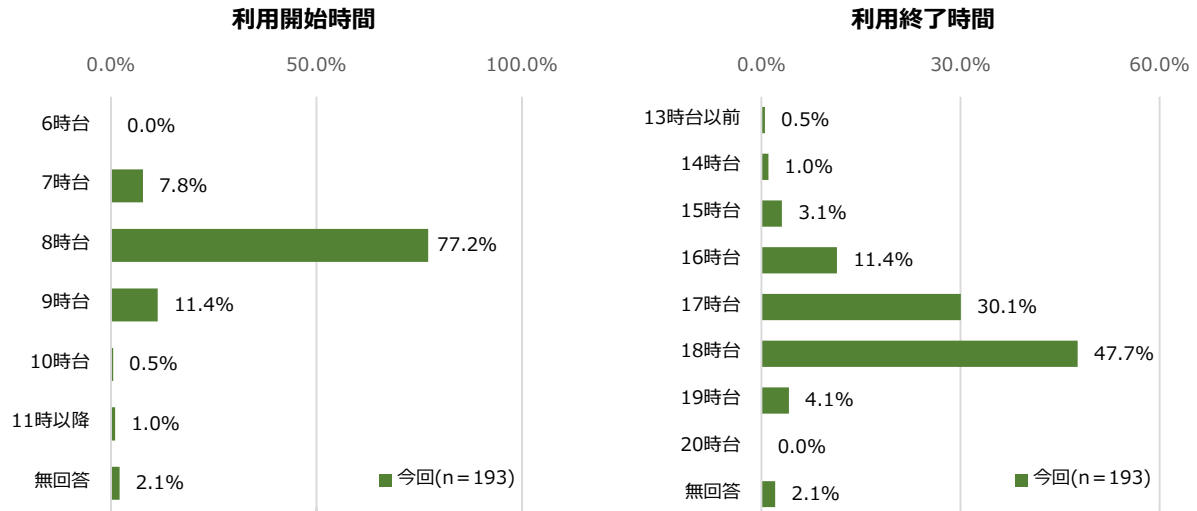
利用開始時間



利用終了時間



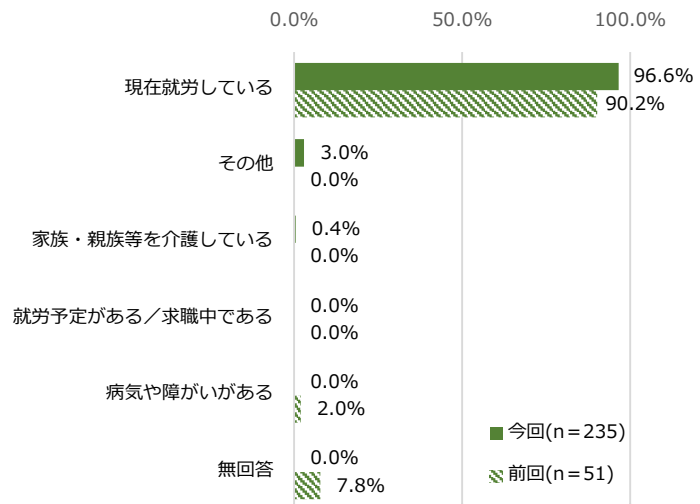
【夏休み・冬休みなどの長期休暇期間】



(問 15 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 15-3. 「学童クラブ」を利用されている理由についてお伺いします。

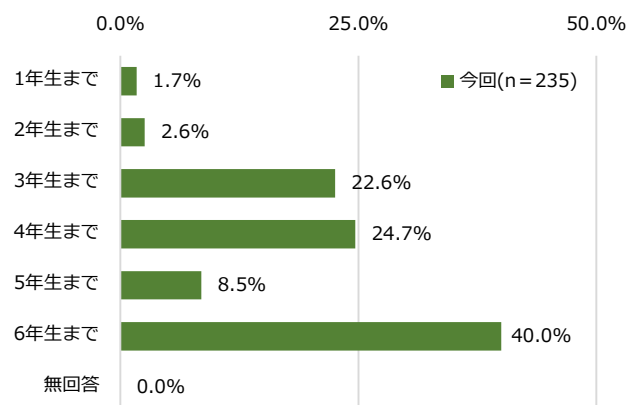
学童クラブ利用者の利用している理由は、
「現在就労している」が 96.6%と前回同様
9 割を超えた。



(問 15 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 15-4. お子さんが何年生になるまで「学童クラブ」を利用したいと思いますか。

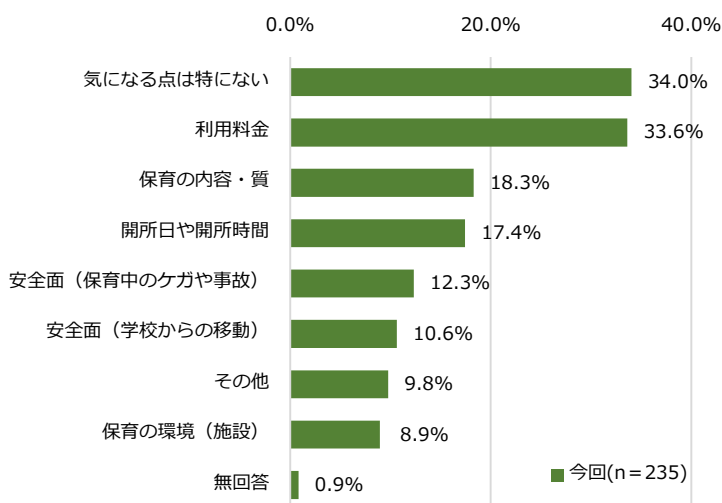
学童クラブを何年生まで利用したいかとの問
いでは、「6 年生まで」が 40.0%と最も高
く、次いで「4 年生まで」,「3 年生まで」と
なった。



(問 15 で「1.利用している」をお選びの方へ)

問 15-5. 利用されている「学童クラブ」についてどのような点が気になりますか。(複数回答)

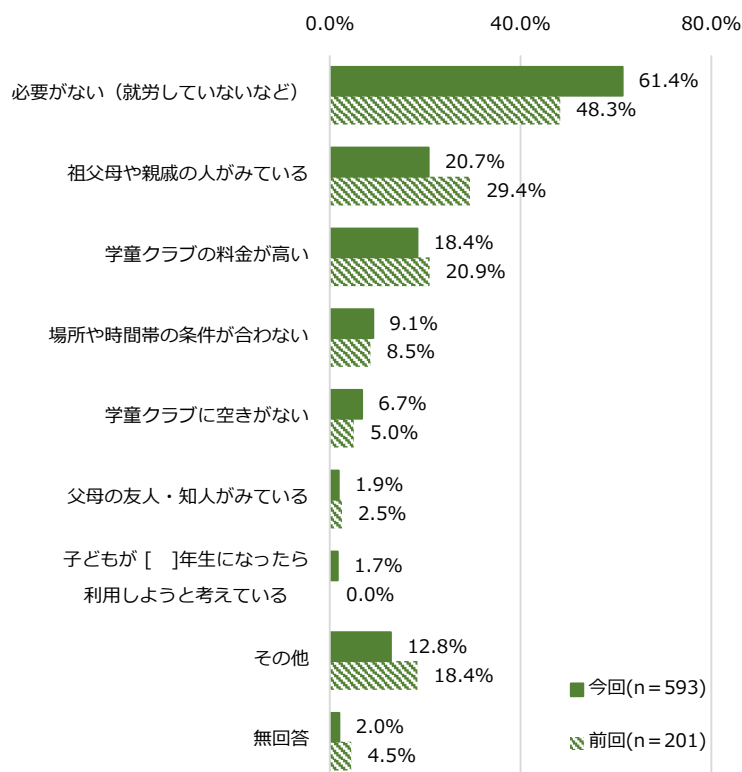
学童クラブ利用者に学童クラブについて気になる点を聞いたところ、「気になる点は特にない」が 34.0%で最も高く、次いで、「利用料金」が 33.6%,「保育の内容・質」が 18.3%と続いた。



(問 15 で「2.利用していない」をお選びの方へ)

問 15-6. 「学童クラブ」を利用していない理由は何ですか。(複数回答)

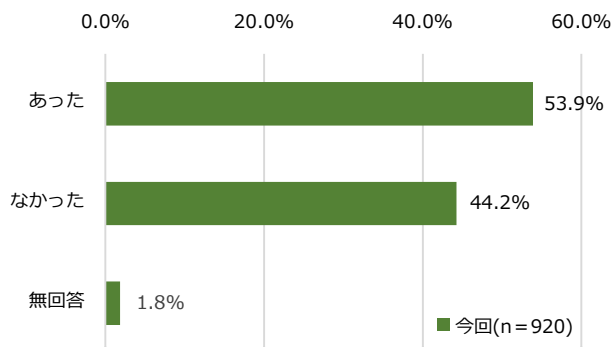
学童クラブを利用していない理由は、「必要がない(就労していないなど)」が前回よりも 13.1 ポイント高い 61.4%, 次いで「祖父母や親戚の人がみている」,「学童クラブの料金が低い」と続いた。



5. お子さんの病気等の際の対応

問 16. この 1 年間に、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したことはありますか。

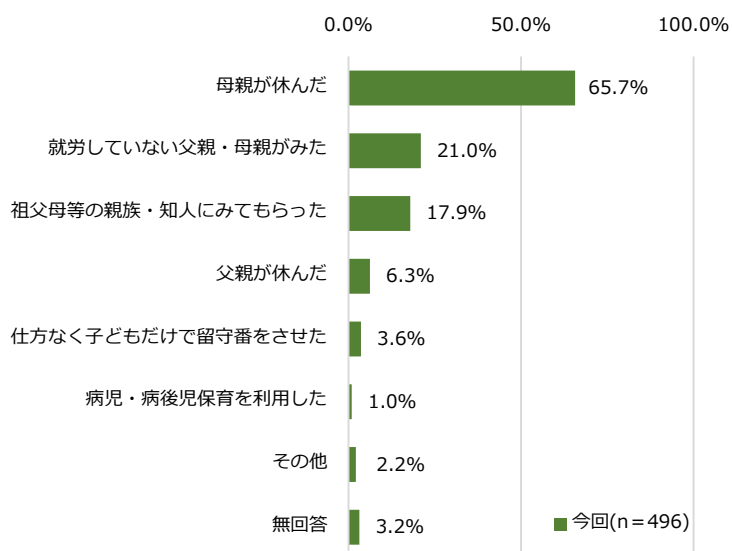
この 1 年間に病気やケガで小学校を欠席したことが「あった」が、半数を超える 53.9% となった。



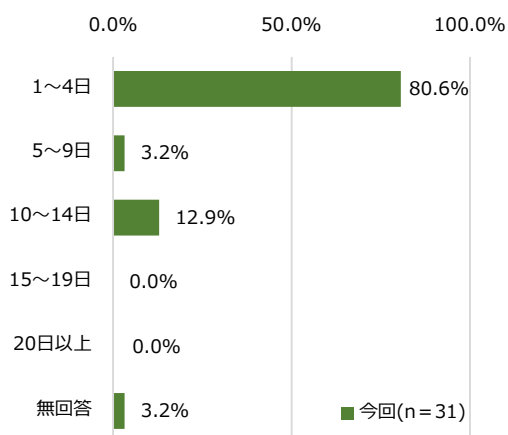
(問 16 で「1.あった」をお選びの方へ)

問 16-1. この 1 年間、お子さんが病気やケガで小学校を欠席したときの対処方法とそれぞれの日数は何日（おおよそ）ですか。（複数回答）

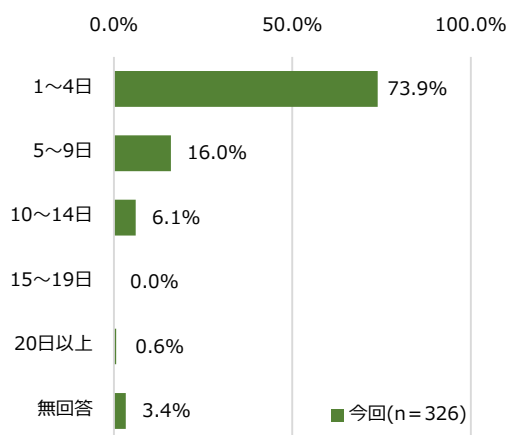
子どもが病気やケガなどで小学校を欠席した際の対処方法は、「母親が休んだ」が最も高く、65.7%となった。次いで、「就労していない父親・母親がみた」「祖父母等の親戚・知人にみてもらった」の順となった。また、対処方法別の日数は、いずれも「1～4日」が最も高かった。



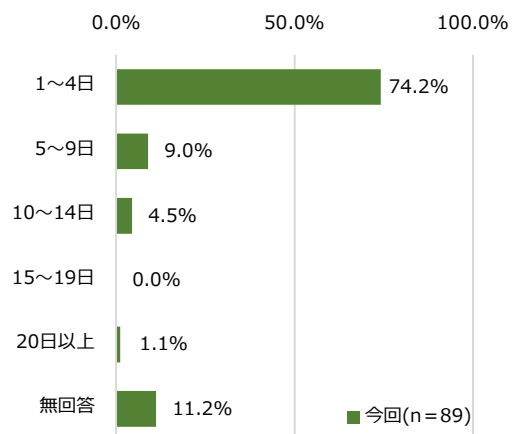
父親が休んだ日数



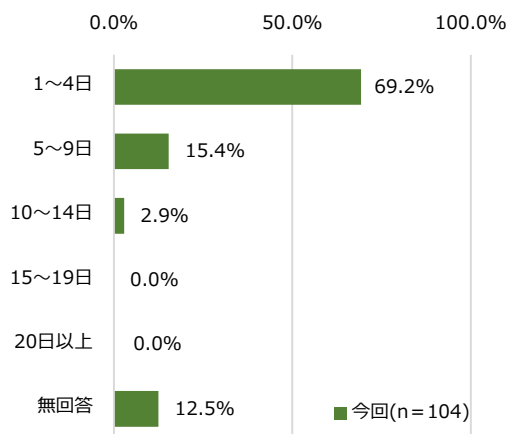
母親が休んだ日数



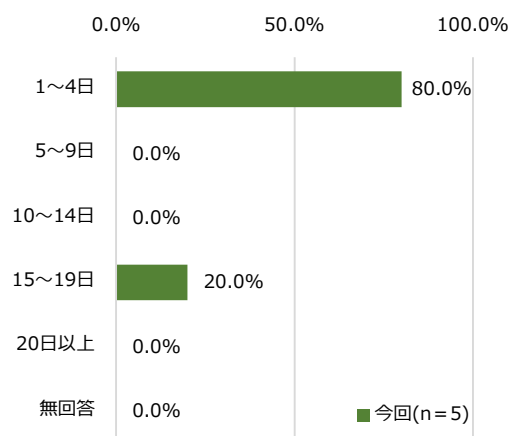
祖父母等の親族・知人にみてもらった日数



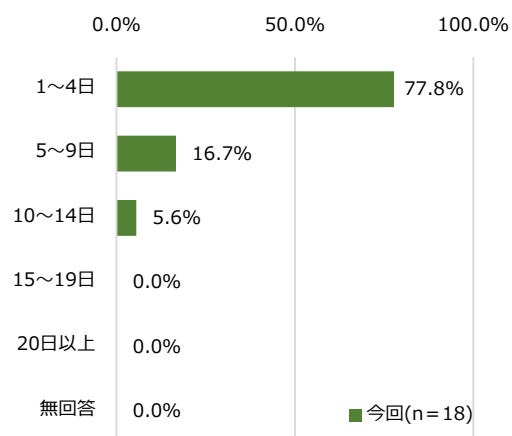
就労していない父親・母親がみた日数



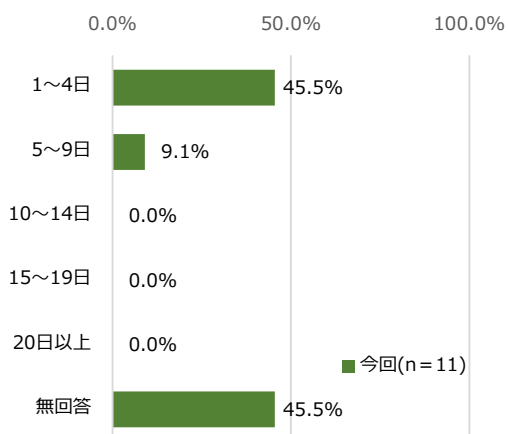
病児・病後児保育を利用した日数



仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

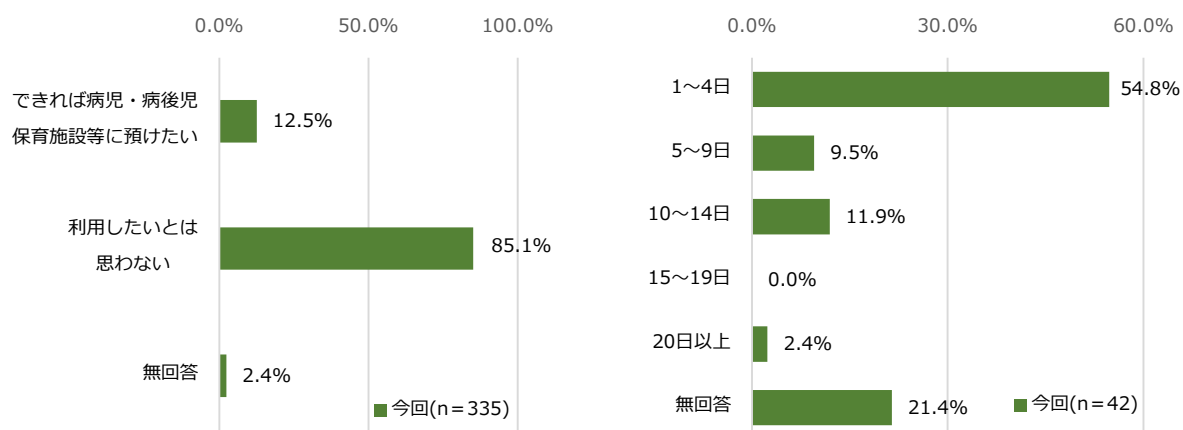


その他日数



(問 16-1 で「1.父親が休んだ」または「2.母親が休んだ」をお選びの方へ)

問 16-2. その際、できれば病児・病後児保育施設等に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。

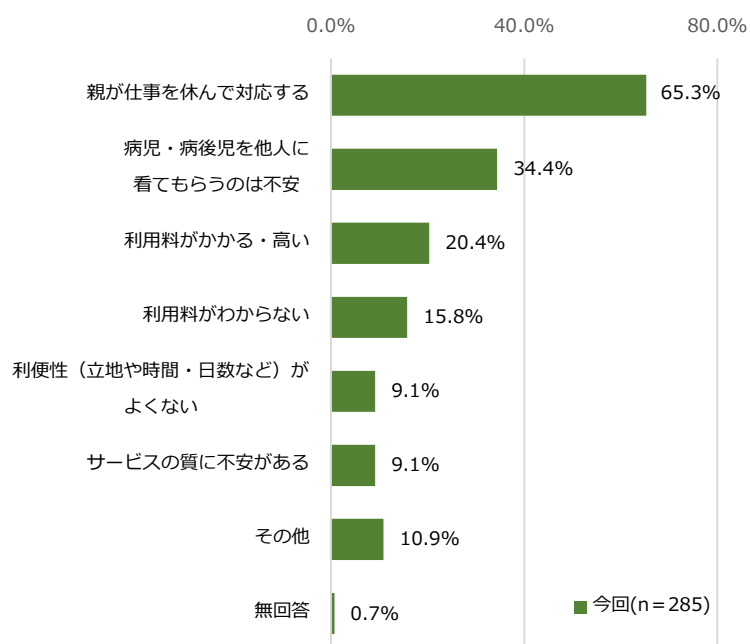


この1年間で子どもが、病気やケガで小学校を休んだ際に父親又は母親が休んで対処した場合の施設の利用希望を聞いたところ、「利用したいとは思わない」が85.1%と9割弱を占めた。また、「できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」日数は、「1～4日」が54.8%と半数を超えた。

(問 16-2 で「2.利用したいとは思わない」をお選びの方へ)

問 16-3. 「利用したいとは思わない」を選んだ理由についてお答えください。(複数回答)

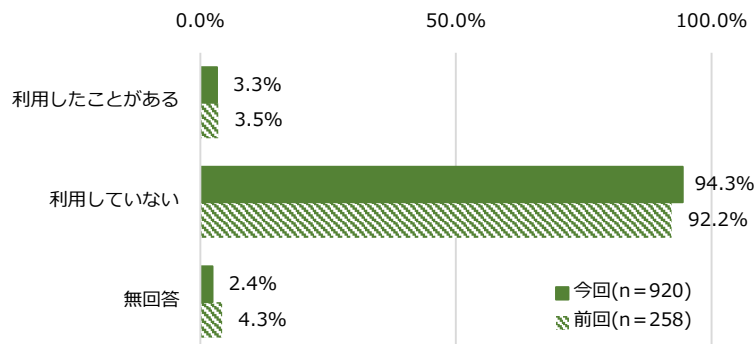
「施設を利用したいとは思わない」理由は「親が仕事を休んで対応する」が65.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」34.4%、「利用料がかかる・高い」20.4%などとなった。



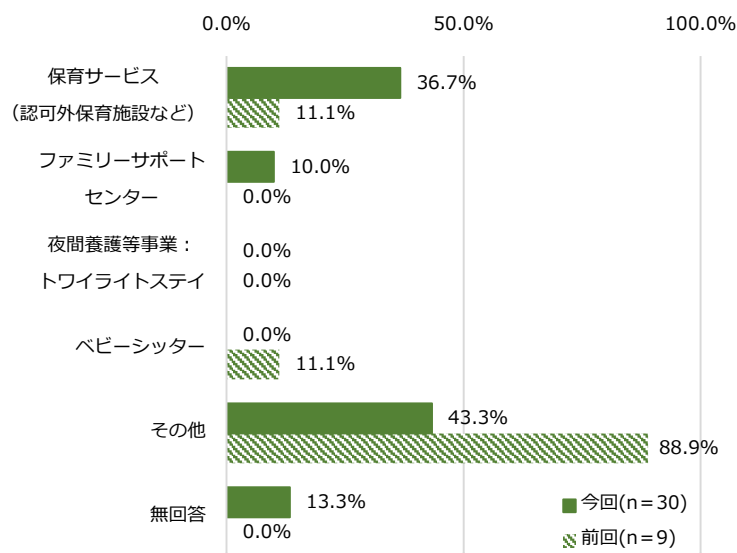
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 17. この1年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などにより、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（複数回答）

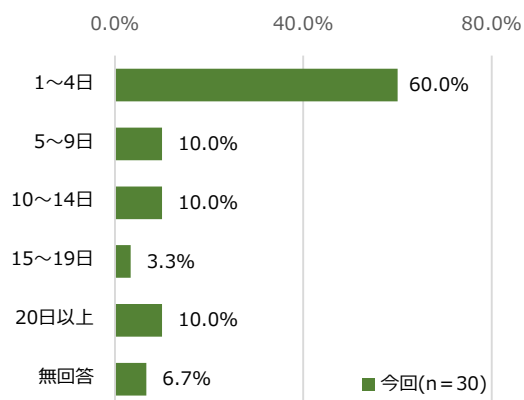
この1年間で私用やリフレッシュ目的などにより、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあるかとの問いでは、「利用した（預けた）ことがある」が3.3%、「利用していない」が94.3%となった。前回との比較では、大きな変化はみられなかった。また、利用した年間の日数は「1～4日」が60.0%で最も高く、利用したサービス別の日数でも「1～4日」が最も高くなった。



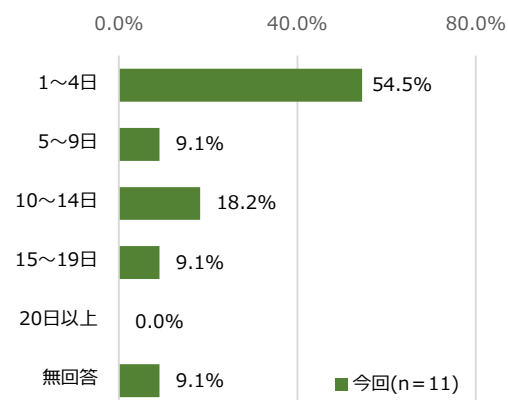
利用したサービス・事業

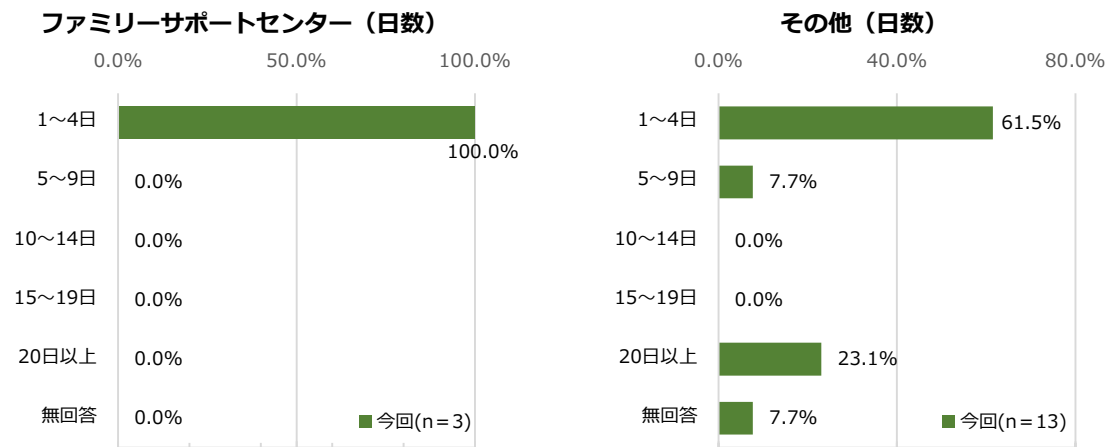


利用した日数（年間）



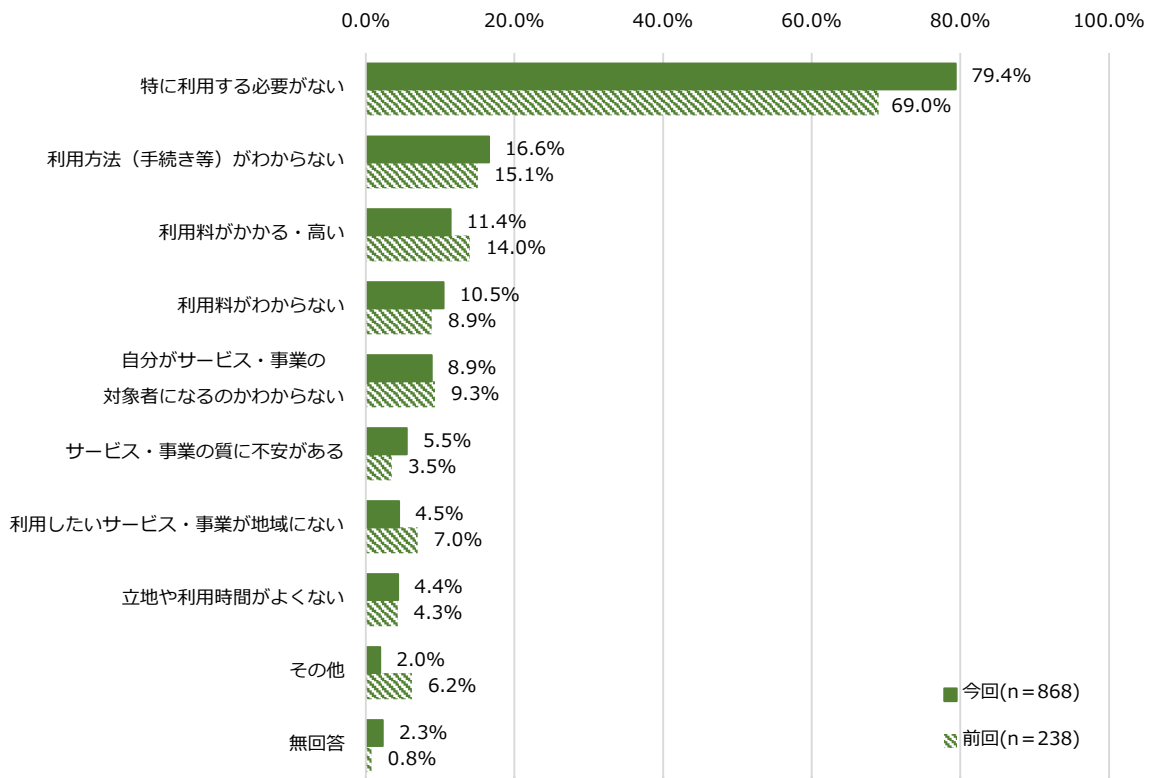
保育サービス（認可外保育施設など）（日数）





(問 17 で「2.利用していない」をお選びの方へ)

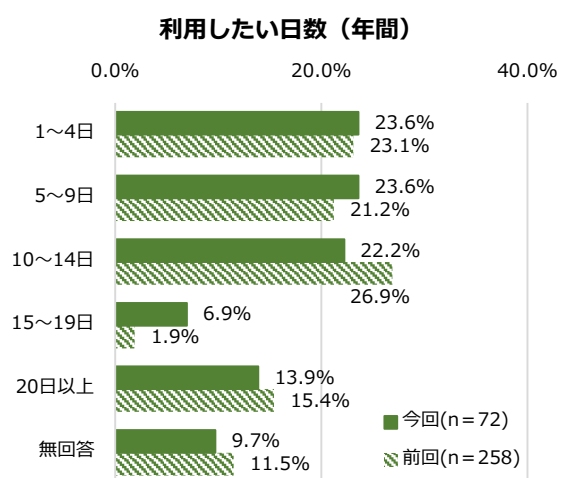
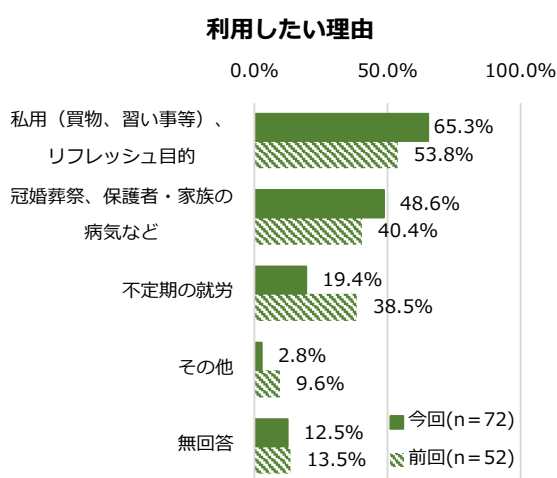
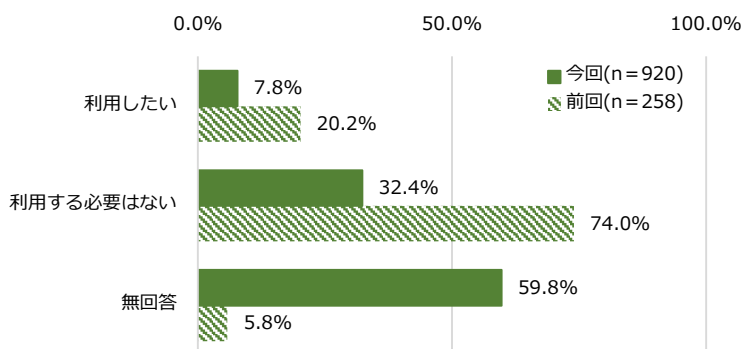
問 17-1. 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)



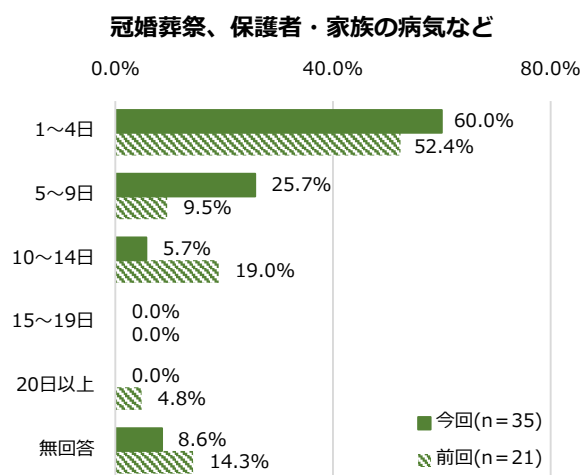
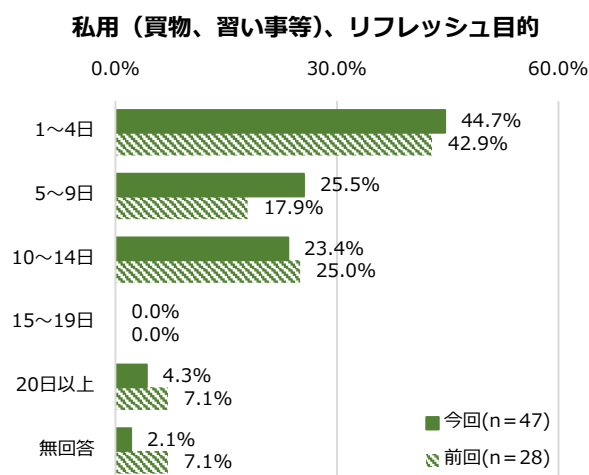
一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 79.4%と最も高く、前回よりも 10.4 ポイント高くなった。次いで「利用方法(手続き等)がわからない」、「利用料がかかる・高い」の順となった

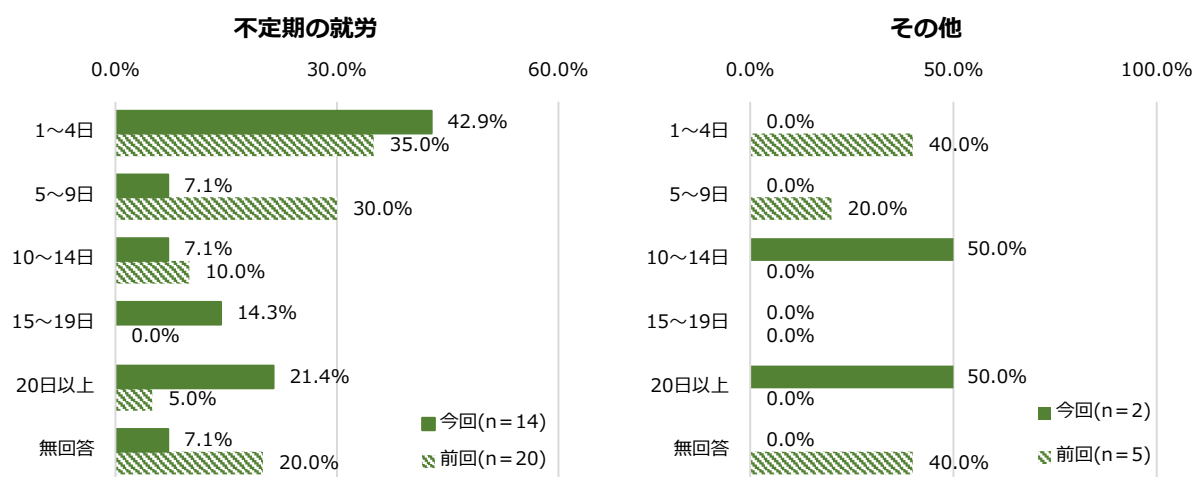
**問 18. お子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などにより、年間何日くらい
問 17 のサービス・事業を利用する必要があると思いますか。(複数回答)**

今後の利用希望は、「利用したい」が、
7.8%、「利用する必要はない」が 32.4%
となった。利用したい理由は、「私用、リ
フレッシュ目的」が 65.3%で最も高く、
次いで「冠婚葬祭、保護者・家族の病気な
ど」、「不特定の就労」などとなった。



【理由別の日数】



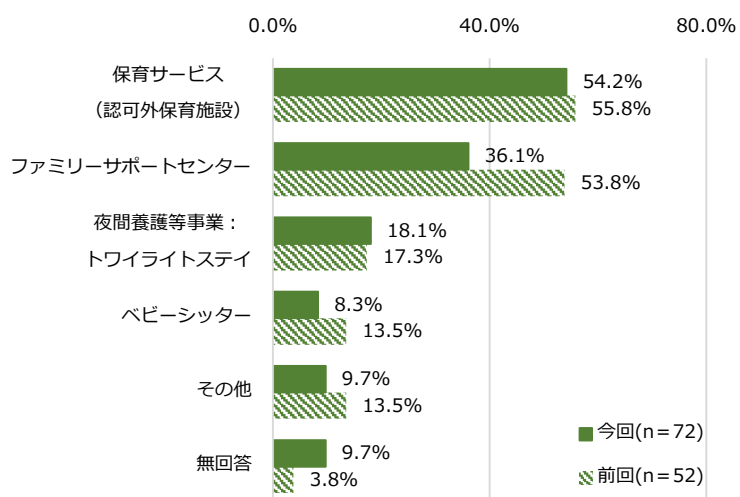


(問 18 で「1.利用したい」をお選びの方へ)

問 18-1. 問 18 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(複数回答)

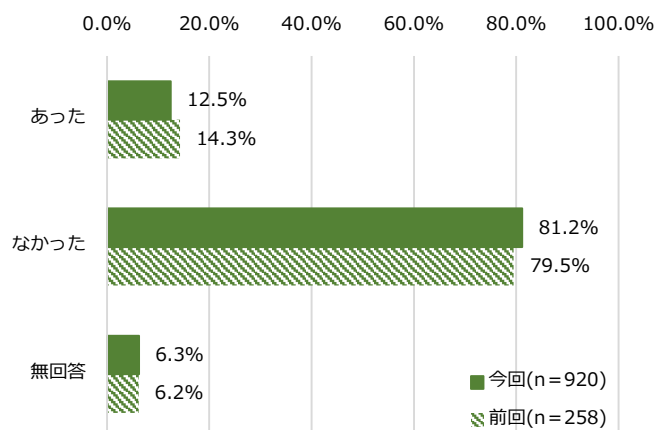
一時預かり等の利用希望者に望ましい事業形態を聞いたところ、「保育サービス(認可外保育施設)」が 54.2%,「ファミリーサポートセンター」36.1%などとなった。



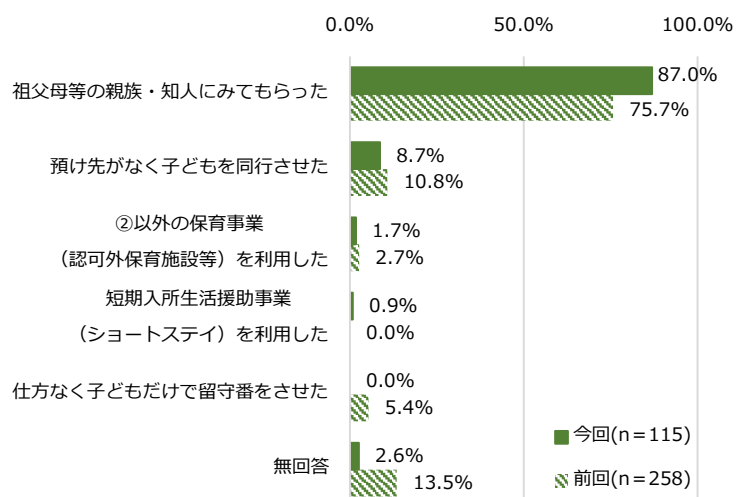
問 19. この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

（預け先が見つからなかった場合も含みます。）（複数回答）

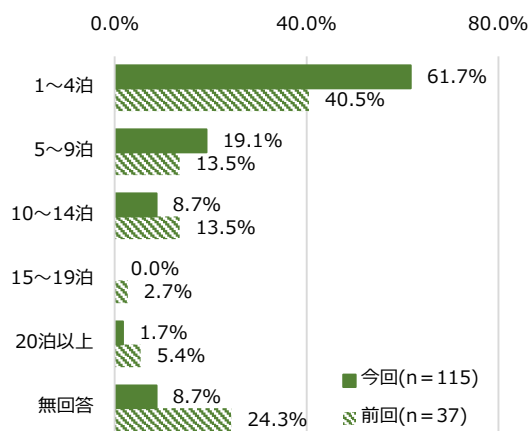
この 1 年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けたことの有無は、「あった」が 12.5%「なかった」が 81.2%となり、前回との比較では大きな変化はみられなかった。また、「あった」場合の対処方法は「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が 87.0%と最も高かった。



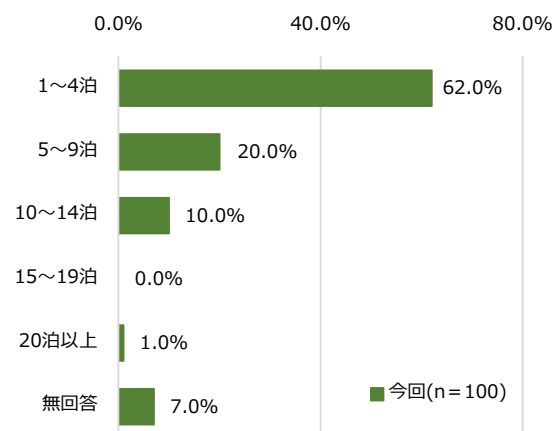
対処方法



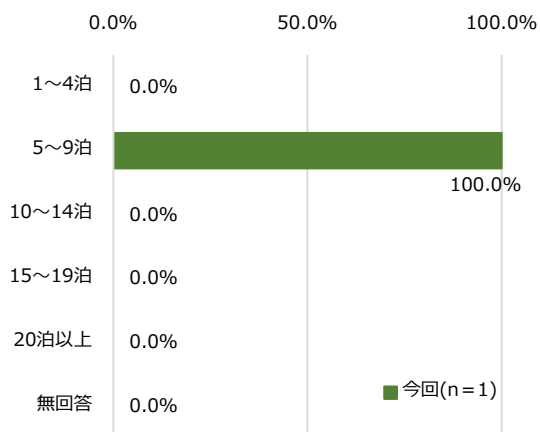
年間の泊数



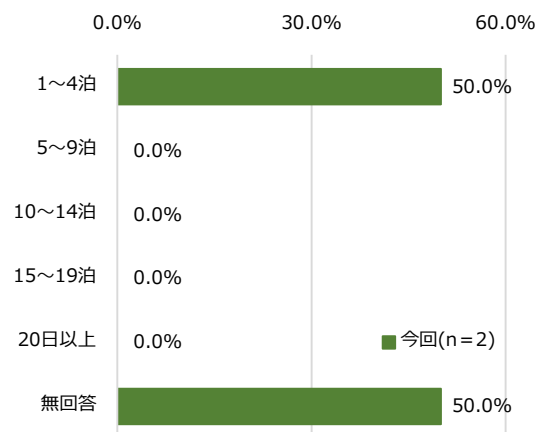
①祖父母等の親族・知人にみてもらった日数



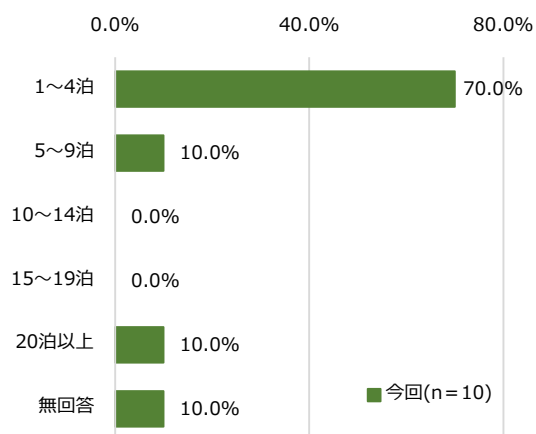
②短期入所生活援助事業を利用した日数



③②以外の保育事業を利用した日数



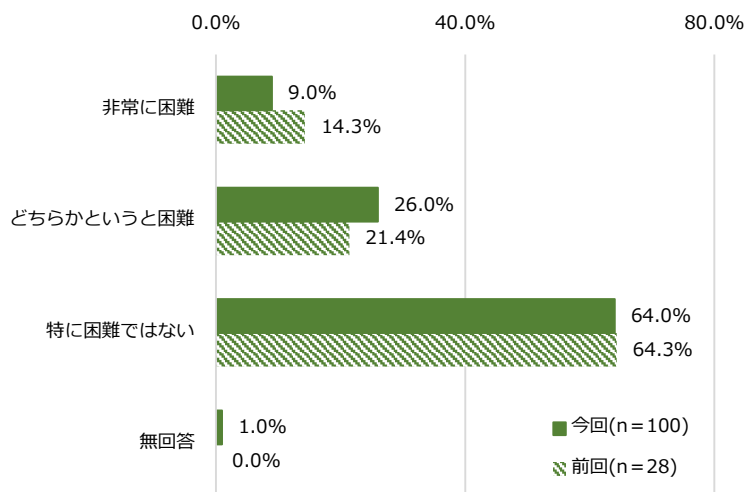
④預け先がなく子どもを同行させた日数



(問 19 で「1.あった ①祖父母等の親族・知人にみてもらった」をお選びの方へ)

問 19-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。

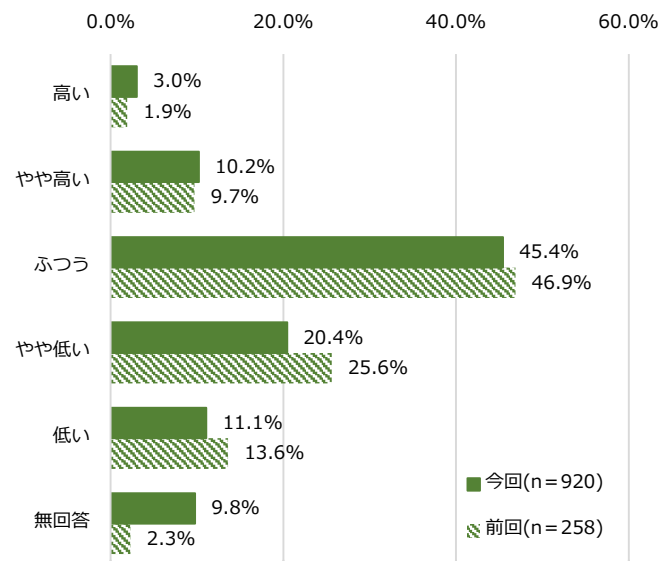
祖父母等の親族・知人にみてもらった際の困難度は、「特に困難ではない」が64.0%と前回同様6割強を占めた。「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせた『困難である』は35.0%となった。



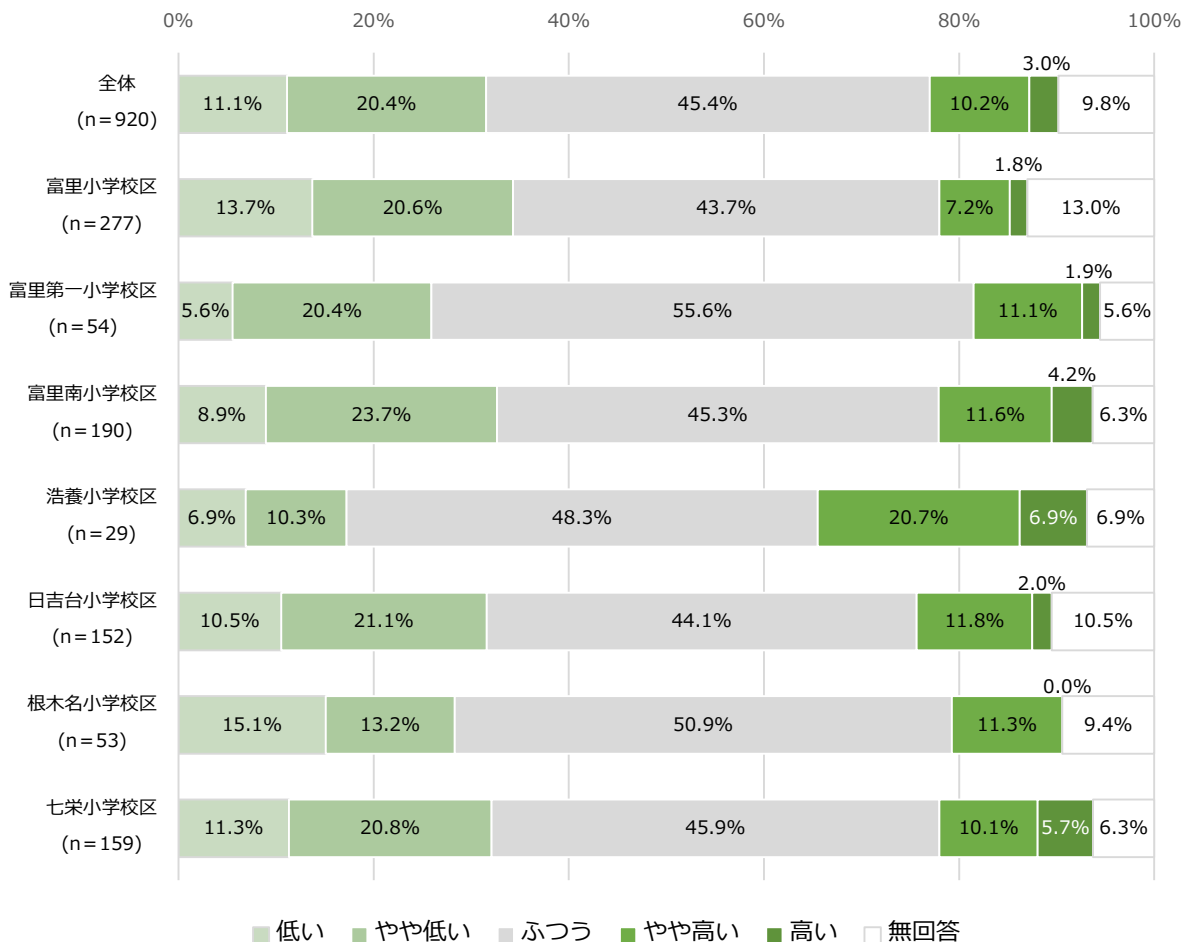
7. 行政サービス

問 20. お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度はいかがですか。

住まいの地域における子育て環境や支援の満足度は、満足度が「低い」と「やや低い」を合わせた『低い』が31.5%で、「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』が13.2%となった。前回との比較では『低い』が7.7ポイント低くなり、『高い』が1.6ポイント高くなっている。また、地域別で満足度をみると、満足度が『低い』は富里小学校区、富里南小学校区、七栄小学校区で割合が高くなっており、満足度が『高い』は浩養小学校区、七栄小学校区で割合が高くなっている。

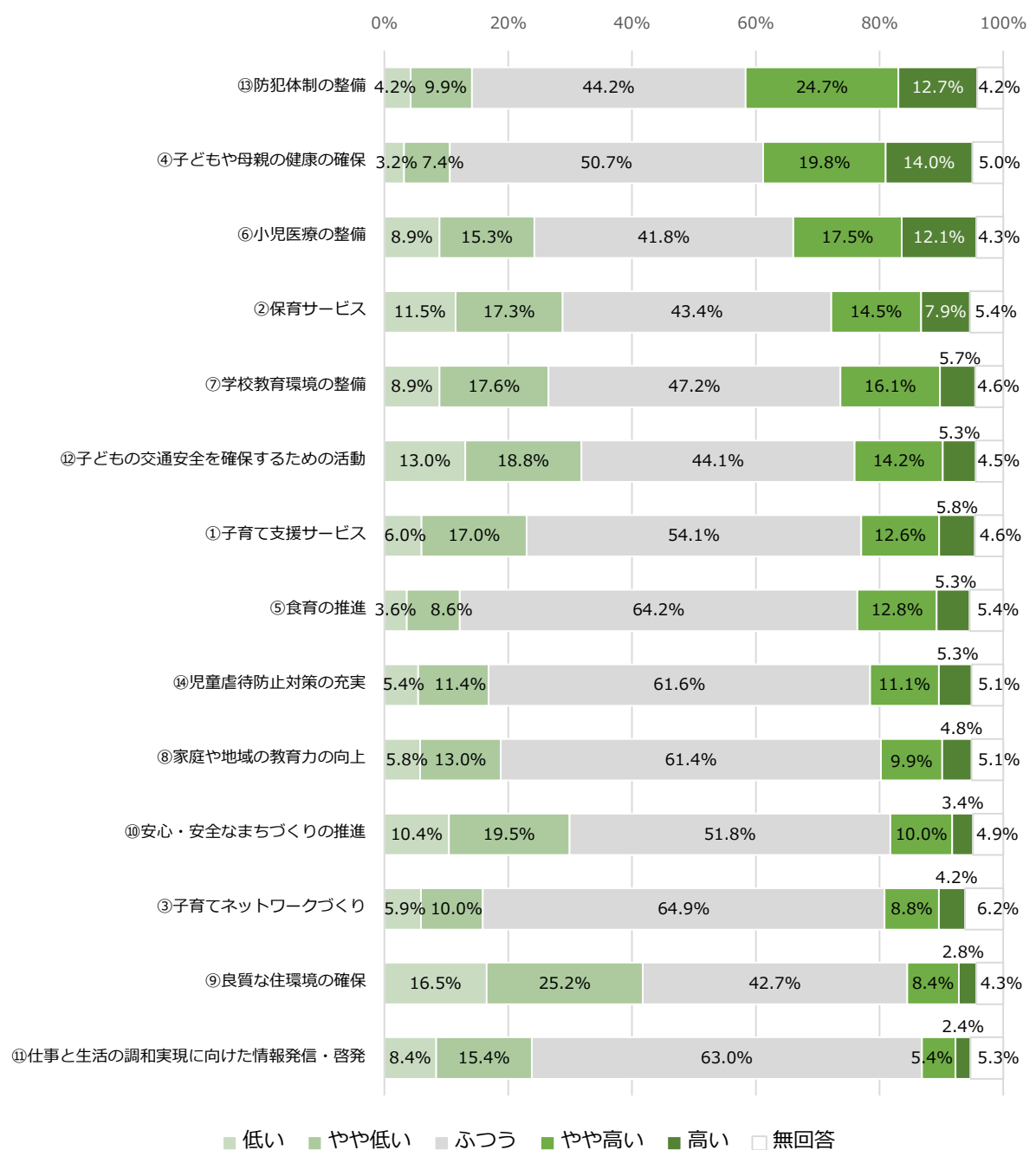


【地域別】



問 21. 以下の項目について、日頃感じている満足度と重要度をそれぞれ 5 点満点で評価してください。

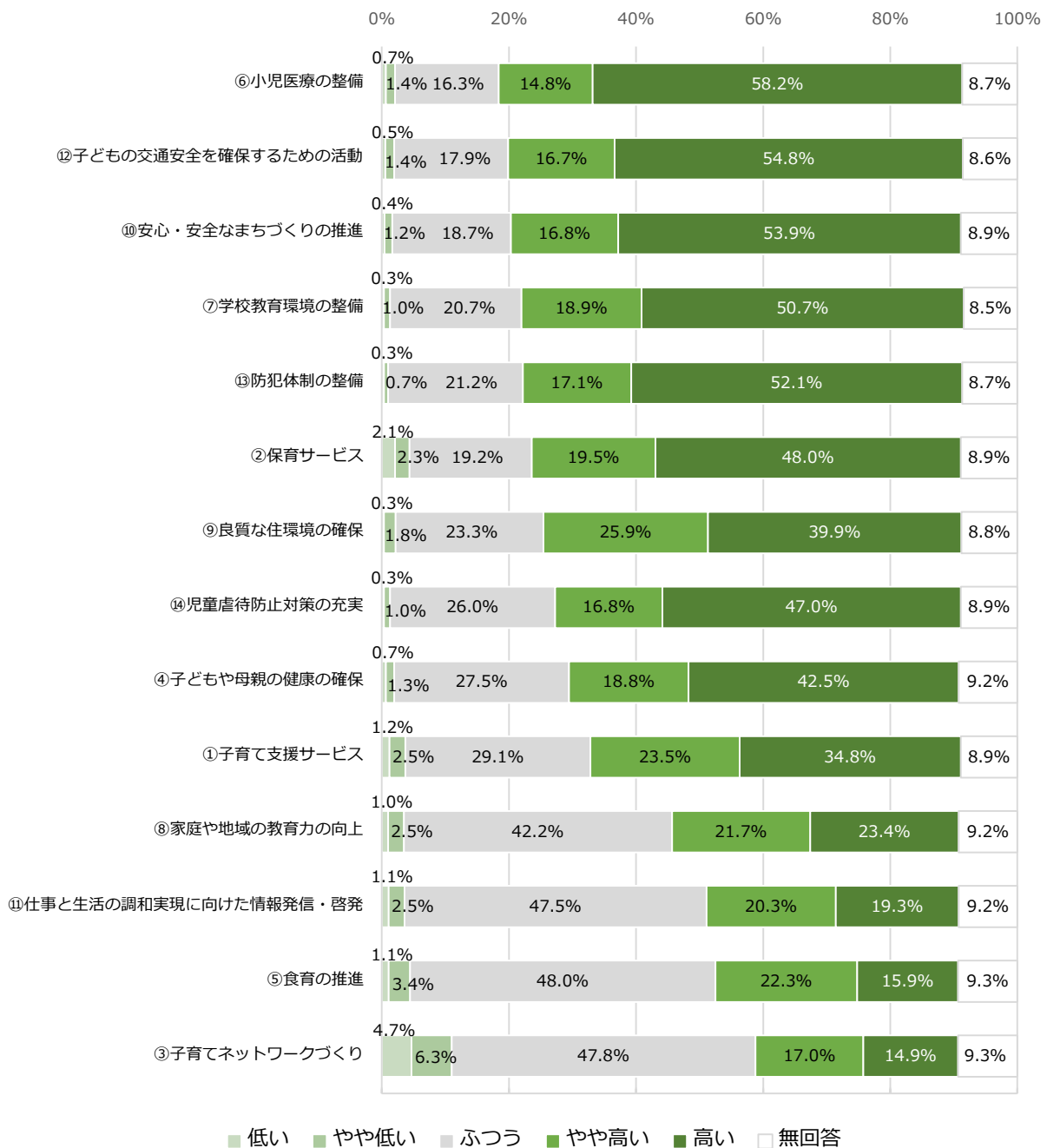
【満足度】今回 (n=920)



(「高い」と「やや高い」を合わせた順)

各施策に対する満足度は、満足度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「防犯体制の整備」が 37.4%と最も高く、次いで「子どもや母親の健康の確保」33.8%、「小児医療の整備」29.6%などとなった。

【重要度】今回（n=920）



（「高い」と「やや高い」を合わせた順）

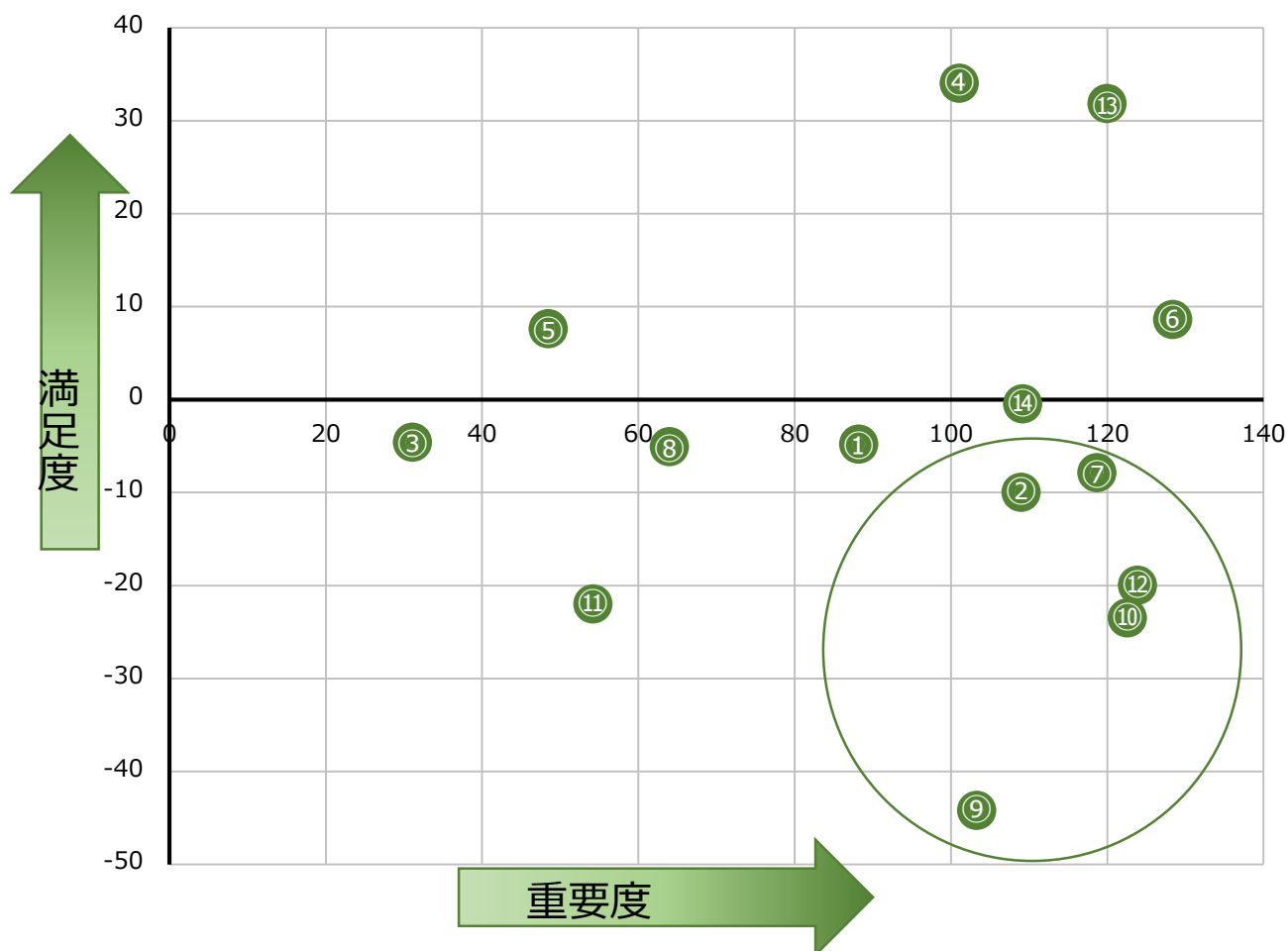
各施策に対する重要度は、重要度が「高い」と「やや高い」を合わせた『高い』は、「小児医療の整備」が73.0%と最も高く、次いで「子どもの交通安全を確保するための活動」71.5%、「安心・安全なまちづくりの推進」70.7%などとなった。

満足度と重要度の相関

満足度と重要度について、各項目を指数化し、満足度と重要度の評価分布をみた。

※指数化

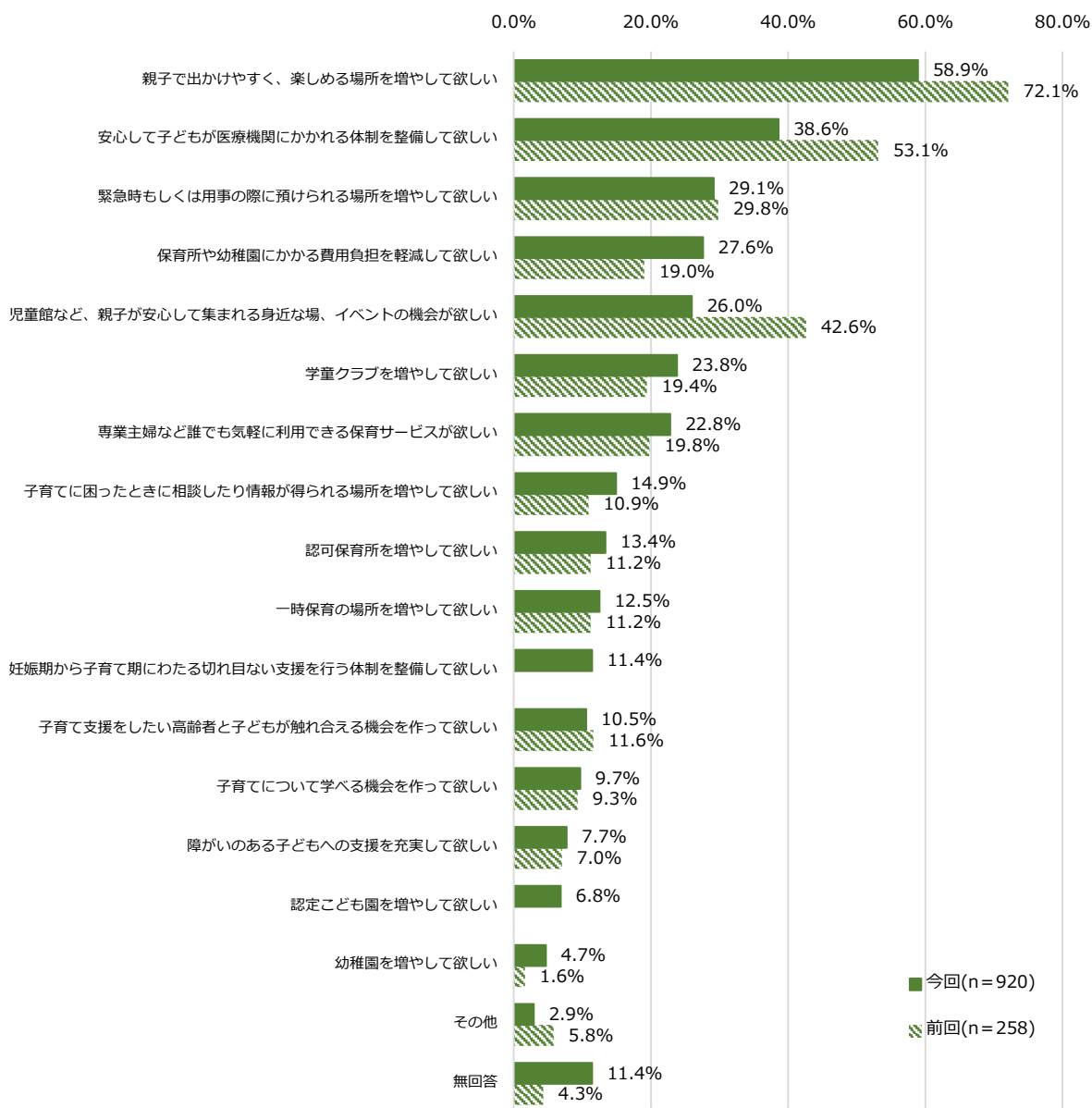
「高い割合」× 2 + 「やや高い割合」× 1 + 「やや低い割合」× - 1 + 「低い割合」× - 2



- ①子育て支援サービス ②保育サービス ③子育てネットワークづくり ④子どもや母親の健康の確保 ⑤食育の推進
 ⑥小児医療の整備 ⑦学校教育環境の整備 ⑧家庭や地域の教育力の向上 ⑨良質な住環境の確保
 ⑩安心・安全なまちづくりの推進 ⑪仕事と生活の調和実現に向けた情報発信・啓発
 ⑫子どもの交通安全を確保するための活動 ⑬防犯体制の整備 ⑭児童虐待防止対策の充実

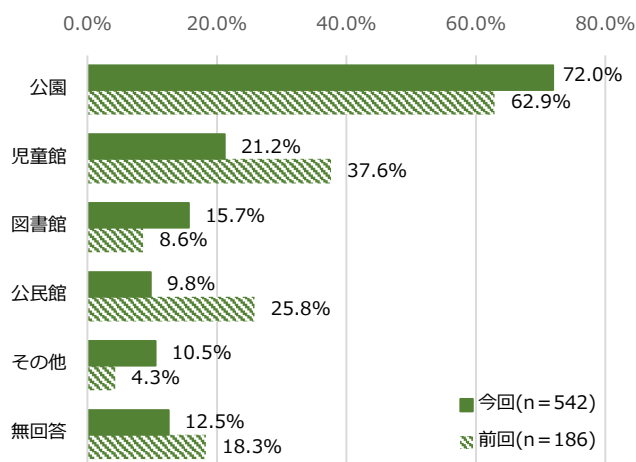
各施策に対する満足度と重要度の相関関係をみると、満足度が低く、重要度が高いものは、「⑨良質な住環境の確保」、「⑩安心・安全なまちづくりの推進」、「⑫子どもの交通安全を確保するための活動」などとなった。

問 22. 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。（複数回答）



充実を図って欲しい子育て支援は、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が58.9%と最も高いが、前回よりも13.2ポイント低くなった。次いで、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」38.6%、「緊急時もしくは用事の際に預けられる場所を増やして欲しい」29.1%などとなった。また、「親子で出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」具体的な場所は「公園」が最も高く、72.0%と7割を超えた。

親子で出かけやすく、楽しめる場所【具体的に】



富里市子育て支援に関するニーズ調査報告書

■平成 31 年 3 月発行

■発行 富里市健康福祉部子育て支援課

〒286-0292

富里市七栄 652-1

電話 0476-93-1111（代表）